

摂南大学農学部

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

- 1) 学生の確保の見通し P 3
 - (ア) 定員充足の見込み P 3
 - (イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 P 7
 - (ウ) 学生納付金の設定の考え方 P 9
- 2) 学生確保に向けた具体的な取組状況 P10

(2) 人材需要の動向等社会の要請

- 1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 P12
- 2) 上記1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 P13

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1) 学生の確保の見通し

(ア) 定員充足の見込み

①我が国及び大阪府の将来推計人口

(0-14歳人口の長期予測)

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」（出生中位・死亡中位仮定）によれば、我が国の総人口は長期にわたって減少が続くと推計されている。将来的な大学進学者群となる0-14歳人口でみると、平成27年の全国の0-14歳人口1,594.5万人を100%とした場合、平成42（2030）年の0-14歳人口は1,321.2万人（82.9%）、平成57（2045）年は1,138.4万人（71.4%）と、より減少の速度が早い推計がなされている。本大学の主要な学生募集地域である大阪府の0-14歳人口では、平成27年の0-14歳人口109.8万人（100%）に対し、平成42（2030）年は88.8万人（80.9%）、平成57（2045）年は76.8万人（69.9%）と、26年後には約30%の減少となる推計がなされている。（以上の出典は全て国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」）

(18歳人口の中期予測)

18歳人口の将来推計（学校基本調査からのリクルート進学総研の推計）では、平成30年の118.0万人（全国）から、一時増加に転じるものの、平成42（2030）年には104.8万人（平成30年比88.8%）となる予測である。近畿地区の18歳人口は、平成30年には20.0万人であった18歳人口が、平成42（2030）年には17.2万人（86.0%）と、2.8万人減少（14.0%減）する予測となっている。大阪府の18歳人口は、平成30年の83,780人が平成42（2030）年には71,415人と、12,365人の減少（平成30年比85.2%）の予測となっている。一方で、大学進学率は全国的に毎年微増ながら上昇が続いており、近畿地区は南関東に次いで全国で2番目に大学進学率が高く、平成20年に50.4%であった大学進学率が平成29年には54.3%と、3.9ポイント上昇している。（以上の出典は全てリクルート進学総研「マーケットレポート」2019年1月号）

本大学では、上記の18歳人口の減少予測を認識、把握した上で、高校生から選ばれる大学、選ばれる学部学科となるための様々な事業展開や教育改革、就職率の向上、学生募集力の強化などに全学で取り組むとともに、今般の農学部設置にあたっては18歳人口の減少を前提としつつも、農学分野が抱える様々な課題解決に貢献できる人材養成を踏まえた地域の要請に応える計画として推進するものである。開設後は大阪府で唯一の農学部として、大阪府を中心とした農学分野を志願する高校生の入学ニーズに応じていく計画であり、本学部の開設後の中長期的な学生募集は、将来の18歳人口の減少の中でも、十分に学生を確

保できる見込みであると考えている。

②農学系学部の設置状況（全国・近畿地区）

平成 30 年度現在、「農学部」名称の学部は、全国において国立大学が 25 校、私立大学が 8 校、合計 33 校が設置されている。「農学部」名称以外の農学系に分類される学部としては、生物資源科学部、生命環境学部、食料産業学部等の名称の学部が開設されている。本学部が開設を予定している近畿地区においては、国立大学 2 校（京都大学、神戸大学）、私立大学 3 校（龍谷大学、近畿大学、吉備国際大学）の 5 校が農学部を設置している。他に、生命科学系の学部については、複数の公立大学と私立大学がそれぞれ独自の名称の学部・学科を開設している（資料 1）。

上記したように、私立大学の農学部（「農学部」名称の学部）は、全国でも 8 大学、近畿地区では 3 大学（滋賀県、奈良県、兵庫県）の開設に留まっており、本学部が開設を予定する大阪府においては、国立・公立・私立大学ともに開設されていない状況（平成 30 年度現在）であり、本学部の設置により大阪府で唯一の農学部となる。大阪府の高等学校には、1 学年 7 万人以上の生徒が在籍しており（全日制高校第 3 学年在籍生徒数 73,568 人：平成 30 年度、大阪府「大阪の学校統計」）、その生徒の中における一定割合の農学分野への進学ニーズを考えた場合、本大学が農学部を開設する意義は大きいと考えている。

【資料 1】「近畿地区の農学系・生命科学系学部一覧」

③農学系学部の志願状況

（農学系学部の状況）

私立大学の農学系学部の募集状況（資料 2）は、過去 10 年間で、志願者数は 62,133 人（平成 21 年度）から 83,392 人（平成 30 年度）と、21,259 人（34.2%増）の増加となっている。入学定員の増加（6,755 人→8,309 人：1,554 人増）を考慮しても、志願者数は増加傾向にあり、学生募集は堅調に推移している。農学系学部に含まれる学部（21 学部／平成 30 年度）は、農学部・獣医学部・海洋学部・生物産業学部・生命環境学部・海洋生命科学部・生物資源科学部・動物看護学部・食料産業学部等である。

【資料 2】「私立大学農学系学部の志願者数等の推移」

（「農学部」名称学部の状況）

私立大学の「農学部」名称の学部の募集状況（資料 3）は、過去 10 年間で、志願者数は 33,563 人（平成 21 年度）から 46,802 人（平成 30 年度）と、13,239 人（39.4%増）の増加となっている。入学定員の増加（2,460 人→3,209 人：749 人増）を考慮しても、志願者数は増加傾向にあり、学生募集は堅調に推移している。「農学部」の主要 7 大学の個別の過去 10 年の志願者数の推移（資料 4）においても、志願者数の安定した増加傾向が示されている。以上の状況から、本大学に農学部を開設した場合は、近畿地区の私立大学で 4 番目

の後発学部となるものの、大阪府内で唯一の農学部であることも含めて、十分な志願者数が見込めると想定している。

【資料3】「私立大学「農学部」名称学部の志願者数等の推移」

【資料4】「主要私立7大学農学部の志願者数推移」

④私立大学農学部の定員充足状況

私立大学の農学系学部の定員充足状況（資料5）によると、都市部に立地する総合大学の私立大学の農学部は、全て定員を充足している。一部、定員を充足していない大学もあるが、0.9倍以上の、ほぼ1.0倍に近い充足率となっている。未充足の原因は、立地のアクセス等に起因するものと思われる。本学部は、大阪府と京都府の中間地点という通学アクセスが良好な都市圏内に位置し、また総合大学の利点を活かした学生募集活動が可能であることから、定員を充足する見込みであると考えている。

【資料5】「私立大学農学部の定員充足状況」

⑤高校生の進学希望分野の中に占める農学分野の割合

高校生の進学希望分野（進学ブランド力調査2018年（リクルート進学総研）、全国の7,488人の高校3年生が調査対象）（資料6）では、「生物・農・獣医・林産・水産学」分野が、8.2%の志願割合（関西地区2,335人の母数、複数回答）となっており、「医療・保健・衛生学」の8.4%、「看護学」の7.5%、「法律・政治学」の8.9%と同水準の志願割合となっている。本調査には、本学部では教育課程内で予定していない「獣医学」も含まれている一方、「家政・生活科学」に含まれる栄養学（本学部食品栄養学科対象）の4.9%は含まれていないことから、農学分野での高校生の進路の希望は全体の約8%と考えおり、高校生からの一定の進学ニーズが示されている。

【資料6】「進学ブランド力調査2018年（リクルート進学総研）」

⑥近畿地区の私立大学の管理栄養士養成課程の志願状況（食品栄養学科）

本学部食品栄養学科（入学定員80人）は、農学の学びを基盤とした上で管理栄養士養成を行う学科である。学生確保の見通しとして、近畿地区においては平成30年度現在、私立大学の管理栄養士養成課程の学部学科は25校（そのうち大阪府は9校）が設置されている（資料7）。近畿地区の私立大学の管理栄養士養成課程の学部学科の過去5年の競争率の平均は、平成26年度5.0倍、平成27年度4.8倍、平成28年度4.6倍、平成29年度4.2倍、平成30年度3.8倍と、やや倍率が下がっているものの、志願者数と倍率は安定して推移している。大阪府においては、志願者数が100人以下の大学が散見されるが、大学の規模や学生募集力に起因するものと思われるため、本学部食品栄養学科においては、競合校となる同規模の総合大学と同じ水準の志願者数、倍率を確保することを目標とする。

【資料7】「近畿地区の私立大学・管理栄養士養成課程の志願状況」

⑦撰南大学既存学部の志願状況及び充足状況

本大学は7学部（入学定員1,810人、収容定員7,784人）を擁する総合大学であり、平成30年度入試では、全入試種別で合計46,301人の志願者数を集めている（資料8）。平成30年度の一般・センター利用入試の志願者数32,406人は、全国の私立大学で27位、近畿地区では8位の志願者数となっている（旺文社教育情報センター[2018年8月]調べ）。

過去5年の志願者数（一般・センター）も、19,295人（平成26年度）から32,406人（平成30年度）と、13,111人の増加（1.68倍）となっており、各学部ともに志願者数、合格倍率ともに堅調に推移している。また、一般・センター利用入試の過去5年の合格倍率は、平成26年度から順に、4.8倍→3.7倍→4.4倍→4.3倍→5.8倍と、5年間の平均で4.6倍と順調に推移している。

本学部と入試科目が類似する本大学理工学部では、平成30年度入試の志願者数が9,495人、合格者が1,653人（合格倍率は5.7倍）、薬学部は志願者数が3,950人、合格者が826人（合格倍率は4.8倍）となっている。学問分野が異なる農学部の入学者選抜は、学部独自のものとする計画であるが、理工学部、薬学部と同水準の合格倍率（4.0倍以上）となる志願者数の確保を想定している。

上記した本大学既存学部の志願者数の実績からも明らかであるが、本大学は全ての学部において、入学定員充足率が1.0倍以上と安定的に確保している。志願者数及び合格倍率、入学定員充足率ともに、良好な状態が続いていることから、今後設置する農学部についても、万全の体制で入学者を確保する計画である。

【資料8】「撰南大学既存学部の志願状況」

⑧「撰南大学農学部設置構想についての高校生向けアンケート調査」の結果

本学部の学生確保の見通しを測定するために、近畿地区及び周辺県の高校2年生（調査実施時）11,030人を対象として、平成30年10月～平成31年1月に「撰南大学農学部設置構想についての高校生アンケート調査」（資料9）を実施した。調査結果の詳細は後述するが、アンケート調査の結果、本学部の4学科全てにおいて、入学定員を上回る数の「当該学科に入学したい」の回答（複数学科の重複回答はなし）を得た。本アンケート調査は、近畿地区を中心とした一部の高校（104校）を対象としたサンプル調査のため、実際には回答数以上の志願者、入学希望者が存在すると考えている。また、本学部は近畿地区以外にも広く学生募集活動を展開する予定であり、近畿地区以外からの志願者も一定数を見込んでいる。なお、本アンケート調査の詳細については、次項の（イ）「定員充足の根拠となる客観的なデータの概要」及び別添資料において詳しく説明する。

【資料9】「撰南大学農学部設置に係る学生確保の見通し調査（設置構想についての高校生アンケート調査）報告書」

⑨定員超過率が0.7倍未満の学部学科等の定員未充足の原因分析と定員設定の合理性

本大学には現在、定員超過率が0.7倍未満の学部学科はないが、同一法人の設置大学である広島国際大学の医療福祉学部医療福祉学科（以下、医療福祉学部）の過去5年の定員充足率の平均が0.68倍で定員未充足となっている。この主な原因としては、福祉・介護現場における賃金格差や昇給などの賃金処遇面の問題、労働時間や労働環境の問題、キャリア展望の不透明さなど、福祉・介護職としての卒業後の進路に対する不安が大きく影響しているものと考えられ、18歳人口の減少とも相まって、大学生及び短期大学生の総数に占める福祉・介護分野を学ぶ学生数は減少し続けている。

このような状況下で、医療福祉学部の定員規模の在り方について、広島国際大学内において検討を行った結果、高齢化の更なる進展に伴う福祉・介護需要が確実に増加していく中で、福祉・介護人材の量的及び質的な確保は重要な課題であり、福祉・介護人材を安定的に輩出することは、広島国際大学の使命であるとともに、地域福祉の推進に寄与するものでもあることから、現行定員を維持する方向で、募集戦略の強化による学生確保を目指すこととした。

具体的には、広島国際大学の平成30年度入試より、「福祉興味層の確実な志願」「福祉興味層の就学資金支援の強化」「福祉興味層の掘り起こしによる広報」「留学生の確保に向けた広報」を念頭に置き、高校内ガイダンスの実施回数の増加、職場見学会ツアーの実施、学科独自の奨学金制度等の導入、社会福祉協議会との協働事業の開催、日本語学校への訪問による留学生獲得活動の強化等を行った。その結果、平成30年度単年度の定員充足率は0.66倍と、前年度の定員充足率0.56倍と比較すると改善傾向を示していることから、募集戦略の強化による効果が現われているものと考えている。平成30年度の入学者数を踏まえつつ、高齢化社会の進展に伴う福祉・介護人材に対する社会的な需要等の観点から、当面の間、現行の入学定員100人を維持することとしている。

なお、広島国際大学では、平成32年4月より、既設の医療福祉学部、医療経営学部、心理学部、医療栄養学部を発展的に統合し、新たに健康科学部の医療福祉学科、医療経営学科、心理学科、医療栄養学科として設置する。これにより、医療・福祉・健康分野の学部教育の充実と発展を図る。定員充足に向けた各種改善策の取組に加えて、学生募集戦略の一層の強化による学生確保に努めることとするが、引き続き、医療福祉学部の入学者数の実態や推移等を見極めつつ、適正規模について検討していくこととする。

以上の状況並びに各種データによる考察とアンケート調査の結果により、本大学農学部は4学科を合わせた入学定員340人について、学生確保の見込みがあることが示されたと考えている。

(イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

上記(ア)でも触れたとおり、本学部の学生確保の見通しを測定するために、高校2年

生（調査実施時）を対象として、「設置構想についての高校生アンケート調査」を実施した。調査結果は以下のとおり（主要な設問のみ抜粋）。

【資料 9】「摂南大学農学部設置に係る学生確保の見通し調査（設置構想についての高校生アンケート調査）報告書」

摂南大学農学部設置に係る学生確保の見通し調査（設置構想についての高校生アンケート調査）の概要（抜粋）

調査実施時期	平成 30 年 10 月～平成 31 年 1 月
アンケート実施高校数	104 校
調査実施高校の分布	摂南大学の主な学生募集地域である、近畿地区 2 府 4 県を中心とし、北陸地区・中国地区・四国地区の高校も一部含めた
アンケート回収件数	11,030 人

摂南大学農学部設置に係る学生確保の見通し調査（設置構想についての高校生アンケート調査）の結果（抜粋）

アンケート設問	回答	回答件数	回答割合／全体
問 4 興味がある学問分野	理学・工学・農学	3,660 人	33.2%
	家政学（食物学・住居学・被服学）	849 人	7.7%
問 5 摂南大学農学部への受験意向	受験したい	795 人	7.2%
問 6 摂南大学農学部への入学意向	合格した場合、入学したい	388 人	3.5%
	合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	401 人	3.6%
問 7 受験・入学したい学科	農業生産学科	216 人	2.0%
	応用生物科学科	188 人	1.7%
	食品栄養学科	234 人	2.1%
	食農ビジネス学科	145 人	1.3%

上記の入学意向調査において、本学部に対する受験意向についての質問（問 5）に対しては、回答者 11,030 人中 795 人（回答者の 7.2%）が「受験したい」と回答した。さらに「受験したい」と回答した 795 人に対し、入学意向について質問（問 6）をしたところ、388 人（アンケート全回答者の 3.5%、設問回答者の 48.8%）が「合格した場合、入学したい」、401 人（同 3.6%、50.4%）が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。（問 6）で「受験したい」と回答した 795 人に、受験・入学したい学科を択一方式にて質問（問 7）をしたところ、農業生産学科（入学定員 80 人）が 216 人（2.0%）、応用生物科学科（入学定員 80 人）が 188 人（1.7%）、食品栄養学科（入学定員 80 人）が 234

人 (2.1%)、食農ビジネス学科 (入学定員 100 人) が 145 人 (1.3%) となり、各学科とも入学定員を超える受験意向者数、入学意向者数を得た。

以上から、本入学意向アンケート調査において、本学部の入学定員 340 人及び各学科の入学定員 (農業生産学科 80 人、応用生物科学科 80 人、食品栄養学科 80 人、食農ビジネス学科 100 人) を全て上回る受験意向・入学意向が確認され、今般設定する入学定員は充足する見込みであると考えている。

(ウ) 学生納付金の設定の考え方

本学部の学生納付金の金額は、以下のとおり設定した。

[摂南大学農学部 学生納付金]

(単位：円)

学科	入学金	授業料・教育充実費等 (1 年次)	初年度 納入金合計	2 年目以降 納入金/年	4 年間学納金 合計
農業生産学科	250,000	1,400,000	1,650,000	1,500,000	6,150,000
応用生物科学科	250,000	1,400,000	1,650,000	1,500,000	6,150,000
食品栄養学科	250,000	1,430,000	1,680,000	1,530,000	6,270,000
食農ビジネス学科	250,000	1,100,000	1,350,000	1,200,000	4,950,000

本学部が競合すると考えられる、近畿地区の私立大学 2 校の農学部の学生納付金 (平成 30 年度、各大学のホームページより参照) は下記 (参考) のとおりである。本学部は、競合すると考えられる他大学の農学部とほぼ同水準の金額となっており、学生募集において競争力のある設定であるとともに、継続的な農学の教育研究を可能とする経営基盤となる設定としている。

なお、本大学では、経済的環境が厳しい学生に対し、奨学金等の制度も整備しており、学生への経済面での支援も全学的に実施している。

(参考) [近畿地区の他大学農学部の学生納付金 (平成 30 年度)]

大学	入学金	授業料・教育充実費等 (1 年次)	初年度 納入金合計	2 年目以降 納入金/年	4 年間学納金 合計
近畿大学農学部 (農学部全学科共通)	250,000	1,442,000	1,692,000	1,472,000~ 1,532,000	6,198,000
龍谷大学農学部					
植物生命科学科	200,000	1,272,600	1,472,600	1,472,600	5,890,400
資源生物科学科	200,000	1,272,600	1,472,600	1,472,600	5,890,400
食品栄養学科	200,000	1,372,600	1,572,600	1,572,600	6,290,400
食糧農業システム学科	200,000	1,034,900	1,234,900	1,234,900	4,939,600

2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本大学は、7 学部を擁する総合大学として、過去 5 年平均で約 37,000 人以上の志願者を集めている。そうした数多くの本大学を志望しようとする生徒・保護者をはじめ、高校・予備校などへ対応するため、全学をあげて組織的な学生募集活動を展開している。特に近畿地区圏内においては、ほぼ全ての高校から志願者、入学者の実績があり、近畿地区以外においても、特に中国地区、四国地区、北陸地区、中部地区をはじめとして広範なエリアの高校から志願者、入学者を獲得している。農学部においても、近畿地区に留まらず、全国から農学分野を志願する学生の受け入れを想定している。

今般設置する農学部においては、本大学の学生募集の体制を強化するとともに、これまでの募集活動方針を発展させる形で、広報及び学生募集活動を行うとともに、農学分野を目指す志願者層を取り込めるよう、以下のような新たな取組を実施する。

【学生確保についての具体的な取組】(実績、数値実績と予定、目標等)

①オープンキャンパス

本大学は、寝屋川・枚方キャンパスの 2 キャンパスで、毎年計 8 回のオープンキャンパスを実施しており、次年度においても同数の実施を予定している。来場者数は、過去 5 年間で平均約 9,000 人以上の来場実績がある。新たに農学分野を目指す高校生を取り込むため、ダイレクトメールの送付、インターネット広告、交通広告、各種受験雑誌、高校訪問等で広く周知し、オープンキャンパス動員へと繋げる。本取組の実施により見込まれる効果は、全 8 回の実施で約 11,000 人を見込む。

②高校訪問

本大学は、年間延べ約 900 回以上の高校訪問を実施している。新たに農学分野を目指す高校生を取り込むため、特に 3 月～4 月にかけて農業系高校及び農業科を設置する高校に加え、近畿圏において農学部を設置している私立大学に合格実績が高い高校約 70 校を選定し、入試部及び農学部開設準備委員会のメンバーを中心に訪問する。また、近畿地区だけではなく、近畿圏への志願者流入が多く見込まれる中国地区、四国地区の高校へも訪問を実施し、地方からの志願者獲得にも強化を図る。その他、高校から依頼がある「農学」ガイダンスにも積極的に出席することで、より多くの受験生・高校生・高校教員との接点を増やす。

③進学説明会

本大学は、主に近畿地区を中心とした進学説明会に年間 80 会場以上参加をしている。新たに農学分野を目指す高校生を取り込むために、近畿地区での参加はもちろん、近畿圏への志願者の流入が多く見込まれる中国地区、四国地区への参加も強化する。

④媒体による広報

本大学は、受験情報誌、インターネット広告など、受験生が利用する様々な媒体を通して学生募集活動を実施している。新たに農学分野を目指す高校生を取り込むため、対象となる受験生をセグメントできるダイレクトメールの送付、模試受験者への WEB ダイレクトメールの配信、交通広告、受験情報誌、インターネット広告、TV-CM を実施する。特に大手予備校の模試実施前までに、多様なメディアを組み合わせることで、相乗効果を高める。本取組の実施により、新たな認知拡大を見込むとともに、オープンキャンパス来場や志願者獲得へと繋げる。

⑤パブリシティー広報の活用

本大学は、メディアに対する広報活動を法人本部広報室と連携して実施しているが、新たに農学部設置の認知向上と学生募集強化を図るため、各種メディアとのパイプがある PR 会社とも連携し、定期的に農学部に関する情報を発信する。第三者の目線による本大学農学部広報を実現することで、各種メディアにニュースとして取り上げられる露出機会の向上を狙う。

⑥広報ツールの制作

本大学では様々な学生募集ツールを制作しているが、新たに農学分野を目指す高校生を取り込むために、本大学農学部の特長や各学科の学びの内容を認知させるため、農学の学びの概要をまとめた農学部リーフレットを制作する。また、リーフレットの制作に合わせて特設サイトを制作し、紙媒体、WEB 媒体双方で農学部の概要について広く認知させる。農学部リーフレットは 115,000 部制作し、農学部志望者へ送付するとともに、大学案内・入試ガイドのセット資料に必ず同封し、多くの受験生・高校生に認知拡大を見込む。また、高校訪問時に持参、進学相談会やオープンキャンパスでの配布などでも広く活用する。特設サイトは本大学サイトの訪問者はもちろん、インターネット広告から直接リンクできる仕組みを構築し、幅広い層の受験生・高校生・保護者に閲覧できる環境を整備する。上記に加え、農学分野の志願者層の拡大及び農学分野以外の志願者を取り込むため、農学部の学びの魅力を伝える啓蒙サイト及び啓蒙動画を制作する。啓蒙サイト及び動画は本大学農学部特設サイトから誘導することに加え、大手進学情報サイトからも誘導することができる環境を整備する。

⑦SNS の活用

本大学は、受験生が多く利用している SNS を通して、受験生に有益な情報を定期的に配信している。新たに農学分野を目指す高校生を取り込むため、引き続き、農学部広報においても、SNS を活用した情報発信を実施し、親和性が高い動画コンテンツとの連動を図るなど、より相乗効果の高い訴求を実施する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

今般設置する農学部及び4学科の養成人材像は以下のとおりである。

[農学部]

総合科学としての農学を支える広範な基礎科学に関する知識・技能をもって、「農」「食」「栄養」に関する社会的諸課題を自ら発見し、主体的に解決する人間性豊かな専門職業人を養成することを教育研究上の目的とする。

[農業生産学科]

生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。

[応用生物科学科]

生物・生命の諸現象と、その背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成することを教育研究上の目的とする。

[食品栄養学科]

農学の学びを基盤として、食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。

[食農ビジネス学科]

農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成することを教育研究上の目的とする。

2) 上記1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの
客観的な根拠

〈1〉卒業後に予定される進路

本学部の卒業後の進路は、学科ごとに以下のように想定している。

[農業生産学科]

農業生産学科の卒業後の進路は、農学の知識を持った専門職業人として、以下のとおり想定している。

①農業関連企業・団体

種苗企業、農業施設・資材・農業機械の生産販売企業、作物生産から販売までを行う農業法人、青果市場等の販売・流通関連企業・団体等における研究、生産、営業職など

②国公立の農業関連機関・行政

農林行政や試験場での試験研究、地域農業の普及・指導など

③化学・医薬品メーカー

植物ホルモン、除草剤等の研究開発・販売を行う化学・医薬品メーカーでの研究、営業職など

④教育職

農業高校及び農業科を有する高校の教諭、中学・高等学校の理科の教諭

⑤進学

大学院修士課程への進学

[応用生物科学科]

応用生物科学科の卒業後の進路は、農学の中でも特に生命科学の知識を持った専門職業人として、以下のとおり想定している。

①生命科学・生物化学（バイオサイエンス）業界の企業・団体

食品関連業界（食品開発、健康食品、機能性食品）、化学工業業界（生物材料、農薬、バイオリアクター、バイオマスエネルギー）、製薬医薬品業界（創薬、化粧品開発）等

②国公立の関連機関・行政

農学や生命科学の知識を持った研究職

③環境関連企業・団体

環境関連（環境保護、環境浄化、有害物質分解、CO₂削減、環境モニタリング）等

④教育職

中学・高等学校の理科の教諭

⑤進学

大学院修士課程への進学

[食品栄養学科]

食品栄養学科の卒業後の進路は、農学及び栄養学の知識を持った栄養士・管理栄養士・栄養教諭として、以下のとおり想定している。

- ①医療機関で活躍できる管理栄養士
病院や診療所での勤務
- ②学校機関で活躍できる管理栄養士、栄養士
小中学校や学校給食センターでの勤務
- ③学生・勤労者福利厚生施設で活躍できる管理栄養士、栄養士
社員食堂や社員寮、大学の食堂等での勤務
- ④行政機関で活躍できる管理栄養士、栄養士
都道府県や市町村などの地方自治体、保健所や市町村保健センターなど
- ⑤福祉施設（高齢者・障がい者・児童）で活躍できる管理栄養士、栄養士
介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、障がい者（児）施設での勤務
- ⑥食品、健康食品関連企業、薬局・ドラッグストア等で活躍できる管理栄養士、栄養士
食品関連企業、薬局・ドラッグストアなどの勤務
- ⑦進学
大学院修士課程への進学

[食農ビジネス学科]

食農ビジネス学科の卒業後の進路は、「食」と「農」の経済・経営・ビジネスの知識を持った専門職業人として、以下のとおり想定している。

- ①「農」に関連する企業・団体・自治体
農業関連企業・団体、食品・飲料メーカー、化学・医薬品、運輸・倉庫業、金融業、卸売・小売業、公務員
- ②「食」に関連する企業・団体・自治体
農業関連企業・団体、食品・飲料メーカー、化学・医薬品、運輸・倉庫業、金融業、卸売・小売・サービス業、飲食業、公務員
- ③「食農共生」に関連する企業
流通、協同組合（生協・農協）、環境系企業、有機資材・有機農業関連企業・団体、NPO・NGO等、公務員
- ④進学
大学院修士課程への進学

〈2〉社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

我が国において大きく変化しつつある農業分野を担う人材への期待は大きく、近畿地区の私立大学として4校目、大阪府内では国公立大学の中で唯一の農学部となる本学部で

は、以下に示す根拠から、社会的、地域的な人材需要を踏まえたものであると考えている。

①本学部の卒業予定者の人材需要アンケート調査Ⅰの結果（全学科）

本学部の卒業予定者（全4学科）の人材需要の見通しを測定するため、平成30年10～12月にかけて、就職先として想定される事業所の人事・採用担当者を対象として、本学部の卒業予定者の人材需要（採用意向）アンケート調査を実施した（資料10）。

就職先として想定される2,326ヶ所の事業所に対し、アンケートを依頼し、558事業所から回答を得た（回収率24.0%）。調査結果は以下のとおり（主要な設問のみ抜粋）。

【資料10】「摂南大学農学部設置に係る人材需要の見通し調査（設置構想についての人材需要アンケート調査）報告書」

[摂南大学農学部設置に係る人材需要の見通し調査（設置構想についての人材需要アンケート調査）Ⅰ（全4学科）の概要と結果]

調査実施時期	平成30年11月～12月
調査依頼事業所数	2,326事業所
依頼した事業所の種類	<p>摂南大学農学部（仮称）の卒業生の採用が想定される以下の業種の事業所</p> <p>①企業（2,059事業所） 製造業（食品、飲料、飼料、製菓など）、卸売業、小売業、飲食サービス業、運輸・倉庫業、建設業、金融業、農林水産業などの業種の企業であり、主たる事業所が大阪府内をはじめとする近畿二府四県、又は主たる事業所が首都圏で大阪府に支店等を置く企業</p> <p>②地方自治体（204事業所） 近畿二府四県の府県庁・市庁・町村役場</p> <p>③農業協同組合（63事業所） 近畿二府四県の農業協同組合（JA）拠点事業所（支店は除く）</p>
アンケート回収数	558件（回収率 24.0%）

アンケート設問	回答	回答件数／総数	構成比
（各学科の養成人材像と特色に対する評価の設問）			
問4 農業生産学科の養成する人材像、学科特色への評価	大変評価する	213件／558件	38.2%
	ある程度評価する	225件／558件	40.3%
問6 応用生物科学科の養成する人材像、学科特色への評価	大変評価する	177件／558件	31.7%
	ある程度評価する	258件／558件	46.2%
問10 食品栄養学科の養成する人材像、学科特色への評価	大変評価する	189件／558件	33.9%

色への評価	ある程度評価する	237件／558件	42.5%
問12 食農ビジネス学科の養成する人材像、学科特色への評価	大変評価する	194件／558件	34.8%
	ある程度評価する	244件／558件	43.7%
(各学科の卒業生の採用意向と採用可能人数の設問)			
問5 農業生産学科(入学定員80人)の卒業生の採用意向	採用したい	181件／558件	32.4%
	採用可能人数合計	476人	—
問7 応用生物科学科(入学定員80人)の卒業生の採用意向	採用したい	152件／558件	27.2%
	採用可能人数合計	364人	—
問11 食品栄養学科(入学定員80人)の卒業生の採用意向	採用したい	129件／558件	23.1%
	採用可能人数合計	344人	—
問13 食農ビジネス学科(入学定員100人)の卒業生の採用意向	採用したい	157件／558件	28.1%
	採用可能人数合計	392人	—

(事業所からの「評価する」回答数)

上記の調査結果の概要のとおり、本学部の各学科の評価を質問したところ、「大変評価する」と「ある程度評価する」を合わせた回答が、

- ①農業生産学科 438件 (78.5%)
- ②応用生物科学科 435件 (78.0%)
- ③食品栄養学科 426件 (76.3%)
- ④食農ビジネス学科 438件 (78.5%)

となり、各学科とも事業所から高い評価を得ていることが示された。

(事業所からの「採用したい」回答数)

また、各学科の卒業予定者の採用意向と採用可能人数を質問したところ、「採用したい」の回答数が、

- ①農業生産学科 181事業所 (32.4%) [採用可能人数合計：476人]
- ②応用生物科学科 152事業所 (27.2%) [採用可能人数合計：364人]
- ③食品栄養学科 129事業所 (23.1%) [採用可能人数合計：344人]
- ④食農ビジネス学科 157事業所 (28.1%) [採用可能人数合計：392人]

となり、各学科ともに入学定員を大きく超える採用意向を得た。

以上の結果から、本学部の卒業生の卒業後の就職における人材需要が示されている。

②食品栄養学科の卒業予定者の人材需要アンケート調査Ⅱの結果（食品栄養学科）

食品栄養学科については、栄養士及び管理栄養士養成施設という学科の特性から、卒業後の栄養士及び管理栄養士としての就職先が他の3学科と業種が大きく異なることから、「人材需要アンケート調査Ⅰ（全4学科の人材需要調査）」に加えて、食品栄養学科のみの採用意向調査「人材需要アンケート調査Ⅱ（食品栄養学科の人材需要調査）」（資料10）を別途実施した。この「人材需要アンケート調査Ⅱ」では、病院、診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、障がい者施設、保育所、児童養護施設、給食会社、薬局を対象として調査を行った。

【資料10】「摂南大学農学部設置に係る人材需要の見通し調査（設置構想についての人材需要アンケート調査）報告書」

[摂南大学農学部設置に係る人材需要の見通し調査（設置構想についての人材需要アンケート調査）Ⅱ（食品栄養学科のみ）の概要と結果]

調査対象（依頼先）	1,361事業所		
調査対象の業種	食品栄養学科の卒業後の就職先として想定される、近畿地区の病院、診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、障がい者施設、保育所、児童養護施設、給食会社、薬局		
調査時期	平成30年7月～8月		
調査方法	郵送によるアンケート依頼		
回収件数	262事業所（回収率：19.3%）		
調査結果（抜粋）	（問6）「摂南大学農学部食品栄養学科」の養成人材像、特色に対する評価		
	回答	回答事業所数／合計	構成比
	①大変評価する	78件／262件	29.8%
	②ある程度評価する	93件／262件	35.5%
	（問7）「摂南大学農学部食品栄養学科」の卒業生（管理栄養士）の継続的な採用の意向		
	回答	回答事業所数／合計	構成比
	①採用したい	59件／262件	22.5%
	（問7）「採用したい」とした場合の採用人数		
	採用可能人数	回答事業所数 59事業所	採用可能人数合計 147人

アンケート調査の結果、本学科の養成人材像（管理栄養士）と特色について、合わせて65.3%の事業所から、「評価する・ある程度評価する」の回答を得た上で、卒業生の管理栄養士としての採用については、22.5%にあたる59事業所から「採用したい」の回答を得た。また、「（本学科の卒業生を）採用したい」と回答した事業所に採用可能人数を質問したと

ころ、採用可能人数の合計は 147 人 (59 事業所) となった。本アンケート調査は、本学科が完成年度を迎え卒業生を輩出した場合を想定した調査ではあるが、卒業後の人材需要について、入学定員 80 人以上の需要があることが示されている。

上記の「採用可能人数」は、全て各学科の入学定員を上回っており、本学部各学科の卒業予定者の人材需要、採用需要が確実に存在することが本調査の結果で示されたと考えている。

③現在の農学系学部卒業生の就職・進学状況（全学科）

学校基本調査によると、他大学の農学系学部の卒業生（平成 30 年度）の就職状況は以下のとおりとなっている（出典：平成 30 年度学校基本調査）。

国公立全体では、農学系学部の卒業生 17,594 人のうち、正規職員としての就職者は 11,996 人 (68.2%)、非正規職員としての就職が 190 人 (1.1%)、大学院への進学者が 4,244 人 (24.1%) となっており、正規職員としての就職と大学院進学者を足した 16,240 人は全体の 92.3%となっている。なお、国公立大学の全分野の学部の卒業生数は 565,419 人であり、正規職員としての就職と大学院進学者の合計 480,689 人の割合は、85.0%である。

私立大学の農学系学部では、卒業生 9,355 人のうち、正規職員としての就職者は 7,638 人 (81.6%)、非正規職員としての就職が 134 人 (1.4%)、大学院への進学者が 789 人 (8.4%) となっており、正規職員としての就職と大学院進学者を足した 8,427 人は全体の 90.1%となっている。なお、私立大学の全分野の学部の卒業生数は 435,511 人であり、正規職員としての就職と大学院進学者の合計 369,205 人の割合は、84.8%である。

上記の状況から、国公立を問わず、農学部の卒業生の人材需要は、全学部の平均よりも 5 ポイント程度堅調であり、90%以上の就職率（大学院進学を含む）となっている。本学部の卒業生を輩出は平成 36 年 3 月であるが、4 年間の農学の学びを通じて、社会から求められる人材を養成することで、大学院進学を含め就職率 100%を目指していく。

④我が国の農業を取り巻く環境からの人材需要（農業生産学科）

我が国の農業は、農林水産省の基本政策で示されているとおり、多くの課題を抱えながらも、攻めの農林水産業として、食料安全保障の向上、環境と調和した持続的な農業、農林漁業の 6 次産業化、農水産物の輸出促進等、将来への明確なビジョンが示されており、それを支えていく農業の専門的知識を持った人材が求められている。また、有機農業の推進、様々なテクノロジーを活用したスマート農業の推進、食の安全とトレーサビリティによる消費者の信頼確保等、農業生産に関連する人材需要は、今後も堅調に推移すると考えられる。農業生産学科では、植物・栽培・生物・環境等の多様な側面から農業生産を学ぶが、卒業後の就職先は、幅広い業種に関連すると想定している。現代の我が国の農業を取り巻く状況から、農業生産学科の卒業生の人材需要は大きいと考えている。

⑤生命科学研究分野における人材需要（応用生物科学科）

応用生物科学科は、生命科学研究分野を中心とした教育研究分野であり、食糧や環境を中心に人間生活全般を支える広範な生命科学（バイオサイエンス）分野、生命産業（バイオインダストリー）分野からの人材需要は大きいと言える。具体的には、食品関連業界（食品開発、健康食品、機能性食品）、化学工業業界（生物材料、農薬、バイオリクター、バイオマスイエネジー）、製薬医薬品業界（創薬、化粧品開発）、環境関連（環境保護、環境浄化、有害物質分解、CO2削減、環境モニタリング）等における研究開発等において、応用生物科学科の卒業生は貢献できると考えている。

⑥バイオテクノロジー関連産業における人材需要（応用生物科学科）

経済産業省では、バイオテクノロジー関連産業を牽引する「バイオ人材の育成」を政策として掲げている。バイオテクノロジーは、化学、繊維、製紙、食品、製薬、医療など幅広い産業に関連しており、バイオテクノロジー産業の各研究現場においては、技術開発の多様化や高度化に伴って、特定のバイオ技術領域に関して、精緻な作業や試験を行うことができる技術人材が求められている。また、同省では、バイオテクノロジーの研究開発の推進分野を、健康分野と環境分野の2つに分類している。健康分野では、国民の健康の質の更なる向上、質の高い医療の実現のため、創薬・診断に資する産業基盤技術の開発や、基礎研究成果の技術を臨床応用へと橋渡しするための事業（基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発、幹細胞産業応用促進基盤技術開発、ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発、後天的ゲノム修飾のメカニズムを活用した創薬基盤技術開発、幹細胞実用化に向けた評価基盤技術開発プロジェクト、ライフサイエンスデータベースプロジェクト、再生医療等産業化促進事業）を推進している。環境分野では、環境と調和した持続的な経済・社会の実現のため、バイオテクノロジーを活用した環境に優しい製造プロセスや循環型産業システムの創造を目標とし、植物や微生物などが持つ機能の特長である高い反応の選択性や穏和な条件での効率的な生産性などを活用した産業分野で利用される有用な物質の生産技術の開発（微生物機能を活用した高度製造基盤技術開発、土壌汚染対策のための技術開発）を推進している。応用生物科学科の養成する人材は、教育課程にも含まれる微生物機能や土壌学という農学の観点から、上記のようなバイオテクノロジー分野の人材需要に応えるものであると考えている。

⑦食育の推進における人材需要（食品栄養学科）

農林水産省では、健康で文化的な国民の生活と豊かで活力のある社会の実現に寄与することを目的として、食育の推進に積極的に取り組んでいる。食育は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てることであるとされている（出典：農林水産省 HP「食育の推進」）。平成29年度「食育推進施

策」(農林水産省)の第7節「専門的知識を有する人材の養成・活用」において、「食生活や健康づくりに関する専門的な知識を有し、食育を推進する上で重要な役割を担う者として、管理栄養士等の養成を行っていること」と「管理栄養士は、学校・保育所・病院・社会福祉施設・介護保険施設・保健所・保健センター・食品産業・大学・研究機関において、食生活に関する支援を行う人材であること」が記載されている。大阪府においても、関係機関で構成される「大阪府食育推進ネットワーク会議」等を活用し、オール大阪の体制により食育を推進することを明示している。大阪府民の食生活については、継続的に改善を図るための取組みを総合的かつ計画的に推進するため、「第3次大阪府食育推進計画(平成30年4月～平成35年3月)」が策定されている。食育の推進においては、管理栄養士及び栄養教諭が果たす役割は大きいことから、食品栄養学科の卒業生の、大阪府を中心とした地域の食育と健康増進における人材需要は大きいと考えている。

⑧大阪府における管理栄養士の人材需要(食品栄養学科)

第6次大阪府保健医療計画(平成25～29年度)の中の「保健医療従事者の確保と資質の向上(第2章第2節)」において、管理栄養士・栄養士についての今後の方策として「市町村の栄養改善および健康づくり事業が円滑かつ適切におこなえるよう、管理栄養士・栄養士の配置促進に努める」と記載されている。さらに、「第7次大阪府医療計画(平成30～35年度)」では、「保健医療従事者の確保と資質の向上(第8章第6節 管理栄養士・栄養士)」において、「平成28年度の人口10万対の特定給食施設における管理栄養士・栄養士数は65.3人(全国68.4人)で全国を下回っている」ため、計画最終年(平成35年度)までの取組として、「中間年までに実施した事業の結果を踏まえ、引き続き、管理栄養士・栄養士の配置促進と資質向上に取り組めます。」と記載されている。以上の方針から、大阪府においては引き続き管理栄養士の配置の促進が図られることが示されている。

⑨大阪府北河内地域における管理栄養士養成施設の状況からの人材需要(食品栄養学科)

平成30年4月現在、大阪府内には、栄養士・管理栄養士の養成施設が13校、栄養士養成施設10校が設置されている。本学部が設置を予定している枚方キャンパスは、京阪電鉄沿線に位置しているが、京阪電鉄沿線にある管理栄養士養成課程を設置する大学は3校のみである。特に、大阪市と京都市の中間に位置する枚方市周辺には、管理栄養士養成課程が設置されていない。また、本学部の位置する枚方市は、北河内地域と称される地域であり、枚方市を含め7市、人口約118万人であり、大阪府内の人口の13.3%を占める地域となっている。栄養士・管理栄養士の役割は、特定健診・特定保健指導・糖尿病療養指導・訪問栄養指導・食育を通じた地域の健康づくりの推進に留まらず、高齢化の進展に伴い、在宅療養者が増大することを踏まえ、在宅の栄養・食生活支援を担うことも求められている。そのほか、多岐にわたる健康・栄養課題に対応するため、保健、医療、福祉及び介護領域における栄養士・管理栄養士に対して、その資質向上を図る必要があるとされており(出

典：「第7次大阪府医療計画（平成30～35年度）」、大阪府内及び北河内地域における栄養士・管理栄養士の人材需要は堅調であると考えている。

⑩給食施設の管理栄養士の配置状況から見た人材需要（食品栄養学科）

（給食施設の種類の管理栄養士の配置状況）

厚生労働省の衛生行政報告例（平成29年度）の「(第3表)給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数,特定給食施設—その他の給食施設・施設の種別」(資料11)によると、全ての給食施設91,002施設のうち、管理栄養士が配置されている施設の割合は41.1%であり、栄養士もしくは管理栄養士が配置されている施設の割合は66.4%である。特定給食施設50,542施設のうち、管理栄養士が配置されている施設の割合は49.6%であり、栄養士もしくは管理栄養士が配置されている施設の割合は73.5%である。指定施設2,816施設のうち、管理栄養士が配置されている施設の割合は93.9%であり、栄養士もしくは管理栄養士が配置されている施設の割合は97.1%となっている。

管理栄養士の配置が義務となっているのは上記のうち指定施設のみであるが、特定給食施設、その他の給食施設においても、管理栄養士の配置がない施設については、新たに管理栄養士を配置することで、給食供給と栄養管理業務の品質の向上が見込まれることから、管理栄養士の人材需要が示されていると言える。

【資料11】「給食施設における管理栄養士の配置状況」

（都道府県別の管理栄養士の配置状況）

上記の衛生行政報告例（平成29年度）の「(第4表-1)給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数(特定給食施設),都道府県—指定都市—中核市(再掲)別」(資料12)の、都道府県、指定都市、中核市別の特定給食施設50,542施設における栄養士、管理栄養士の配置状況によると、施設に管理栄養士が配置されている割合は、全国平均49.6%に対して、大阪府が43.7%、大阪市が40.2%、枚方市が39.8%となっており、食品栄養学科を設置する大阪府及び枚方市は、全国平均よりかなり低い水準となっている。管理栄養士の配置状況については、各地域に固有の事情や理由があるとはいえ、配置割合の向上が求められていることは明らかなことから、食品栄養学科が養成する管理栄養士の地域的な人材需要が示されていると言える。

【資料12】「特定給食施設における都道府県別の管理栄養士の配置状況」

⑪大阪府における地域包括ケアシステムの中での人材需要（食品栄養学科）

大阪府における75歳以上の後期高齢者人口は、平成27年の約103万人から、10年後の平成37(2025)年には約153万人となり、高齢化率は上昇の一途をたどると予測されている。また、大阪府の総世帯数は、平成27年には3,935,214世帯で、平成22年と比べると112,031世帯、率にして2.9%増加している。特に、65歳以上の単独世帯数は、平成37(2025)

年には約 61 万世帯、全世帯数に占める割合が 15.6%となり、全国（13.4%）と比較しても割合が高くなることが予測されている。大阪府では、このような少子高齢化を背景に、団塊の世代が後期高齢者となる平成 37（2025）年を見据え、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられることができるよう「住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）」の構築と体制づくりが進められている。地域包括ケアシステムの中で、管理栄養士は、病院、介護保険施設、老人福祉施設等での、他の専門職種との連携の中での栄養指導や栄養管理を通じた健康増進、健康維持の役割が求められている。食品栄養学科の卒業生は、管理栄養士として、地域包括ケアシステムの人材需要にも応えていく。

⑫第 2 次枚方市健康増進計画と健康医療都市ひらかたコンソーシアムからの人材需要（食品栄養学科）

本学部を設置する大阪府枚方市の「第 2 次枚方市健康増進計画(平成 26～35 年)」では、「健康日本 21(第 2 次)」とその地方計画である「第 2 次大阪府健康増進計画」を踏まえた具体的な計画がなされており、「基本方向 3：6 つの分野に関する健康づくりの推進」として、栄養・食生活の目標項目と目標値（欠食の割合など）がライフステージ別に設定されている。この計画の基本理念は、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができるまち「健康医療都市ひらかた」の実現とされている。食品栄養学科の卒業生は、栄養士、管理栄養士として地元の枚方市の健康づくりの貢献していく予定である。また枚方市は、市内に所在の大学、中核病院、行政等で構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」を平成 24 年 8 月に設立し、健康と医療に関わる社会資源を最大限に活用し、市民の健康増進や地域医療のさらなる充実を目指している。薬学部及び看護学部を擁する本大学も当コンソーシアムに加盟しており、食品栄養学科の開設後は、枚方市における管理栄養士の人材需要に応えていく予定である。枚方市保健所からは、特定給食施設等の事業者向けの集団指導における研修会・講演会における講師派遣や、市民向けの啓発事業として食育イベント「ひらかた食育カーニバル」への参画などが期待されている。

⑬栄養教諭の人材需要（食品栄養学科）

食品栄養学科においては、栄養教諭の養成も行う計画（教職課程認定申請を別途行う）である。食に関する指導、学校における食育の推進に中核的な役割を担う栄養教諭制度が平成 17 年度から開始されている。食育推進基本計画（平成 18 年）では、全都道府県における栄養教諭の早期の配置が求められている。栄養教諭の配置が進むことにより、各学校において、栄養教諭を中心として食に関する指導に係る全体計画が作成され、体系的・継続的な学校全体の取組となることが期待されている。栄養教諭は、食に関する指導と給食管理を一体のものとして行うことにより、地場産物を活用して給食と食に関する指導を実施するなど、教育上の高い相乗効果が期待されている。食に関する指導としては、肥満、

偏食、食物アレルギーなどの児童生徒に対する個別指導や、学級担任等と連携した集団的な食に関する指導、他の教職員や家庭・地域と連携した食に関する指導を推進するための連絡・調整を行うこととされている。食品栄養学科は、栄養教諭の養成を通じて、教育現場での食育の推進に貢献していく予定である。

⑭農業経営、農村振興のプロフェッショナルとしての人材需要（食農ビジネス学科）

我が国の農業は、グローバル化の加速と高齢化による限界集落の増加など、多くの課題を抱えており、農業経営全般において諸課題の解決と農産漁村の活性化をはかれる人材が求められている。具体的には、農業の担い手の育成と確保、経営所得の安定、新規就農と人材育成、農業における女性の活躍推進、農業・農村の多面的機能の獲得、中山間地域の振興、農村における土地利用など、農業と農産漁村の再生が求められている。これらの課題を農学と経済学・経営学の両面から解決できる能力を備えた食農ビジネス学科の卒業生は、我が国の農林水産業全般からの人材需要に応え、貢献できるものと考えている。

⑮農林漁業の6次産業化を推進できる人材の需要（食農ビジネス学科）

農林漁業の6次産業化とは、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組とされ、農山漁村の所得の向上や雇用の確保を目指して推進されている（出典：「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」（六次産業化・地産地消法）より）。6次産業化とは、農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業まで含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするものである（出典：「文部科学省検定済教科書（高等学校農業科用）農業経営」（実教出版））。農業の6次産業化を支える人材としては、生産から加工、販売まで、農学的な視点とともに、経営学的な視点で農と食のプロセスを俯瞰的に把握できる人材が求められていると言える。食農ビジネス学科で身につける能力、養成する人材は、農業の6次産業化に求められる人材像と合致しており、6次産業化に関連する農業団体、食品加工企業、食品製造業、流通・小売業からの人材需要に応じていくと考えている。

⑯拡大・複雑化する「食」の業界からの人材需要（食農ビジネス学科）

我が国においては、人口減少と少子高齢化により、「食」の市場自体は縮小傾向にあるが、単身世帯、共働き世帯の増加に伴い、内食（家庭内の食事）から中食（調理済み食品の購入）⁰⁰や高齢者向けの宅配食の市場の台頭、外食への移行の動きも大きくなっている。外食業界においては、個人店舗の減少の一方で、大規模なチェーン店舗は拡大傾向にあり、その市場規模は25.65兆円（平成29年度）（出典：日本フードサービス協会「外食産業市場規模推計」より）となっており、前年度より0.8%増加している。外食業界における人手

不足は慢性化しており、また人件費や穀物・肉類等の原材料価格の上昇を受け、労働生産性の向上、原材料の調達先の分散安定化やコストのコントロール等の、高度な「食」のマネジメントとマーケティングが実行できる人材が求められている。また、訪日外国人観光客の急激な増加に伴うハラル食や各国語メニューなど、外国人向けのグローバルな「食」の対応ができる人材も求められるようになっている。食農ビジネス学科では、農作物の生産・加工・流通・消費の「食」と「農」のサイクルにおける課題を、経済・経営・マーケティングの観点から解決できる能力を養成することから、食農ビジネス学科の卒業者は、これら「食」のプロセスに関連する外食業界、中食業界からの人材需要にも合致していると考えられる。

以上の複数のアンケート調査結果と総合的な考察により、本大学農学部及び各学科の卒業予定者の社会的な人材需要及び採用需要は十分に示されていると考えている。

以上

学生確保の見通し等を記載した書類

資料目次

- 【資料 1】 近畿地区の農学系・生命科学系学部一覧
- 【資料 2】 私立大学農学系学部の志願者数等の推移
- 【資料 3】 私立大学「農学部」名称学部の志願者数等の推移
- 【資料 4】 主要私立 7 大学農学部の志願者数推移
- 【資料 5】 私立大学農学部の定員充足状況
- 【資料 6】 進学ブランド力調査 2018 年（リクルート進学総研）
- 【資料 7】 近畿地区の私立大学・管理栄養士養成課程の志願状況
- 【資料 8】 摂南大学既存学部の志願状況
- 【資料 9】 摂南大学農学部設置に係る学生確保の見通し調査
（設置構想についての高校生アンケート調査）報告書
- 【資料 10】 摂南大学農学部設置に係る人材需要の見通し調査
（設置構想についての人材需要アンケート調査）報告書
- 【資料 11】 給食施設における管理栄養士の配置状況
- 【資料 12】 特定給食施設における都道府県別の管理栄養士の配置状況

近畿地区の農学系・生命科学系学部一覧

	設置者	大学名	学部名	学科名	入学定員	立地	
「農学部」名称の学部	1	国立	京都大学	農学部	資源生物科学科 応用生命科学科 地域環境工学科 食料・環境経済学科 森林科学科 食品生物科学科	300	京都府京都市
	2	国立	神戸大学	農学部	食料環境システム学科 資源生命科学科 生命機能科学科	160	兵庫県神戸市
	3	私立	龍谷大学	農学部	植物生命科学科 資源生物科学科 食品栄養学科 食料農業システム学科	416	滋賀県大津市
	4	私立	近畿大学	農学部	農業生産科学科 水産学科 応用生物化学科 食品栄養学科 環境管理学科 生物機能科学科	680	奈良県奈良市
	5	私立	吉備国際大学	農学部	地域創成農学科 醸造学科	90	兵庫県南あわじ市
小計					1,646		
生命科学系名称の学部	6	公立	京都府立大学	生命環境学部	生命分子化学科 農学生命科学科 食保健学科 環境・情報科学科 環境デザイン科 森林科学科	208	京都府京都市
	7	公立	大阪府立大学	生命環境科学域	獣医学類 応用生命科学類 緑地環境科学類 理学類	339	大阪府堺市
	8	私立	長浜バイオ大学	バイオサイエンス学部	フロンティアバイオサイエンス学科 メディカルバイオサイエンス学科 アニマルバイオサイエンス学科	238	滋賀県長浜市
	9	私立	京都学園大学 (2019年4月より 大学名変更予定)	バイオ環境学部	食農学科 バイオ環境デザイン学科 バイオサイエンス学科	190	京都府亀岡市
	10	私立	立命館大学	生命科学部	応用化学科 生物工学科 生命情報学科 生命医科学科	325	滋賀県草津市
	11	私立	関西大学	化学生命工学部	化学・物質工学科 生命・生物工学科	347	大阪府吹田市
小計					1,647		
合計					3,293		

※学部として農学系・生命化学系の学部を開設している大学。学科として開設している大学は記載していない。

私立大学農学系学部の志願者数等の推移

区分		農学系学部計（私立）											
年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
集計学部数	16	17	17	17	17	17	18	18	18	21			
	+0	+1	+1	+1	+1	+1	+2	+2	+2	+5			
入学定員	6,755	6,865	7,000	6,960	6,960	6,960	7,515	7,515	7,741	8,309			
	+0	+110	+245	+205	+205	+205	+760	+760	+986	+1,554			
志願者（下段は平成21年度を100%とした増加数・増加割合）	62,133	64,618	69,494	72,512	77,662	82,167	85,235	83,540	85,357	83,392			
	+0	+2,485	+7,361	+10,379	+15,529	+20,034	+23,102	+21,407	+23,224	+21,259			
入学者数	100.0%	104.0%	111.8%	116.7%	125.0%	132.2%	137.2%	134.5%	137.4%	134.2%			
	7,441	7,748	8,096	7,921	7,814	7,789	8,491	8,416	8,174	8,256			
入学定員充足率	1.10	1.13	1.16	1.14	1.12	1.12	1.13	1.12	1.06	0.99			

出典：私立大学・短期大学等入学志願動向（平成27年度～平成30年度）
（日本私立大学振興・共済事業団）

私立大学「農学部」名称学部の志願者数等の推移

区分	農学部計（私立）											
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
年度												
集計学部数	6	6	6	6	6	6	7	7	7	8		
入学定員	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	2,895	2,895	3,021	3,209		
	+0	+0	+0	+0	+0	+0	+435	+435	+561	+749		
	33,563	36,534	38,209	37,607	40,357	42,225	45,987	45,751	49,596	46,802		
志願者数（下段は平成21年度を100%とした増加数・増加割合）	+0	+2,971	+4,646	+4,044	+6,794	+8,662	+12,424	+12,188	+16,033	+13,239		
	100.0%	108.9%	113.8%	112.0%	120.2%	125.8%	137.0%	136.3%	147.8%	139.4%		
	2,923	2,763	2,885	2,798	2,755	2,756	3,215	3,302	3,088	3,065		
入学者数	1.19	1.12	1.17	1.14	1.12	1.12	1.11	1.14	1.02	0.96		

出典：私立大学・短期大学等入学志願動向（平成27年度～平成30年度）
（日本私立大学振興・共済事業団）

主要私立7大学農学部の志願者数推移

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 東京農業大学農学部	6,281	7,318	7,470	7,866	7,876	7,387	7,167	6,656	7,020	8,119
	100%	116.5%	118.9%	125.2%	125.4%	117.6%	114.1%	106.0%	111.8%	129.3%
2 明治大学農学部	9,470	9,968	10,491	10,572	10,216	10,493	10,546	9,690	9,804	9,760
	100%	105.3%	110.8%	111.6%	107.9%	110.8%	111.4%	102.3%	103.5%	103.1%
3 玉川大学農学部	2,327	2,882	3,200	3,276	3,465	3,483	3,140	2,947	3,024	2,939
	100%	123.9%	137.5%	140.8%	148.9%	149.7%	134.9%	126.6%	130.0%	126.3%
4 名城大学農学部	3,620	4,086	4,001	3,740	3,673	3,886	3,782	4,812	5,050	4,671
	100%	112.9%	110.5%	103.3%	101.5%	107.3%	104.5%	132.9%	139.5%	129.0%
5 近畿大学農学部	7,830	8,439	8,928	8,111	10,694	11,837	11,643	10,958	14,127	11,692
	100%	107.8%	114.0%	103.6%	136.6%	151.2%	148.7%	139.9%	180.4%	149.3%
6 東海大学農学部	846	963	1,285	1,560	1,764	2,057	1,558	1,390	1,549	1,136
	100%	113.8%	151.9%	184.4%	208.5%	243.1%	184.2%	164.3%	183.1%	134.3%
7 龍谷大学農学部	-	-	-	-	-	-	3,809	4,202	4,055	3,326
	-	-	-	-	-	-	100.0%	110.3%	106.5%	87.3%
志願者数 合計 (下段は平成21年対比 の割合、※龍谷大学を 除く)	30,374	33,656	35,375	35,125	37,688	39,143	41,645	40,655	44,629	41,643
	100.0%	110.8%	116.5%	115.6%	124.1%	128.9%	137.1%	133.8%	146.9%	137.1%

出典：旺文社「蛭雪時代」（一般・センター入試の志願者数）

私立大学農学部の定員充足状況

	大学・学部名	学科名	入学定員	収容定員	学生数 (平成30年)	収容定員 充足率
1	東京農業大学 農学部	農学科	220	912	1,050	1.15
		畜産学科	180	740	805	1.09
		バイオセラピー学科	140	580	647	1.12
		合計	540	2,232	2,502	1.12
2	明治大学 農学部	農学科	150	540	523	0.97
		食料環境政策学科	150	540	594	1.10
		農芸化学科	150	540	544	1.01
		生命科学科目	150	540	550	1.02
		合計	600	2,160	2,211	1.02
3	玉川大学 農学部	改組後の3学科及び改組前の 3学科の6学科合計	305	1,180	1,229	1.04
4	名城大学 農学部	生物資源学科	110	420	472	1.12
		応用生物化学科	110	420	454	1.08
		生物環境科学科	110	420	442	1.05
		合計	330	1,260	1,368	1.09
5	近畿大学農学部	全学科合計	680	2,620	2,868	1.09
6	東海大学 農学部	応用植物科学科	80	320	313	0.98
		応用動物科学科	80	320	302	0.94
		バイオサイエンス学科	70	280	259	0.93
		合計	230	920	874	0.95
7	龍谷大学 農学部	植物生命科学科	84	348	333	0.96
		資源生物科学科	126	512	497	0.97
		食品栄養学科	80	320	315	0.98
		食料農業システム学科	126	512	469	0.92
		合計	416	1,692	1,614	0.95
8	吉備国際大学 農学部	地域創成農学科	50	220	154	0.70
		醸造学科	40	40	20	0.50
		合計	90	260	174	0.67
合計			5,397	20,848	21,583	1.04

出典：各大学の公開情報による（平成30年5月現在）

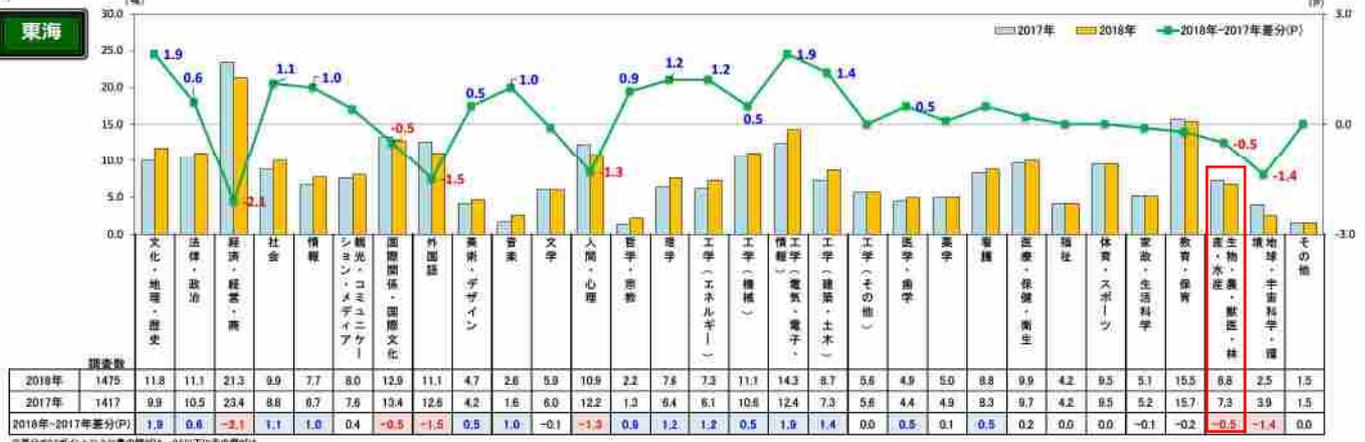
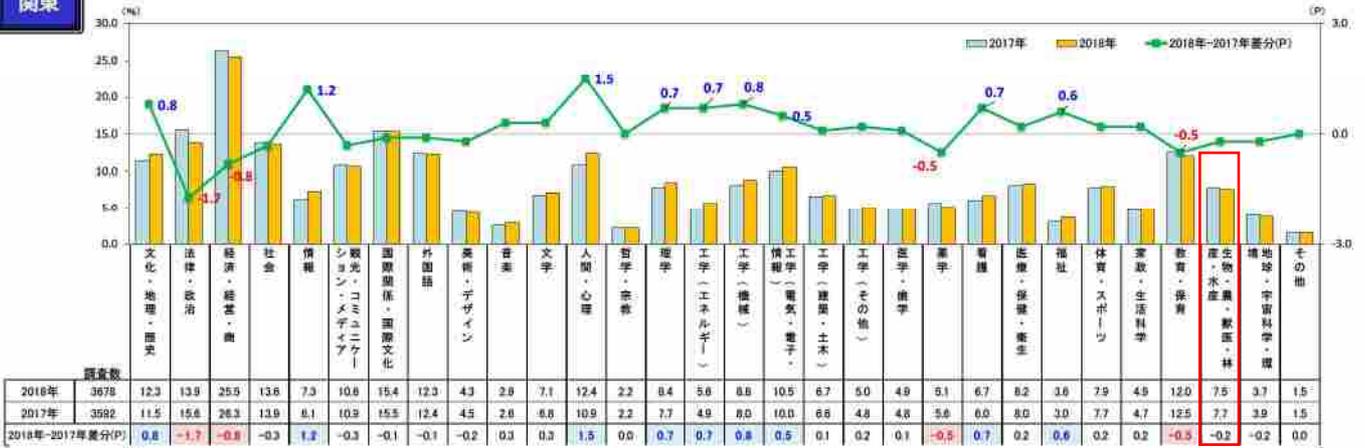
※入学定員は平成30年度の定員。

※吉備国際大学の醸造学科は1学年のみ在籍。

■AI・IoT、ロボット等の技術革新が著しい「情報」「工学（エネルギー）」「工学（機械）」等の分野で希望者が増加

- ・ここ2年間で見ると、3エリア共通の傾向として、「経済・経営・商」の希望者が2017年を境に減少傾向。
- ・グローバル化等の影響で注目が高まる「国際関係・国際文化」「外国語」の希望者は減少傾向であり、国際を冠しない学部であっても大学全体で国際化を進めているケースが多いため、こうした分野系統に行かなくても国際性が身につくようになりつつある実情を反映していると思われる。
- ・3エリア共通で昨年より増加しているのは「文化・地理・歴史」「情報」「音楽」「理学」「工学（エネルギー）」「工学（機械）」「医学・歯学」「看護」「医療・保健・衛生」
- ・3エリア共通で昨年より減少しているのは「経済・経営・商」「国際関係・国際文化」「外国語」
- ・昨年に比べ、関東と東海では工学系分野の希望者が増加傾向にある。
- ・昨年に比べ、東海と関西では「美術・デザイン」「哲学・宗教」が増加傾向にある。

■進学希望分野（全体/複数回答） 単位:%



近畿地区の私立大学・管理栄養士養成課程の志願状況

番号	所在地	大学名	学部名	学科・専攻等名	入学定員	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度												
						志願者	合格者	志願倍率	志願者	合格者	志願倍率	志願者	合格者	志願倍率	志願者	合格者	志願倍率	志願者	合格者	志願倍率	志願者	合格者	志願倍率	志願者	合格者	志願倍率	志願者	合格者	志願倍率					
1	滋賀県	龍谷	農	食品栄養	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	784	107	7.3	1086	157	6.9	938	158	5.9	750	205	3.7							
2		同志社女子	生活科学	食物栄養科・管理栄養士	80	1,044	204	5.1	1,115	236	4.7	1,092	219	5.0	1,099	200	5.5	1,246	175	7.1	1,039	161	6.5	950	172	5.5	851	168	5.1					
3	京都府	京都女子	家政	食物栄養	120	1,441	197	7.3	1,647	197	8.4	1,506	187	8.1	1,521	191	8.0	1,424	210	6.8	1,048	256	4.1	1,191	250	4.8	1,072	228	4.7					
4		京都光華女子	健康科学	健康・管理栄養	80	240	54	4.4	282	54	5.2	287	99	2.9	453	136	3.3	420	103	4.1	292	106	2.8	279	88	3.2	156	46	3.4					
5		京都華頂	現代家政	食物栄養	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
6		大阪樟蔭女子	学芸	健康栄養・管理栄養士	120	381	91	4.2	451	61	7.4	395	98	4.0	485	84	5.8	432	82	5.3	579	119	4.9	601	142	4.2	660	194	3.4	454	193	2.4		
7		相愛	人間発達	発達栄養	80	-	-	-	32	31	1.0	27	24	1.1	50	44	1.1	34	31	1.1	32	29	1.1	25	25	1.0	17	15	1.1	15	13	1.2		
8		大阪青山	健康科学	健康栄養	80	40	33	1.2	51	44	1.2	63	46	1.4	78	51	1.5	101	36	2.8	67	34	2.0	67	33	2.0	61	48	1.3	58	48	1.2		
9		千里金蘭	生活科学	食物栄養	80	89	76	1.2	157	113	1.4	212	95	2.2	215	120	1.8	211	105	2.0	201	109	1.8	129	107	1.2	98	93	1.1	69	65	1.1		
10		関西福祉科学	健康福祉	福祉栄養	80	65	48	1.4	107	47	2.3	138	60	2.3	135	60	2.3	118	83	1.4	109	49	2.2	89	54	1.6	73	52	1.4	86	59	1.5		
11		羽衣国際	人間生活	食物栄養	70	-	-	-	59	29	2.0	57	39	1.5	65	29	2.2	69	47	1.5	125	27	4.6	77	23	3.3	53	26	2.0	19	15	1.3		
12		帝塚山学院	人間科学	食物栄養・管理栄養士	80	116	44	2.6	163	37	4.4	123	43	2.9	156	38	4.1	177	63	2.8	162	40	4.1	134	53	2.5	100	59	1.7	143	81	1.8		
13		大手前	健康栄養	管理栄養	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14		梅花女子	食文化	管理栄養	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15		武庫川女子	生活環境	食物栄養	200	2,046	277	7.4	1,929	301	6.4	2,172	302	7.2	2,344	281	8.3	2,102	340	6.2	1,729	298	5.8	1,944	342	5.7	2,242	314	7.1	1,675	288	5.8		
16		神戸女子	家政	管理栄養士	150	1,266	165	7.7	1,361	180	7.6	1,237	172	7.2	1,262	143	8.8	1,198	180	6.7	948	163	5.8	802	169	4.7	902	190	4.7	1,041	183	5.7		
17		兵庫	健康科学	栄養マネジメント	80	104	89	1.2	82	93	0.9	84	98	0.9	84	88	1.0	82	97	0.8	78	62	1.3	44	33	1.3	56	50	1.1	59	51	1.2		
18		園田学園女子	人間健康	食物栄養	80	163	30	5.4	216	34	6.4	238	26	9.2	177	62	2.9	202	77	2.6	192	78	2.5	206	72	2.9	133	88	1.5	137	98	1.4		
19		甲子園	栄養	栄養	120	217	127	1.7	287	147	2.0	207	115	1.8	170	134	1.3	117	93	1.3	110	74	1.5	84	52	1.6	62	34	1.8	44	23	1.9		
20		神戸学院	栄養	管理栄養学専攻	95	1,327	167	7.9	1,148	214	5.4	990	261	3.8	1,008	184	5.5	1,282	288	4.5	1,140	144	7.9	926	253	3.7	806	275	2.9	504	237	2.1		
21		神戸松蔭女子学院	人間科学	生活・食物栄養	60	173	49	3.5	331	52	6.4	307	67	4.6	351	107	3.3	315	92	3.4	204	94	2.2	143	75	1.9	124	68	1.8	126	47	2.7		
22		甲南女子	医療栄養	医療栄養	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23		帝塚山	現代生活	食物栄養	120	271	121	2.2	341	142	2.4	507	135	3.8	537	145	3.7	411	136	3.0	520	208	2.5	511	184	2.8	369	81	4.6	290	116	2.5		
24		近畿	農	食品栄養	80	972	168	5.8	1,138	185	6.2	1,064	153	7.0	1,176	179	6.6	1,246	150	8.3	1,174	149	7.9	1,466	219	6.7	1,355	291	4.7	1,262	271	4.7		
25		畿央	健康科学	健康栄養	90	868	128	6.8	1,263	116	10.9	1,323	150	8.8	1,636	157	10.4	1,751	207	8.5	1,853	232	8.0	1,872	211	8.9	1,686	256	6.6	1,877	225	8.3		
総数又は平均					2,285	10,823	2,068	5.2	12,160	2,313	5.3	12,029	2,389	5.0	13,002	2,433	5.3	12,938	2,595	5.0	12,296	2,583	4.8	12,972	2,835	4.6	12,410	2,951	4.2	11,222	2,964	3.8		

※入学定員は平成30年度入試時点
 ※旺文社「蛭雪時代：全国大学案内号（2013～2018年）」（一般・センター利用入試）に基づく。

摂南大学既存学部への志願状況

摂南大学 学部	2014年度						2015年度						2016年度						2017年度						2018年度					
	一般・センター利用入 試志願者			全入試種別の合計志願 者			一般・センター利用入 試志願者			全入試種別の合計志願 者			一般・センター利用入 試志願者			全入試種別の合計志願 者			一般・センター利用入 試志願者			全入試種別の合計志願 者			一般・センター利用入 試志願者			全入試種別の合計志願 者		
	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率	志願者	合格者	倍率
法学部	1,754	488	3.6	2,451	1,047	2.3	1,770	638	2.8	3,631	1,169	3.1	2,096	479	4.4	3,291	1,134	2.9	1,986	704	2.8	3,379	1,272	2.7	3,342	634	5.3	4,807	1,237	3.9
外国語学部	1,889	475	4.0	3,405	1,163	2.9	1,951	665	2.9	4,092	1,277	3.2	1,636	558	2.9	3,405	1,247	2.7	2,359	530	4.5	4,272	1,287	3.3	2,641	571	4.6	4,520	1,169	3.9
経済学部	2,015	538	3.7	3,495	1,036	3.4	2,589	816	3.2	4,400	1,401	3.1	3,110	743	4.2	5,114	1,344	3.8	3,517	823	4.3	5,739	1,341	4.3	4,851	779	6.2	6,638	1,309	5.1
経営学部	2,478	636	3.9	4,200	1,285	3.3	2,867	1,004	2.9	4,866	1,574	3.1	3,179	840	3.8	5,306	1,452	3.7	3,745	964	3.9	5,881	1,585	3.7	5,939	864	6.9	8,363	1,516	5.5
理工学部	5,876	1,284	4.6	8,919	2,495	3.6	6,253	1,488	4.2	10,209	2,707	3.8	7,850	1,555	5.0	12,100	2,684	4.5	8,898	1,911	4.7	12,397	2,984	4.2	9,495	1,653	5.7	13,014	2,921	4.5
薬学部	4,044	354	11.4	5,801	739	7.8	3,683	476	7.7	5,806	870	6.7	3,480	707	4.9	4,964	1,061	4.7	4,225	915	4.6	5,874	1,322	4.4	3,950	826	4.8	5,684	1,271	4.5
看護学部	1,239	228	5.4	2,227	390	5.7	1,119	330	3.4	1,980	575	3.4	1,475	283	5.2	2,289	510	4.5	1,570	279	5.6	2,335	448	5.2	2,188	295	7.4	3,275	530	6.2
摂南大学合計	19,295	4,003	4.8	30,498	8,155	3.7	20,232	5,417	3.7	34,984	9,573	3.7	22,826	5,165	4.4	36,469	9,432	3.9	26,300	6,126	4.3	39,877	10,239	3.9	32,406	5,622	5.8	46,301	9,953	4.7

摂南大学

「農学部（仮称）」

農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)

設置に係る学生確保の見通し調査

(設置構想についての高校生アンケート調査)

報告書

株式会社 紀伊國屋書店

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要	3
2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果	5
3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント	9
添付資料① 「設置構想についての高校生アンケート調査」	11
添付資料② 「アンケート実施高校一覧」	15

1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要

摂南大学が2020年度、設置構想中の「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」における学生確保の見通しを測定するために、2020年度に大学進学時期を迎える高校2年生を対象に「設置構想についての高校生アンケート調査」(無記名式)を実施した。大阪府を中心とした近畿地方の計104校の高校生11,030人から回答を得て集計した結果、**「農業生産学科(仮称)」は予定する入学定員80名に対し216人が「受験したい」とし、その上で103人が「合格した場合、入学したい」、113人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。**「応用生物科学科(仮称)」は予定する入学定員80名に対し188人が「受験したい」とし、その上で81人が「合格した場合、入学したい」、107人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。「食品栄養学科(仮称)」は予定する入学定員80名に対し234人が「受験したい」とし、その上で95人が「合格した場合、入学したい」、139人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。「食農ビジネス学科(仮称)」は予定する入学定員100名に対し145人が「受験したい」とし、その上で106人が「合格した場合、入学したい」、39人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。

調査対象	2020年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生(2020年3月卒業予定者)をアンケートの対象とした。摂南大学に志願者・入学者が多い大阪府を中心とした近畿地方の実績校にアンケート実施を依頼し、104校にご協力いただいた。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の基本情報(居住地、性別、高校卒業後の希望進路、興味のある学問分野) ● 摂南大学「農学部 農業生産学科・応用生物科学科・食品栄養学科・食農ビジネス学科(仮称・設置構想中)」の受験・入学意向 以上、全9問ですべて選択肢式。
調査時期	2018年10月～2019年1月
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙(必要部数)を送付。各校の教職員から調査対象者(高校2年生)にアンケート用紙を配布の上、10分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
回収件数	有効回答数11,030件

実施高校の県別内訳

	公立	私立	合計	割合
石川県	-	1	1	1.0%
福井県	-	1	1	1.0%
三重県	-	1	1	1.0%
滋賀県	-	1	1	1.0%
京都府	3	9	12	11.5%
大阪府	24	22	46	44.2%
兵庫県	12	4	16	15.4%
奈良県	6	4	10	9.6%
和歌山県	1	1	2	1.9%
岡山県	3	1	4	3.8%
広島県	2	-	2	1.9%
徳島県	1	-	1	1.0%
香川県	3	2	5	4.8%
愛媛県	1	-	1	1.0%
高知県	1	-	1	1.0%
合計	57	47	104	100.0%
割合	54.8%	45.2%	100.0%	

在籍高校所在地別の回収件数

	公立	私立	合計	割合
石川県	-	148	148	1.3%
福井県	-	110	110	1.0%
三重県	-	148	148	1.3%
滋賀県	-	128	128	1.2%
京都府	230	1,281	1,511	13.7%
大阪府	2,365	2,784	5,149	46.7%
兵庫県	798	336	1,134	10.3%
奈良県	372	377	749	6.8%
和歌山県	78	81	159	1.4%
岡山県	523	243	766	6.9%
広島県	355	-	355	3.2%
徳島県	128	-	128	1.2%
香川県	164	154	318	2.9%
愛媛県	31	-	31	0.3%
高知県	196	-	196	1.8%
合計	5,240	5,790	11,030	100.0%
割合	47.5%	52.5%	100.0%	

→ 配布した「設置構想についての高校生アンケート調査」用紙は 11 ページ【添付資料①】参照。

→ 実施した高校 104 校の名称は「アンケート実施高校一覧」15 ページ【添付資料②】参照。

2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 大阪府	5,111	46.3%
2. 京都府	1,328	12.0%
3. 兵庫県	1,167	10.6%
4. 奈良県	799	7.2%
5. 滋賀県	229	2.1%
6. 和歌山県	142	1.3%
7. 岡山県	764	6.9%
8. 広島県	357	3.2%
9. 山口県	3	0.0%
10. 鳥取県	2	0.0%
11. 島根県	3	0.0%
12. 香川県	321	2.9%
13. 徳島県	131	1.2%
14. 愛媛県	34	0.3%
15. 高知県	200	1.8%
16. その他	378	3.4%
(無回答)	61	0.6%
合計	11,030	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	5,720	51.9%
2. 女性	5,270	47.8%
(無回答)	40	0.4%
合計	11,030	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(最もあてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 進学	9,554	86.6%
2. 就職	673	6.1%
3. 現時点では未定	760	6.9%
(無回答)	43	0.4%
合計	11,030	100.0%

問4 あなたが興味のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 理学・工学・農学 (数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学、農学、農業経済学、林学、水産学など)	3,660	33.2%
2. 家政学 (食物学、住居学、被服学)	849	7.7%
3. 人文科学 (文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)	2,202	20.0%
4. 社会科学 (法学・政治学、商学・経営学、経済学、社会学など)	2,212	20.1%
5. 保健学 (医学・歯学・薬学・看護学、歯科衛生学、リハビリ・放射線・臨床検査など)	2,506	22.7%
6. 芸術学 (音楽、デザイン、美術など)	1,360	12.3%
7. 教育学・教員養成 (幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育など)	1,620	14.7%
8. その他	594	5.4%

※ 問4は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 11,030 人 (全回答者の人数)

問5 以降は別紙 摂南大学「農学部」の概要を見た上での回答を求めた。

問5 あなたは摂南大学が設置構想中の「農学部」のいずれかの学科を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	795	7.2%
2. 受験しない	10,059	91.2%
(無回答)	176	1.6%
合計	11,030	100.0%

以下の問6・問7は、問5で「1. 受験したい」を選択した高校生(795人)のみが回答対象である。

問6 あなたは摂南大学が設置構想中の「農学部(仮称)」のいずれかの学科を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 合格した場合、入学したい	388	48.8%
2. 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	401	50.4%
(無回答)	6	0.8%
合計	795	100.0%

問7 摂南大学が設置構想中の「農学部」において、あなたが受験・入学したい学科をお答えください。
(あてはまるもの1つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 農業生産学科	216	27.4%
2. 応用生物科学科	188	23.8%
3. 食品栄養学科 [管理栄養士養成課程]	234	29.7%
4. 食農ビジネス学科	145	18.4%
(無回答)	6	0.8%
合計	789	100.0%

以下は問5/問6/問7の学科別クロス集計結果

	選択項目	回答数
農業生産学科	1. 受験したい	216
	2. 入学意欲を示す者	216
	2.1 合格した場合、入学したい	103
	2.2 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	113
応用生物科学科	1. 受験したい	188
	2. 入学意欲を示す者	188
	2.1 合格した場合、入学したい	81
	2.2 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	107
食品栄養学科	1. 受験したい	234
	2. 入学意欲を示す者	234
	2.1 合格した場合、入学したい	95
	2.2 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	139
食農ビジネス学科	1. 受験したい	145
	2. 入学意欲を示す者	145
	2.1 合格した場合、入学したい	106
	2.2 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	39

次の問8・9は、問5で「2. 受験しない」を選択した高校生（10,059人）のみが回答対象

問8 あなたが摂南大学が設置構想中の「農学部（仮称）」を「受験しない」とされた理由をお答えください。
（あてはまるものすべてにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 興味・関心のある学問分野ではないから	7,164	71.2%
2. 国公立大学への進学を希望しているから	1,584	15.7%
3. 他の私立大学への進学を希望しているから	2,235	22.2%
4. 短期大学への進学を希望しているから	215	2.1%
5. 専門学校への進学を希望しているから	849	8.4%
6. 就職を希望しているから	537	5.3%
7. 興味・関心のある学問分野だが、新設学部・学科への進学は不安だから	240	2.4%
8. アクセスが不便そうだから	427	4.2%
9. 学費が高いから	626	6.2%
10. その他	240	2.4%

※ 問8は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 10,059人（問5で2を選択した者）

問9 摂南大学のイメージとして、あてはまると思われるものをお選びください。
（あてはまるものすべてにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 教育機関としてビジョンがある	1,685	16.8%
2. 在学中の資格取得に積極的である	440	4.4%
3. 学部、学科が充実している	2,441	24.3%
4. グローバルである／国際交流が活発である	422	4.2%
5. 広報活動に力を入れている	995	9.9%
6. 就職状況が良い	533	5.3%
7. 研究などに使用する施設が充実している	435	4.3%
8. スポーツ活動に熱心に取り組んでいる	359	3.6%
9. 各界に多数の人材を輩出している	165	1.6%
10. キャンパスに活気がある	762	7.6%
11. 地域産業に貢献している	395	3.9%
12. 立地が良い	895	8.9%
13. ロゴ、カラー、キャラクター等が思い浮かぶ	281	2.8%
14. 伝統や歴史を重んじている	214	2.1%
15. 地域社会・文化に貢献している	280	2.8%
16. デジタル化が進んでいる	252	2.5%
17. 学長／教授に魅力がある	187	1.9%
18. 他大学にはない魅力がある	1,490	14.8%
19. 留学生の受け入れが活発である	179	1.8%

※ 問9は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 10,059人（問5で2を選択した者）

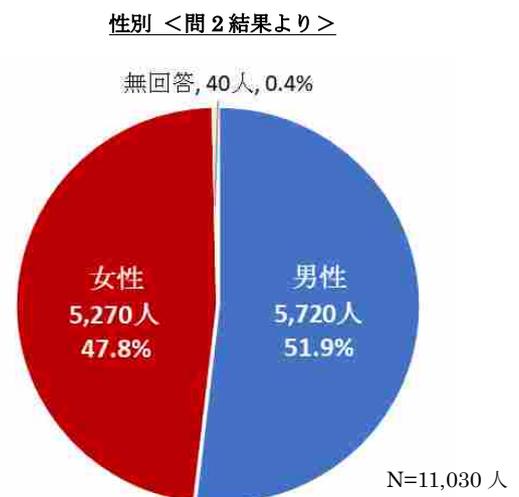
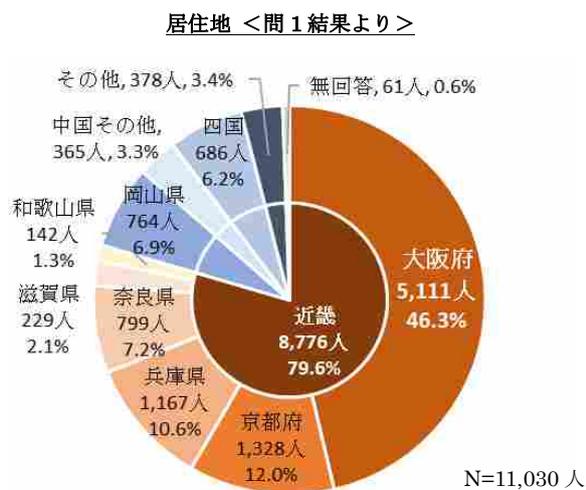
3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

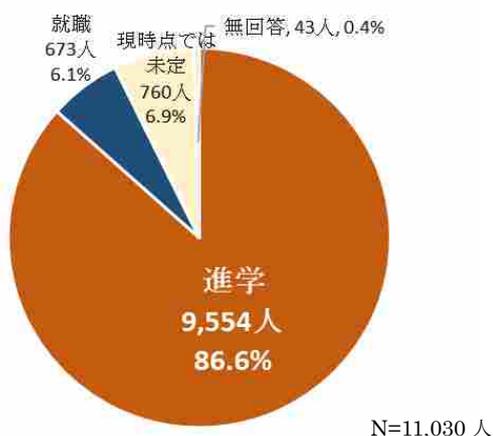
Point 1 摂南大学が学生確保の基盤とする大阪府を含む近畿地方を中心に、北陸・中国・四国地方の高校生 11,030 人が回答し、そのうち3割強が「理学・工学・農学」に興味を示す。

摂南大学が 2020 年度、に設置予定の「農学部 (仮称)」に係る「設置構想についての高校生アンケート調査」において、有効回答 11,030 件の集計を行った。その結果、回答者を居住地別にみると、大阪府が 5,111 人(全体の 46.3%)で全体の約半数を占めた。大阪府を含む近畿地方全体では 8,776 人(同 79.6%)で全体の約 8 割であった。その他、北陸・中国・四国地方の高校生から回答を得た。性別では「男性」5,720 人(同 51.9%)、「女性」5,270 人(同 47.8%)で概ね半数ずつであった。高校卒業後の希望進路については、「進学」が 9,554 人(同 86.6%)で全体の 9 割近くを占めた。興味のある学問分野については、最も多かったのが「理学・工学・農学」の分野で 3,660 人(同 33.2%)、次いで多かったのが「保健学」で 2,506 人(同 22.7%)であることから、理系分野への進学を検討する高校生が回答者に多く含まれていることがうかがえる(複数回答の結果)。

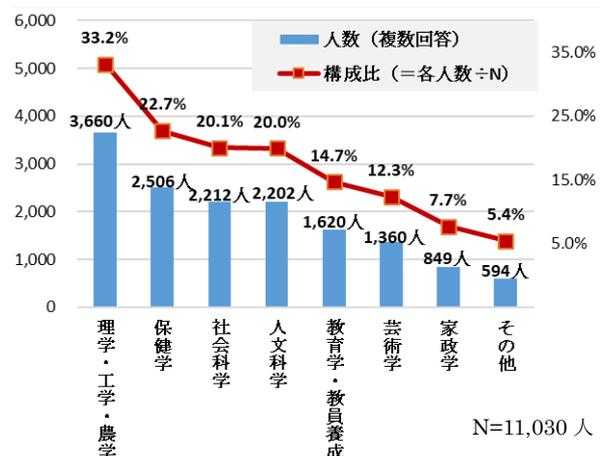
【グラフ】回答者の属性



高校卒業後の希望進路 <問 3 結果より>



興味のある学問分野 <問 4 結果より>
※左より回答数が多い順で複数回答の結果



Point 2 農学部(仮称)全体の入学定員 340 名に対し 2.34 倍となる 795 人が受験意欲を示し、さらに4学科すべてにおいて入学定員を上回る入学希望者が見込まれる。

摂南大学が 2020 年度、設置構想中の「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」の概要を示し、受験・入学意欲について回答を求めた。

その結果、「農学部(仮称)」全体の入学定員 340 名に対し 2.34 倍となる 795 人(全体の 7.2%)が「農学部(仮称)」のいずれかの学科を「受験したい」と回答した。

795 人中、「農業生産学科(仮称・入学定員 80 名を予定)」は 216 人が入学意欲を示し、うち 103 人が「合格した場合、入学したい」、113 人は「併願先の結果によっては入学したい」とした。

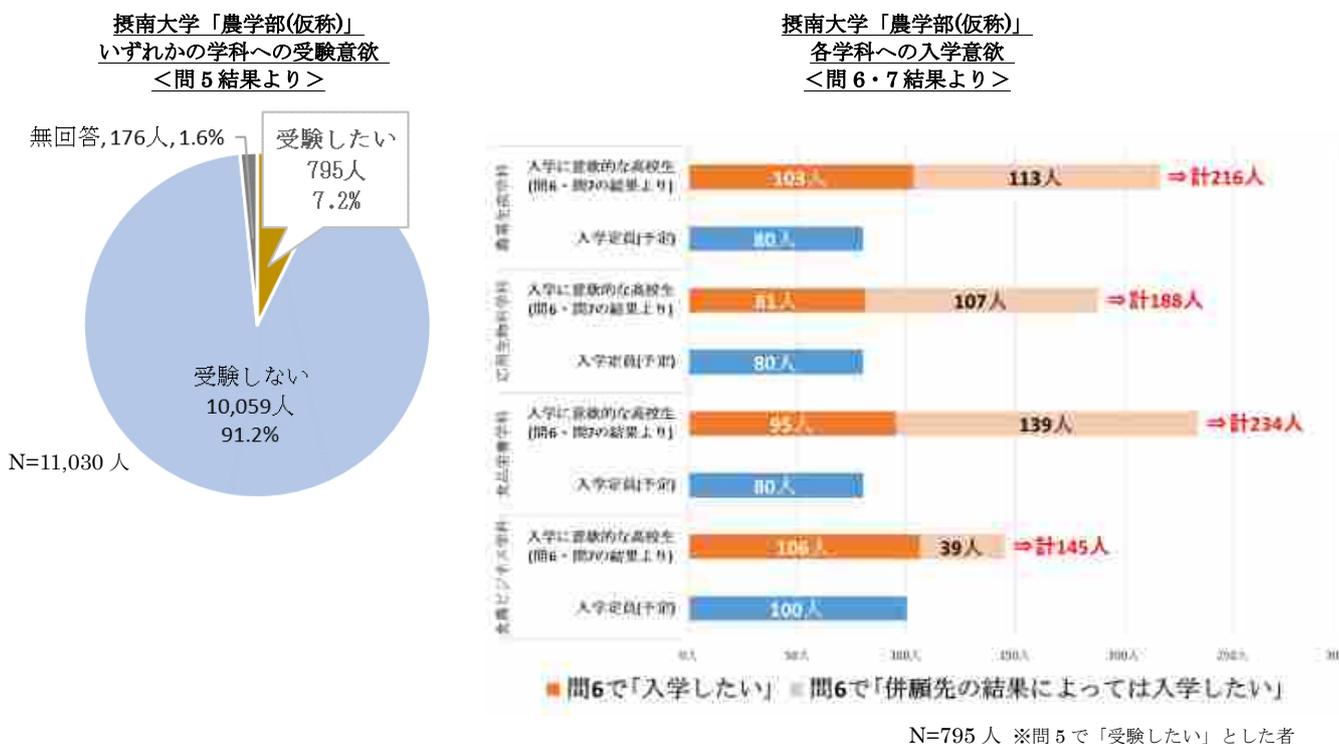
「応用生物科学科(仮称・入学定員 80 名を予定)」は 188 人が入学意欲を示し、うち 81 人が「合格した場合、入学したい」、107 人は「併願先の結果によっては入学したい」とした。

「食品栄養学科(仮称・入学定員 80 名を予定)」は 234 人が入学意欲を示し、うち 95 人が「合格した場合、入学したい」、139 人は「併願先の結果によっては入学したい」とした。

「食農ビジネス学科(仮称・入学定員 100 名を予定)」は 145 人が入学意欲を示し、うち 106 人が「合格した場合、入学したい」、39 人は「併願先の結果によっては入学したい」とした。

以上のように摂南大学が設置構想中の「農学部(仮称)」については、開設予定の全 4 学科において、各入学定員を上回る高校生が入学意欲を示していることが明らかとなった。なお、本調査は設置圏域である大阪府ならびに近畿地方、加えて北陸・中国・四国地方の高校 104 校の 11,030 人の回答結果に留まることから、今後の広報活動を通してこの結果を上回る志願者確保が見込まれることは確実といえる。

【グラフ】摂南大学「農学部(仮称)」への受験・入学意欲



添付資料① 「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」の「設置構想についての高校生アンケート調査」

アンケート設問用紙(1ページ目/全2ページ)



摂南大学 農学部

2020年4月開設に向け **設置構想中** ※学部・学科名称はすべて仮称

設置構想についての高校生アンケート調査

(対象：2018年度現在、高校2年生の皆さん)

農業生産学科
応用生物科学科
食品栄養学科
食農ビジネス学科

記入例を参考にご回答ください。

正しい 誤り

● ○ ○ ○ ○

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

<input type="checkbox"/> 大阪府	<input type="checkbox"/> 京都府	<input type="checkbox"/> 兵庫県	<input type="checkbox"/> 奈良県	<input type="checkbox"/> 滋賀県	<input type="checkbox"/> 和歌山県
<input type="checkbox"/> 岡山県	<input type="checkbox"/> 広島県	<input type="checkbox"/> 山口県	<input type="checkbox"/> 鳥取県	<input type="checkbox"/> 島根県	
<input type="checkbox"/> 香川県	<input type="checkbox"/> 徳島県	<input type="checkbox"/> 愛媛県	<input type="checkbox"/> 高知県		
<input type="checkbox"/> その他	[]				

問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにチェック)

男性 女性

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(最もあてはまるもの一つにチェック)

進学 就職 現時点では未定

問4 あなたが興味のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにチェック)

理学・工学・農学(数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学、農学、農業経済学、林学、水産学など)

家政学(食物学、住居学、被服学)

人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)

社会科学(法学、政治学、商学・経営学、経済学、社会学など)

保健学(医学・歯学・薬学・看護学、歯科衛生学、リハビリ・放射線・臨床検査など)

芸術学(音楽、デザイン、美術など)

教育学・教員養成(幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育など)

その他 []

問5 以降は別紙「摂南大学 農学部」の概要をご覧の上でお答えください。

問6 あなたは摂南大学が設置構想中の「農学部」のいずれかの学科を受験したいと思いませんか。(あてはまるもの一つにチェック)

受験したい ⇒ 裏面2ページの、問6・問7にお答えください。

受験しない ⇒ 裏面2ページの、問8・問9にお答えください。



8000000016qd

1



概要資料 (1・4ページ/全4ページ ※A3二つ折)

アクセス



- 新キャンパスの責任者が生まれ、さらにアクセスが便利になりました！
- >>>最寄りからのアクセス
- JR東海/信濃本線(原町駅)から徒歩15分(徒歩15分)
 - JR東海/信濃本線(原町駅)から徒歩15分(徒歩15分)
 - JR東海/信濃本線(原町駅)から徒歩15分(徒歩15分)
 - JR東海/信濃本線(原町駅)から徒歩15分(徒歩15分)

学費

学部名	学科名	学費	授業料(仮称)授業料		合計
			1年次	2年次	
農学部	農業生産学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000
	応用生物科学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000
	食品栄養学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000
	食農ビジネス学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000
[仮称]農学部					
農学部	農業生産学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000
	応用生物科学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000
	食品栄養学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000
	食農ビジネス学科	200,000	1,400,000	1,600,000	1,800,000

- 新キャンパスの責任者が生まれ、さらにアクセスが便利になりました！
- JR東海/信濃本線(原町駅)から徒歩15分(徒歩15分)
- JR東海/信濃本線(原町駅)から徒歩15分(徒歩15分)
- JR東海/信濃本線(原町駅)から徒歩15分(徒歩15分)

本紙・農学部は設置準備中のため、学部・学科名称、内容、学費等は変更となる場合があります。

2020年4月、
信州大学 校方キャンパスに
農学部
農業生産学科/応用生物科学科
食品栄養学科/食農ビジネス学科
を開設します。

[2019年3月設置認可申請予定]

農学部は2020年4月、信州大学 校方キャンパスに農業生産学科(仮称)・応用生物科学科(仮称)・食品栄養学科(仮称)・食農ビジネス学科(仮称)の4学科を開設します。2020年3月に設置認可申請予定です。

農学部は2020年4月、信州大学 校方キャンパスに農業生産学科(仮称)・応用生物科学科(仮称)・食品栄養学科(仮称)・食農ビジネス学科(仮称)の4学科を開設します。2020年3月に設置認可申請予定です。

農学部は2020年4月、信州大学 校方キャンパスに農業生産学科(仮称)・応用生物科学科(仮称)・食品栄養学科(仮称)・食農ビジネス学科(仮称)の4学科を開設します。2020年3月に設置認可申請予定です。

本紙・信州大学「農学部」の概要をご覧の上、
別紙・高校生アンケート調査に回答ください。

本紙・農学部は設置準備中のため、学部・学科名称、内容、学費等は変更となる場合があります。

概要資料 (2・3ページ/全4ページ ※A3二つ折)

<p style="text-align: center;">2020年4月</p> <p style="text-align: center;">農学部開設</p> <p style="text-align: center;">設置構想中</p> <p>開設場所：川崎大学 校舎キャンパス（〒253-8501 本館用成町古倉尾1414-53） 假称学部：学三（農学）</p>	<p style="text-align: center;">農業生産学科</p> <p style="text-align: center;">入学定員100人（仮称定員30人）</p> <p>農作物の生産から食料の供給までの一連の過程を、植物の生育から収穫までの生産過程を学ぶ。また、生産から消費までの流通過程を学ぶ。また、生産から消費までの流通過程を学ぶ。</p> <p>養成する人材</p> <p>農業への関心が高い、生産現場の経験が豊富で、農業の発展に貢献できる人材を養成する。また、生産現場での経験が豊富で、農業の発展に貢献できる人材を養成する。</p> <p>学科の特徴</p> <p>作物生産と生産環境について学び、新しい農業スタイルを創造する力を養う。</p> <p>作物生産における栽培の理論と実践を学び、課題解決力と実習力を養う。</p> <p>農業に対する正しい理解と熱意を有した人材を育てる。</p> <p>【取得可能な資格(国家資格のものを含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中級・高級農業士(仮称) ● 農業者研修修了証(仮称) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食料・飲料メーカー ● 農業関係企業・団体 ● 農産物の流通・販売 ● 農業関係機関 ● 公務員 ● 大学院 	<p style="text-align: center;">応用生物科学科</p> <p style="text-align: center;">入学定員100人（仮称定員30人）</p> <p>食品・飲料・化粧品などの生産・加工・流通・消費までの一連の過程を学ぶ。また、生産から消費までの流通過程を学ぶ。また、生産から消費までの流通過程を学ぶ。</p> <p>養成する人材</p> <p>食品・飲料・化粧品などの生産・加工・流通・消費までの一連の過程を学ぶ。また、生産から消費までの流通過程を学ぶ。</p> <p>学科の特徴</p> <p>食品・飲料・化粧品などの生産・加工・流通・消費までの一連の過程を学ぶ。また、生産から消費までの流通過程を学ぶ。</p> <p>【取得可能な資格(国家資格のものを含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品衛生士(仮称) ● 化粧品製造技術者(仮称) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 化粧品メーカー ● 化粧品関係企業・団体 ● 化粧品関係機関 ● 公務員 ● 大学院 	<p style="text-align: center;">食品栄養学科</p> <p style="text-align: center;">入学定員100人（仮称定員30人）</p> <p>食品の栄養成分の分析・評価・管理までの一連の過程を学ぶ。また、食品の栄養成分の分析・評価・管理までの一連の過程を学ぶ。</p> <p>養成する人材</p> <p>食品の栄養成分の分析・評価・管理までの一連の過程を学ぶ。また、食品の栄養成分の分析・評価・管理までの一連の過程を学ぶ。</p> <p>学科の特徴</p> <p>食品の栄養成分の分析・評価・管理までの一連の過程を学ぶ。また、食品の栄養成分の分析・評価・管理までの一連の過程を学ぶ。</p> <p>【取得可能な資格(国家資格のものを含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品衛生士(仮称) ● 栄養士(仮称) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 食品関係企業・団体 ● 食品関係機関 ● 公務員 ● 大学院 	<p style="text-align: center;">食農ビジネス学科</p> <p style="text-align: center;">入学定員100人（仮称定員30人）</p> <p>食農ビジネスの経営・マーケティング・コミュニケーションなどの一連の過程を学ぶ。また、食農ビジネスの経営・マーケティング・コミュニケーションなどの一連の過程を学ぶ。</p> <p>養成する人材</p> <p>食農ビジネスの経営・マーケティング・コミュニケーションなどの一連の過程を学ぶ。また、食農ビジネスの経営・マーケティング・コミュニケーションなどの一連の過程を学ぶ。</p> <p>学科の特徴</p> <p>食農ビジネスの経営・マーケティング・コミュニケーションなどの一連の過程を学ぶ。また、食農ビジネスの経営・マーケティング・コミュニケーションなどの一連の過程を学ぶ。</p> <p>【取得可能な資格(国家資格のものを含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食農ビジネス士(仮称) ● 食農マーケティング士(仮称) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食料・飲料メーカー ● 食農関係企業・団体 ● 食農関係機関 ● 公務員 ● 大学院
--	---	--	---	--

添付資料② 「アンケート実施高校一覧」

1 ページ / 全 4 ページ

番号	所在地	高校コード	高校名	設置別
1	石川県	17503A	金沢高等学校	私立
2	福井県	18501K	北陸高等学校	私立
3	三重県	24507A	三重高等学校	私立
4	滋賀県	25504B	近江兄弟社高等学校	私立
5	京都府	26112C	東宇治高等学校	公立
6	京都府	26141G	紫野高等学校	公立
7	京都府	26151D	農芸高等学校	公立
8	京都府	26502A	大谷高等学校	私立
9	京都府	26506D	花園高等学校	私立
10	京都府	26513G	京都文教高等学校	私立
11	京都府	26517K	京都橘高等学校	私立
12	京都府	26523D	ノートルダム女学院高等学校	私立
13	京都府	26525A	京都明德高等学校	私立
14	京都府	26529C	京都共栄学園高等学校	私立
15	京都府	26537D	京都廣学館高等学校	私立
16	京都府	26540D	京都翔英高等学校	私立
17	大阪府	27104H	渋谷高等学校	公立
18	大阪府	27106D	桜塚高等学校	公立
19	大阪府	27115C	春日丘高等学校	公立
20	大阪府	27136F	長尾高等学校	公立
21	大阪府	27142A	交野高等学校	公立
22	大阪府	27164A	松原高等学校	公立
23	大阪府	27168D	長野高等学校	公立
24	大阪府	27172B	登美丘高等学校	公立
25	大阪府	27189G	園芸高等学校	公立
26	大阪府	27190A	農芸高等学校	公立
27	大阪府	27206A	刀根山高等学校	公立
28	大阪府	27207J	高槻北高等学校	公立
29	大阪府	27225G	大阪市立高等学校	公立
30	大阪府	27226E	扇町総合高等学校	公立
31	大阪府	27259A	久米田高等学校	公立
32	大阪府	27270B	芥川高等学校	公立
33	大阪府	27272J	西寝屋川高等学校	公立
34	大阪府	27276A	阿武野高等学校	公立

2 ページ / 全 4 ページ

番号	所在地	高校コード	高校名	設置別
35	大阪府	27279F	守口東高等学校	公立
36	大阪府	27293A	日根野高等学校	公立
37	大阪府	27295H	門真なみはや高等学校	公立
38	大阪府	27298B	芦間高等学校	公立
39	大阪府	27303B	枚方なぎさ高等学校	公立
40	大阪府	27322J	北かわち阜が丘高等学校	公立
41	大阪府	27501J	プール学院高等学校	私立
42	大阪府	27507H	大阪学芸高等学校	私立
43	大阪府	27512D	興國高等学校	私立
44	大阪府	27517E	大阪偕星学園高等学校	私立
45	大阪府	27525F	上宮高等学校	私立
46	大阪府	27527B	大阪高等学校	私立
47	大阪府	27532J	梅花高等学校	私立
48	大阪府	27533G	大阪女学院高等学校	私立
49	大阪府	27536A	大阪信愛学院高等学校	私立
50	大阪府	27545A	羽衣学園高等学校	私立
51	大阪府	27547G	香里ヌヴェール学院高等学校	私立
52	大阪府	27548E	四條畷学園高等学校	私立
53	大阪府	27557D	関西福祉科学大学高等学校	私立
54	大阪府	27559A	箕面自由学園高等学校	私立
55	大阪府	27561B	常翔学園高等学校	私立
56	大阪府	27562A	大阪産業大学附属高等学校	私立
57	大阪府	27563J	阪南大学高等学校	私立
58	大阪府	27566C	大阪電気通信大学高等学校	私立
59	大阪府	27572H	常翔啓光学園高等学校	私立
60	大阪府	27584A	大阪国際大和田高等学校	私立
61	大阪府	27587F	東海大学付属大阪仰星高等学校	私立
62	大阪府	27593A	大阪桐蔭高等学校	私立
63	兵庫県	28113B	伊川谷高等学校	公立
64	兵庫県	28128A	尼崎西高等学校	公立
65	兵庫県	28131A	県立伊丹高等学校	公立
66	兵庫県	28133G	宝塚高等学校	公立
67	兵庫県	28166C	農業高等学校	公立
68	兵庫県	28170A	播磨農業高等学校	公立

3 ページ / 全 4 ページ

番号	所在地	高校コード	高校名	設置別
69	兵庫県	28210D	但馬農業高等学校	公立
70	兵庫県	28218K	宝塚西高等学校	公立
71	兵庫県	28247C	姫路高等学校	公立
72	兵庫県	28255D	伊丹西高等学校	公立
73	兵庫県	28259G	明石清水高等学校	公立
74	兵庫県	28289J	篠山東雲高等学校	公立
75	兵庫県	28517A	神戸野田高等学校	私立
76	兵庫県	28524C	雲雀丘学園高等学校	私立
77	兵庫県	28545F	東洋大学附属姫路高等学校	私立
78	兵庫県	28550B	滝川第二高等学校	私立
79	奈良県	29128F	五條高等学校	公立
80	奈良県	29133B	西の京高等学校	公立
81	奈良県	29136G	平城高等学校	公立
82	奈良県	29137E	香芝高等学校	公立
83	奈良県	29138C	高円高等学校	公立
84	奈良県	29143K	高取国際高等学校	公立
85	奈良県	29501K	奈良育英高等学校	私立
86	奈良県	29505B	奈良大学附属高等学校	私立
87	奈良県	29507J	関西中央高等学校	私立
88	奈良県	29513C	奈良学園高等学校	私立
89	和歌山県	30111G	和歌山北高等学校	公立
90	和歌山県	30502C	開智高等学校	私立
91	岡山県	33132F	総社高等学校	公立
92	岡山県	33145H	興陽高等学校	公立
93	岡山県	33186E	総社南高等学校	公立
94	岡山県	33502K	就実高等学校	私立
95	広島県	34114C	西条農業高等学校	公立
96	広島県	34164K	庄原実業高等学校	公立
97	徳島県	36140C	徳島北高等学校	公立
98	香川県	37118B	丸亀城西高等学校	公立
99	香川県	37131K	高松北高等学校	公立
100	香川県	37134D	高松桜井高等学校	公立
101	香川県	37504H	大手前高松高等学校	私立
102	香川県	37510B	香川誠陵高等学校	私立

3 ページ / 全 4 ページ

番号	所在地	高校コード	高校名	設置別
103	愛媛県	38129C	上浮穴高等学校	公立
104	高知県	39110H	高知農業高等学校	公立

摂南大学

「農学部（仮称）」

農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)

設置に係る人材需要の見通し調査

(設置構想についての人材需要アンケート調査)

報告書

株式会社 紀伊國屋書店

株式会社 高等教育総合研究所

目次

I 「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」に係る人材需要の見通し調査

1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 概要	3
2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果	4
3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果のポイント	15
添付資料① 「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」の「設置構想についての人材需要アンケート調査」	20

II 「農学部 食品栄養学科(仮称)」に係る人材需要の見通し調査

1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 概要	25
2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果	26
3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果のポイント	33
添付資料② 「農学部 食品栄養学科(仮称)」の「設置構想についての人材需要アンケート調査」	36

1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」概要

摂南大学が2020年度、設置構想中の「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」における人材需要の見直しを測定するために、「設置構想についての人材需要アンケート調査」(無記名式)を計2,326箇所を送付した。計558件の有効回答(アンケート調査用紙)を回収の上で集計した結果、「農業生産学科(仮称)」の養成する人材に3割強の181箇所が採用意向を示し、入学定員80名(予定)に対して採用可能人数の合計は476人であった。「応用生物科学科(仮称)」の養成する人材に約3割の152箇所が採用意向を示し、入学定員80名(予定)に対して採用可能人数の合計は364人であった。「食品栄養学科(仮称)」の養成する人材に2割強の129箇所が採用意向を示し、入学定員80名(予定)に対して採用可能人数の合計は344人であった。「食農ビジネス学科(仮称)」の養成する人材に約3割の157箇所が採用意向を示し、入学定員100名(予定)に対して採用可能人数の合計は392人であった。

調査対象 (全体)	<p>摂南大学が設置構想中の「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」の卒業生採用が想定される以下の業種の事業所・計2,326箇所をアンケートの対象とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業 (2,059箇所) ※製造業(食品、飲料、飼料、製薬など)、卸売業、小売業、飲食サービス業、運輸・倉庫業、建設業、金融業、農林水産業など、人材需要が見込まれる業種の企業 ※主たる事業所が大阪府内をはじめとする近畿二府四県、又は主たる事業所が首都圏で大阪府に支店等を置く企業 ● 地方自治体 (204箇所) ※近畿二府四県の府県庁・市庁・町村役場 ● 農業協同組合 (63箇所) ※近畿二府四県の農業協同組合(JA)拠点事業所(支店は除く)
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答事業所の基本情報(業種、主たる事業所の所在地、職員・従業員規模) ● 「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」について、それぞれの養成人材・特色への評価、養成人材の採用意向 ● 「食品栄養学科(仮称)」に関連し、管理栄養士の勤務状況および今後5年間の採用計画
調査時期	2018年11～12月
調査方法	調査対象とした事業所の人事・採用担当者宛に、人材需要アンケート調査用紙(1部)を郵送。協力可能な場合、回答済のアンケートを所定の返信用封筒に同封の上、返送して頂いた。
回収件数	有効回答数558件(回収率24.0%)

→ 配布した「設置構想についての人材需要アンケート調査」用紙は20ページ【添付資料①】参照。

2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴事業所の主業種をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 農業	6	1.1%
2. 建設業	154	27.6%
3. 製造業(食料品)	35	6.3%
4. 製造業(飲料・飼料)	4	0.7%
5. 製造業(医薬品)	10	1.8%
6. 製造業(食料品、飲料・飼料、医薬品以外)	18	3.2%
7. 運輸・倉庫業	37	6.6%
8. 金融業	29	5.2%
9. 卸売業	47	8.4%
10. 小売業	56	10.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	39	7.0%
12. その他	116	20.8%
(無回答)	7	1.3%
合計	558	100.0%

問2 貴事業所の所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 北海道	3	0.5%
2. 青森県	3	0.5%
3. 岩手県	0	0.0%
4. 宮城県	0	0.0%
5. 秋田県	1	0.2%
6. 山形県	2	0.4%
7. 福島県	3	0.5%
8. 茨城県	2	0.4%
9. 栃木県	1	0.2%
10. 群馬県	1	0.2%
11. 埼玉県	8	1.4%
12. 千葉県	2	0.4%
13. 東京都	125	22.4%
14. 神奈川県	8	1.4%
15. 新潟県	8	1.4%
16. 富山県	3	0.5%
17. 石川県	6	1.1%
18. 福井県	4	0.7%
19. 山梨県	0	0.0%
20. 長野県	4	0.7%
21. 岐阜県	4	0.7%
22. 静岡県	5	0.9%
23. 愛知県	21	3.8%
24. 三重県	5	0.9%
25. 滋賀県	14	2.5%

選択項目	回答数	構成比
26. 京都府	31	5.6%
27. 大阪府	137	24.6%
28. 兵庫県	52	9.3%
29. 奈良県	14	2.5%
30. 和歌山県	23	4.1%
31. 鳥取県	0	0.0%
32. 島根県	1	0.2%
33. 岡山県	5	0.9%
34. 広島県	12	2.2%
35. 山口県	0	0.0%
36. 徳島県	2	0.4%
37. 香川県	7	1.3%
38. 愛媛県	3	0.5%
39. 高知県	1	0.2%
40. 福岡県	6	1.1%
41. 佐賀県	0	0.0%
42. 長崎県	1	0.2%
43. 熊本県	2	0.4%
44. 大分県	0	0.0%
45. 宮崎県	1	0.2%
46. 鹿児島県	1	0.2%
47. 沖縄県	2	0.4%
(無回答)	24	4.3%
合計	558	100.0%

問3 貴事業所の従業員、あるいは職員数の規模をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. ～99人	59	10.6%
2. 100～499人	155	27.8%
3. 500～999人	139	24.9%
4. 1,000～2,999人	133	23.8%
5. 3,000～9,999人	51	9.1%
6. 10,000人～	20	3.6%
(無回答)	1	0.2%
合計	558	100.0%

問4～7は摂南大学「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」の概要を見た上での回答を求めた。

「農業生産学科(仮称)」について

問4 摂南大学「農学部 農業生産学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 大変評価する	213	38.2%
2. ある程度評価する	225	40.3%
3. あまり評価しない	10	1.8%
4. 全く評価しない	0	0.0%
5. わからない	106	19.0%
(無回答)	4	0.7%
合計	558	100.0%

問5 摂南大学「農学部 農業生産学科(仮称)」が養成する人材を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	181	32.4%
2. 採用しない	60	10.8%
3. わからない	314	56.3%
(無回答)	3	0.5%
合計	558	100.0%

(問5で、「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。

提示人数	回答数	人数合計
1人	39	39
2人	28	56
3人	16	48
4人	2	8
5人	19	95
10人以上	23	230
(無回答)	54	-
合計	181	476

※ 提示人数が10人を超える場合は10人として計算した。

「応用生物科学科(仮称)」について

問6 摂南大学「農学部 応用生物科学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。
(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 大変評価する	177	31.7%
2. ある程度評価する	258	46.2%
3. あまり評価しない	10	1.8%
4. 全く評価しない	1	0.2%
5. わからない	107	19.2%
(無回答)	5	0.9%
合計	558	100.0%

問7 摂南大学「農学部 応用生物科学科(仮称)」が養成する人材を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	152	27.2%
2. 採用しない	69	12.4%
3. わからない	331	59.3%
(無回答)	6	1.1%
合計	558	100.0%

(問7) で「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。

提示人数	回答数	人数合計
1人	30	30
2人	21	42
3人	11	33
4人	1	4
5人	17	85
10人以上	17	170
(無回答)	55	-
合計	152	364

※ 提示人数が10人を超える場合は10人として計算した。

「食品栄養学科(仮称) [管理栄養士養成課程]」について

問8 貴事業所において勤務される管理栄養士の人数をお答えください。
(管理栄養士が勤務される場合のみ人数を記入)

回答人数	回答数	人数合計
1	20	20
2	26	52
3	22	66
4	7	28
5	6	30
6	7	42
7	2	14
8	5	40
9	3	27
10	7	70
11	1	11
13	2	26
16	1	16
17	1	17
19	1	19
24	1	24
33	1	33
35	1	35
40	1	40
50	1	50
107	1	107
142	1	142
253	1	253
260	1	260
348	1	348
500	1	500
900	1	900
合計	123	3,170

(問8)の内、常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	30	30
2	19	38
3	19	57
4	5	20
5	5	25
6	5	30
7	3	21
8	6	48
9	3	27
10	6	60
13	1	13
16	1	16
33	1	33
35	1	35
40	1	40
45	1	45
107	1	107
135	1	135
348	1	348
合計	110	1,128

非常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	13	13
2	7	14
3	6	18
4	3	12
5	2	10
10	1	10
15	3	45
118	1	118
合計	36	240

問9 貴事業所において今後5年間で、管理栄養士の採用を検討されていますか。
 (あてはまるもの一つにチェックの上、「検討している」場合は理由を記入)

選択項目	回答数	構成比
1. 検討している	92	16.5%
2. 検討していない	455	81.5%
(無回答)	11	2.0%
合計	558	100.0%

「検討している」とされた場合、理由として最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします。

選択項目	回答数	構成比
1. 定期採用	36	6.5%
2. 欠員補充	29	5.2%
3. その他	25	4.5%
(無回答)	2	0.4%
合計	92	16.5%

問10 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。
(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 大変評価する	189	33.9%
2. ある程度評価する	237	42.5%
3. あまり評価しない	11	2.0%
4. 全く評価しない	1	0.2%
5. わからない	116	20.8%
(無回答)	4	0.7%
合計	558	100.0%

問11 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」が養成する人材(管理栄養士)を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	129	23.1%
2. 採用しない	103	18.5%
3. わからない	319	57.2%
(無回答)	7	1.3%
合計	558	100.0%

(問11で、)「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。

提示人数	回答数	人数合計
1人	22	22
2人	21	42
3人	5	15
4人	0	0
5人	13	65
10人以上	20	200
(無回答)	48	-
合計	129	344

※ 提示人数が10人を超える場合は10人として計算した。

「食農ビジネス学科(仮称)」について

問12 摂南大学「農学部 食農ビジネス学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。
(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 大変評価する	194	34.8%
2. ある程度評価する	244	43.7%
3. あまり評価しない	10	1.8%
4. 全く評価しない	1	0.2%
5. わからない	105	18.8%
(無回答)	4	0.7%
合計	558	100.0%

問13 摂南大学「農学部 食農ビジネス学科(仮称)」が養成する人材を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	157	28.1%
2. 採用しない	76	13.6%
3. わからない	321	57.5%
(無回答)	4	0.7%
合計	558	100.0%

(問13で、)「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。

提示人数	回答数	人数合計
1人	32	32
2人	24	48
3人	8	24
4人	2	8
5人	14	70
10人以上	21	210
(無回答)	56	-
合計	157	392

※ 提示人数が10人を超える場合は10人として計算した。

問14 摂南大学「農学部」または設置予定の各学科について期待される点、要望がございましたら、ご自由に記入ください。特定学科に関するコメントの場合、最初に「●●学科について」と記入ください。

※ 90箇所から回答を得た。以下、回答内容を掲載(原文通り)。順不同。【】内は【業種/所在地/従業員規模】を示す。

1.	グローバルで食と農に関する知識を持った優秀な人材を社会に送り出していただきましたら幸いです。【卸売業/愛知県/1,000~2,999人】
2.	学部学科不問での採用のため、農学部修了による特別な評価は致しませんが、様々な分野・知識を持った人材を採用したいと考えております。【運輸・倉庫業/愛知県/3,000~9,999人】
3.	弊社では、残念ながら「管理栄養士」の方が、その資格を専門的に活かせるような環境はございませんが、各学科において学んだ内容は、お客様への商品提案はもちろん、商品開発や品質保証など、あらゆる場面で活かしていただけると存じます。今後とも、よろしくお願いいたします。【小売業/大阪府/10,000人~】
4.	当社へは、多種多様な人材を採用していますので、新しい学部の方でも応募頂きたいです。ただ専門職に就職したい方と、当社の求める人材とマッチするかわかりかねますので、面接等で話し合えればと思います。よろしくお願いいたします。【宿泊業、飲食サービス業/東京都/1,000~2,999人】
5.	理工学部(住環境デザイン学科・建築学科・都市環境工学科)について就職活動が年々早くなっていることから企業側と学生側、お互いを知る機会を多く作って頂ければ幸いです。【建設業/大阪府/100~499人】
6.	食農ビジネス学科について弊社の食品企画・開発といった部門で活躍出来る可能性があります。北海道へのU・Iターン希望者がいましたら、ぜひお願い致します。【製造業(食料品)/北海道/1,000~2,999人】
7.	農学部という人の生活に結び付きの強いテーマで勉強をしていく事で幅広い知識を身に付け、人に喜びや安心を届けるという能力が育まれると思いますので、期待をしています。【建設業/東京都/1,000~2,999人】
8.	農業・食品に関する問題への取り組みは大事なことでと思います。弊社は建設業のため現在は学んだ知識を生かすことがないかもしれませんが、問題解決に取り組める能力は必ず役立てていただけると思います。【建設業/東京都/100~499人】
9.	基本的には機電情系を採用しておりますがもし建設業にご興味のある方がいらっしゃれば大歓迎します。【建設業/東京都/500~999人】
10.	弊社の東京・浜松の両本社にお送り頂きましたが、採用を担当しているのは全て浜松本社であるため、1つでのご回答とさせていただきます。ご了承下さい。【建設業/静岡県/3,000~9,999人】

11.	基本的に弊社採用において、学部や学科へのこだわりはありません。学生の皆様ご自身が習得した知識を十分に活かせるかどうかを見極めた上で、仮に知識を活かす機会がなくても、納得して弊社での就業を希望してもらえれば歓迎します。 【運輸・倉庫業/大阪府/～99人】
12.	食品栄養学科について農学・薬学・看護学と幅広い視野を持った方が出てくるのは大変素晴らしい事と思います。【小売業/茨城県/3,000～9,999人】
13.	安心安全で高品質な開発に貢献する卒業生に期待します。(5年後の・・・)【宿泊業、飲食サービス業/京都府/500～999人】
14.	今後はより”安全””安心”に重点が置かれるであろう食品や医療分野に注力される事は大変良いと思っている。【建設業/広島県/500～999人】
15.	わからないが多くてすみません【その他/和歌山県/100～499人】
16.	今後の日本に為に、頑張ってもらいたいと思います。【建設業/東京都/500～999人】
17.	管理栄養士養成課程について 「管理栄養士」の採用はありませんが、その知識を生かして仕事をして頂けると幸いです。【製造業(食料品)/愛知県/1,000～2,999人】
18.	学部・学科問わず、学生様を見て、優秀な学生様を採用していきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひします。【卸売業/東京都/1,000～2,999人】
19.	小売業にも興味を持っていただけたらと思います。【小売業/秋田県/3,000～9,999人】
20.	農業生産学科について 環境などに関し、建設業と関連性が多くあります。建設業への志望を期待します。【建設業/北海道/500～999人】
21.	農業生産学科について 農業土木系の学生育成を期待しています。また国家資格である土木施工管理技士の指定学科との位置付けであれば是非とも技術系総合職としての学生採用を検討させていただきたい。【建設業/東京都/500～999人】
22.	残念ながら業種が違いますので採用は「農学部」については対象外ですが「外国語学部」を始めとする国際輸送に関連する学生の方の採用は前向きに検討いたしますので、採用に関するご案内は引き続きいただきたくお願い致します。【運輸・倉庫業/東京都/100～499人】
23.	・弊社は建設業ですので残念ながら求める人材と合致しません ・貴大学の工学部の学生については非常に優秀であり、今後も採用していきたいと思ひます。【建設業/愛知県/～99人】
24.	農業が海に与える影響についても触れていただきたい。【製造業(食料品)/愛知県/500～999人】
25.	全学科 実学を重視されるとともに、社会人としての基本を身に付けることを期待したいと思ひます。【無回答/奈良県/1,000～2,999人】
26.	参考となる回答でなく、申し訳ありません。【建設業/大阪府/100～499人】
27.	農作物の栽培実践や農薬等に関する深い知識を習得され、企業で活躍されることを期待しています。【その他/大阪府/100～499人】
28.	弊社は総合職採用をしております。専門的な知識がなければできない仕事ではないため、学部や学科、免許や資格などに拘らず、優秀な人物にご入社いただきたいと考えております。また、食品製造業のため、管理栄養士免許が必要な業務はございませんが、管理栄養士免許を持っている社員は複数名在籍しております。【製造業(食料品)/大阪府/3,000～9,999人】
29.	当社業種が「建設業」のため「農学部」で学んだことが生かされないように思ひます。ご本人の強い要望などがあれば別ですが、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。【建設業/新潟県/500～999人】
30.	農業生産学科について、インターンの期間を十分にとってほしい。現場と学生との誤解が就職までになくなるといい。【農業/宮崎県/～99人】
31.	弊社グループ内に農業法人があるため、専門的な知識を持った学生と接点を持ちたいです。【卸売業/鹿児島県/1,000～2,999人】
32.	いつもお世話になっております。今後ともよろしくお願ひいたします。【小売業/広島県/1,000～2,999人】
33.	全ての学科につきまして、当社業務を志望いただければ採用(選考)させていただきます。【金融業/東京都/10,000人～】
34.	造園業に活かせる知識を身につけることができる学科とされることを期待します。【建設業/大阪府/100～499人】

35.	学部設立自体を評価しないということではなく弊社の業務に関して考えた際には、マッチする人材の確保は難しいということです。農業生産学科において、農業土木系の専門性を有する場合は採用に結びつく可能性はあります。【その他/愛知県/100～499人】
36.	・人数記入欄にはあえて実数は記入しませんが、良い学生さんがいらっしゃれば人数に制限はございません。【卸売業/東京都/500～999人】
37.	総合建設業（土木・建築・線路）で線路部門は学部・学科を指定していないので採用する可能性はあります。「農業生産学科」について 卒業後の進路イメージに建設業が含まれているが、養成する人材や学科の特色を見ても土木の能力（農業土木等）に関する記述が少なく、農業生産に特化されている印象を受けました。土木技術（農業土木）に関する学科の特色がもっと強くあれば、是非採用を検討したいと思います。【建設業/広島県/500～999人】
38.	「運輸業」という業種ですので新しい学部とのつながりが多く考えられませんでした。申し訳ございません。【運輸・倉庫業/大阪府/500～999人】
39.	農業土木学科を作ってほしい！【建設業/和歌山県/～99人】
40.	農学部設置については、これから農業、農地の減少が加速すると考えられる中で、農業について知る、学ぶ学生が増える点で大変良いことだと考えております。農学部で学んだ知識を生かせるような職種ではありませんが当組合を希望してくれる学生がいれば積極的に採用を考えていきたいと思っております。【その他/大阪府/100～499人】
41.	研究が進む中での自らの問題発見力・解決力・挑戦心の育まれるようなカリキュラムとなっていればと思います。私どもは学部・学科を不問とした採用を行っておりますので、上記の学生がいらっしゃれば幸いです。貴校の益々のご発展をお祈りしております。【製造業(食料品)/広島県/100～499人】
42.	食品メーカーとして貴校農学部で学ばれた方々がご活躍頂くことを期待しております。【製造業(食料品)/愛知県/1,000～2,999人】
43.	弊社は、特に学部をみて採用を判断していないため、何を学んだかではなく、学ぶ姿勢やエネルギー、そこから何を心得成長したのかを大切にしています。ただいずれの学科も食に係わることを学ばれるので、研究職だけでなく、販売や飲食業というお仕事にも結びつく内容を学んで頂きたいと思っております。【製造業(食料品)/京都府/500～999人】
44.	不足している農業分野の人材を育てていく事は大切なことです。AIやドローンなどの応用も図って、今とは違う新しい農業をすすめていく若い力に期待します。【建設業/東京都/100～499人】
45.	弊社建設業の類ですので、あまり期待に添える回答にならず申し訳ありません。宜しく願いいたします。【建設業/大阪府/100～499人】
46.	総合大学として、学校全体が成長していく姿を想像し楽しみにしています。採用については分野が違いますが、応募があれば採用したいと思います。【建設業/大阪府/～99人】
47.	【全学科について】 当社は生鮮三品を取り扱っている地域密着型ドラッグストアで、利便性・専門生に特化しています。貴学の人材育成に期待致します。 【食品栄養学科について】 当社はドラッグストアと調剤薬局が併設しており、お客様だけでなく患者様とも接する機会が多く、管理栄養士の専門知識を發揮できるフィールドがございます。 貴学の人材育成に大いに期待致します。【小売業/石川県/1,000～2,999人】
48.	農業生産学科については農業土木も学ばせるとありますが資格取得（例えば土木施工管理技士 他建設業向け）が可能なカリキュラムにして頂けるとありがたいです。【建設業/愛媛県/100～499人】
49.	弊社は化学メーカーに分類される企業ですので、基礎と応用力を養える学部であることを期待しております。そのうえで専門的視点から企業活動を推進してくれることを望みます。【製造業(食料品、飲料・飼料、医薬品以外)/兵庫県/500～999人】
50.	農業生産学科（仮称）について 当方には営農指導員という職種があり、養成する人材像のような学生を求めているため、大変期待しておりますし、積極的に採用したい。【その他/和歌山県/500～999人】
51.	販売職の為、学部学科を問わず採用活動をしております。 どうぞ宜しくお願いいたします。【小売業/大阪府/1,000～2,999人】
52.	弊社の武蔵野フーズには「健康宅配事業部」という事業があり、中でも開発（メニューや献立）の部署に関しては、栄養士もしくは管理栄養士の資格保持者のみの採用になっております。資格保持者の方には、活躍して頂けると自負しております。【製造業(食料品)/無回答/10,000人～】
53.	我が国の食料自給率の改善【製造業(医薬品)/兵庫県/3,000～9,999人】
54.	幅広い視野を持ち柔軟な発想ができる方を輩出していただきたいです。【宿泊業、飲食サービス業/大阪府/500～999人】

55.	短命県と呼ばれる青森県に本部を置く食品スーパーマーケットを経営している為、管理栄養士の資格を持っている方や、食品・農学に興味がある方、専門的に学ばれた方は、自分の学んだことを活かして働けると思います。また、食の安全について学ぶ機会は多くても、持続的な供給・流通を主にして学ぶ場は少ないと感じますので、とても有意義な学習ができる大学だと感じます。【小売業/青森県/3,000～9,999人】
56.	よくわかりません。【建設業/京都府/～99人】
57.	弊社のデリカ（お惣菜）部門の即戦力として「食品栄養学科」 野菜（農産）部門の即戦力として「農業生産学科」・「食品ビジネス」に大変期待しております。【小売業/香川県/10,000人～】
58.	農業に従事する人数が減少している中で、農学部を設置して、農業に関係する人材を育成することは、たいへんに意義のあることだと思います。弊社は建設会社で採用の予定はありませんが、期待しております。【建設業/東京都/500～999人】
59.	関西を含めて農学部を持つ大学が多くないので（最近龍谷大学がありますが）食品メーカーは期待されると思います。企業との接点を強くしたカリキュラムを希望する。【製造業(食料品)/大阪府/100～499人】
60.	農業生産学科について 土木を学び社会基盤を支えたい人材を育成してほしい。【建設業/東京都/1,000～2,999人】
61.	農学部で学ぶことは小売りでも活かせる内容ですので、何かご縁がありましたら活躍いただける人材に育つと思います。【小売業/東京都/3,000～9,999人】
62.	業種が異なるため採用に関しては未定な部分が多いです。今後必要とされる事業内容だと感じたので大いに期待しております。【建設業/東京都/1,000～2,999人】
63.	日本国内の農業の効率化により、諸外国とのギャップを埋めることに大きく寄与する人材の輩出を期待します。【建設業/長野県/500～999人】
64.	今後の未来を支える健康・食・栄養に関する専門職業の養成に期待しております。【建設業/東京都/1,000～2,999人】
65.	農業分野の人材不足解消に多大に貢献すると思います。【建設業/三重県/～99人】
66.	農業の発展は国にとって非常に重要な課題であり、よい取組みをされておられると感じます。【金融業/大阪府/100～499人】
67.	全学部・全学科に共通する事なのですが、無断で説明会・面接を欠席する学生が増えています。 勉強も大事ですが、マナーを伝えていただけると助かります。【建設業/京都府/～99人】
68.	農業に興味をもち、積極的に行動できる人材を育成してください。【金融業/和歌山県/100～499人】
69.	1次産業が縮小する中、将来を担う人材を育てようとする方針は素晴らしいと思います。当社は建設業の為、現状ではまさに畑違いですが、最近の多角経営や技術の融合により、接点ができるかもしれないと考えます。選択肢は多い程良いと思います。【建設業/和歌山県/～99人】
70.	当社業務と関連性がないため、採用予定はございませんが、学部の設置については期待致します。【建設業/東京都/100～499人】
71.	当社は建設業として技術者を主に募集しておりますためアンケートについては参考になるような回答ができずすみません。【建設業/愛知県/3,000～9,999人】
72.	当社地元密着型の食品スーパー。兵庫県内、60店舗。専門性にある人材は募集、採用したい。農学部出身の学生は採用するが（現在採用している）、専門（性）活かせる組織作りに取り組んでおります。薬学部、農学部は工業系同様、御大学の魅力は感じております。【小売業/兵庫県/1,000～2,999人】
73.	6次産業の観点からすると、生産とビジネスは一体的に捉えるのが趨勢だと感じている。農業生産学科と食農ビジネス学科とに分ける必要があるのか。応用生物科学科は名前を聞いただけでは何を主に学べるのかピンとこない、端的に「農業科学科」的な表現のほうがわかりやすい。【その他/兵庫県/500～999人】
74.	建設業で施工管理に特化しており、素晴らしい学部かと存じますが、弊社での採用は今のところございません。【建設業/東京都/1,000～2,999人】
75.	当社は建設業のため直接関係はないですが、興味をもって頂いた方は採用する場合があります。【建設業/大阪府/100～499人】
76.	弊社は建築系の業種のため貴大学の農学部生を積極的に採用することはありませんが、近畿圏において農学部が増えることはとても良いと思います。【その他/大阪府/～99人】
77.	TPP 関連や食の安全が問われているなかで、農業（農学）が果たす役割は大きいと思います。卒業生としても期待しています。【宿泊業、飲食サービス業/大阪府/100～499人】
78.	農学系では、畜産関連の学部が少ない。作物生産を学ぶ学科は多いように感じるため、当社としては必要性をあまり感じません。【農業/神奈川県/500～999人】

79.	今までになかった農学部ということで土木系の学生が増え、ターゲットとなる学生にアプローチしたい。【建設業/東京都/3,000～9,999人】
80.	時代の変化やニーズを捉えた貴校の新学科新設に大変感銘を受けました。弊社につきましては、近年農業事業及び生産事業に一層力を入れておりますので、採用実績ございます、貴校からより一層採用させていただきたく存じます。学内企業説明会に参加させていただけますと幸いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。【製造業(食料品)/東京都/1,000～2,999人】
81.	当社では、食品スーパーマーケットに従事するものとして、食品に関する知識、関心を持った人材を歓迎しています。入社後に教育プログラムを組んでいるため、特に在学中に修得してほしい資格、スキル等はありませんが、流通に関する理解をもつていただけると幸いです。特に農業生産学科については、地域生産者との交流、食農ビジネス学科についてはビジネスの観点からの食について理解を深めていただけると幸いです。【小売業/静岡県/1,000～2,999人】
82.	食農ビジネス学科について、地方の観光をさらに盛んにするためにも、日本の魅力的な食文化を、広く世界に発信することは、今後の観光業に寄与すると思ひます。【宿泊業、飲食サービス業/大阪府/1,000～2,999人】
83.	地域の管理栄養士として良い人材ならば採用したい【その他/京都府/500～999人】
84.	宜しくお願ひ致します。【卸売業/東京都/1,000～2,999人】
85.	農業の担い手が近年少なくなっている中で、若者に対し、食農の観点で幅広く育成していくことは、今後の人材育成においては良いことであると思ひます。【その他/奈良県/100～499人】
86.	新学部、新学科に非常に興味を持っております。貴学の生徒の皆様がもし弊社に興味がありましたら、お声かけいただけると幸いです。【宿泊業、飲食サービス業/東京都/1,000～2,999人】
87.	時代のニーズに応えた非常にすばらしい取り組みだと思ひます。【建設業/大阪府/500～999人】
88.	「農業生産学科について」従来の露地栽培で野菜を育てるのか空調設備の整ったところで水や肥料などを自動で行うハウス栽培を両方、もしくはどちらかで農作物の栽培をされるのか疑問である。また、野菜を栽培するにあたって農作地は大阪府内(枚方市)で行うのか枚方市に隣接する京都府なのか「応用生物学科について」種子法が変わるかもしれないことや、海外で品種改良された種が世の中に出回っている今、野菜の元となる種を研究し、人体や生態系に影響のない安全な種の育成、改良などの研究に期待したい。また、農業も人体や生態系に大きく影響しているため、野菜や土壌の研究で、無農薬で野菜が栽培できる研究を期待する。「農学部について」最後に私は2018年に摂南大学を卒業し、大阪府八尾市で専業農家である父の跡を継ぎ、日々野菜作りに頑張っています。もしご縁があれば摂南大学農学部の方たちと、ともに学び研究のお手伝いをできればなと思ひます。【農業/大阪府/～99人】
89.	将来の食料供給に不安がある日本において、貴大学の農学部開設に期待がもてるものと感じております。【その他/大阪府/100～499人】
90.	食に対して一つの学部で「生産者」「管理者」「セールス」の人材を育成することは素晴らしいと思ひます。学生が「農」と「食」について、スポット的でなく、多角的に学べる場になることを期待しています。【製造業(食料品、飲料・飼料、医薬品以外)/大阪府/100～499人】

3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Point 1 大阪府をはじめ、全国の農・食に関連する幅広い業種、さまざまな規模の企業・地方自治体など合計 558 箇所がアンケートに回答。

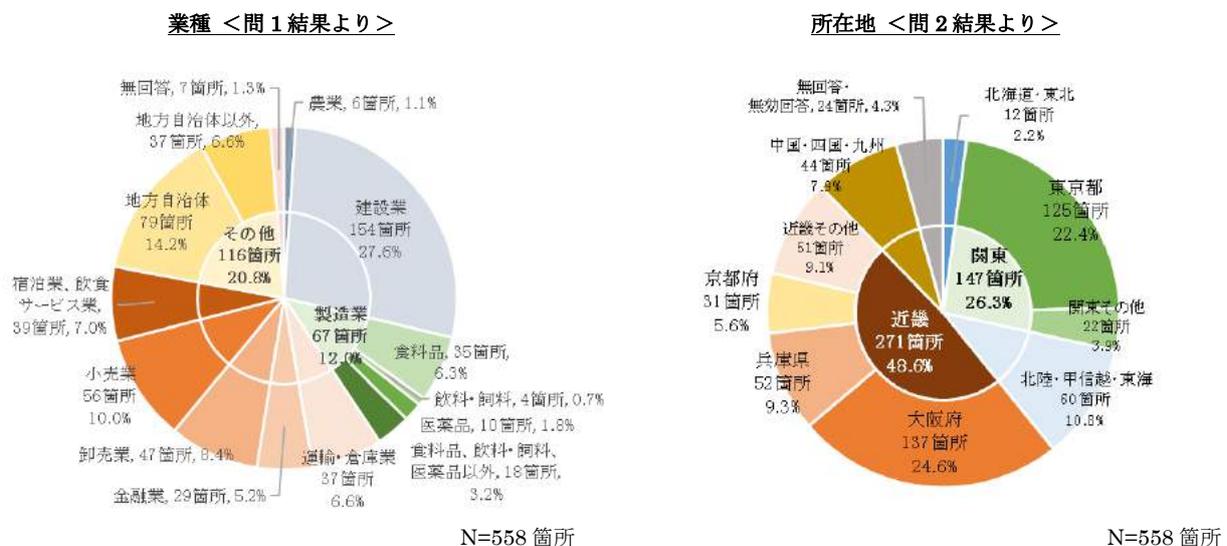
摂南大学が 2020 年度、設置予定の「農学部（仮称）」に係る「設置構想についての人材需要アンケート調査」において、企業等から返送を得た有効回答 558 件の集計を行った。その結果、業種別でみた場合、最も回答数が多かったのは「建設業」で 154 箇所（全体の 27.6%）であった。以下、上位 3 業種までは「地方自治体（「その他」回答の記述欄に「地方公務」等の回答があったものについて集計）」79 箇所（同 14.2%）、「製造業（食料品/飲料・飼料/医薬品/左記以外の合計）」67 箇所（同 12.0%）であった。他、「小売業」56 箇所（同 10.0%）、「卸売業」47 箇所（同 8.4%）、「宿泊業、飲食サービス業」39 箇所（同 7.0%）、「農業」6 箇所（同 1.1%）などであった。

所在地（本社・主たる事業所等）については、最も回答が多かったのは「大阪府」で 137 箇所（同 24.6%）であった。大阪府の周辺府県（兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県）を加えると、計 271 箇所（同 48.6%）で近畿地方を拠点とする企業等が中心であった一方で、「関東地方」が 147 箇所（同 26.3%）、「北陸・甲信越・東海地方」が計 60 箇所（同 10.8%）、「中国・四国・九州」が計 44 箇所（同 7.9%）、「北海道・東北地方」が計 12 箇所（同 2.2%）であった。

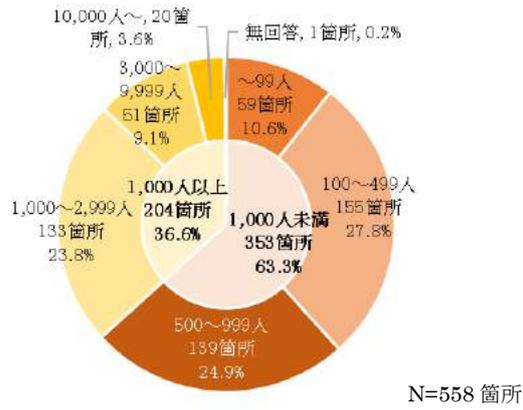
従業員、職員規模については「100～499人」が 155 箇所（同 27.8%）で最も多く、「～99人」59 箇所（同 10.6%）、「500～999人」139 箇所（同 24.9%）とあわせると、1,000人未満の企業等が計 353 箇所（同 63.3%）であった。一方で、「1,000～2,999人」が 133 箇所（同 23.8%）、「3,000～9,999人」が 51 箇所（同 9.1%）、「10,000人～」が 20 箇所（同 3.6%）あり、1,000人以上の企業が計 204 箇所（同 36.6%）あった。

このように、摂南大学がある大阪府をはじめ、全国の農・食に関連する幅広い業種、さまざまな規模の企業等から回答を得ることができた。

【グラフ】回答元について



従業員・職員規模 <問3結果より>

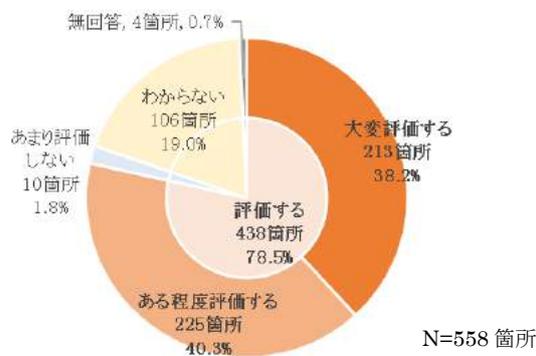


Point
2

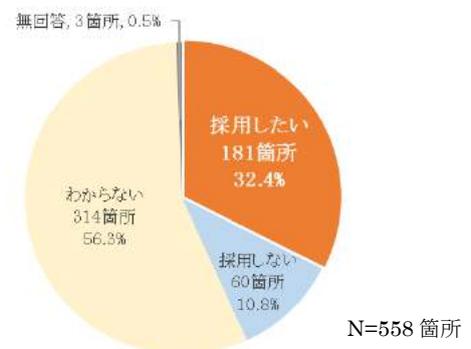
「農学部 農業生産学科 (仮称)」の概要を示し、卒業する人材の評価および採用意向について回答を求めた。その結果、「農業生産学科 (仮称)」を卒業する人材の評価については「大変評価する」213 箇所 (全体の 38.2%)、「ある程度評価する」225 箇所 (同 40.3%) であった。合計すると、全体の約 8 割の 438 箇所 (同 78.5%) が卒業する人材の評価を認める結果となった。「農業生産学科 (仮称)」を卒業する人材の採用意向については、3 割強の 181 箇所 (同 32.4%) が「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は、入学定員 80 名を大きく上回る 476 人であった。

【グラフ】 摂南大学「農学部 農業生産学科 (仮称)」の評価・養成する人材の採用意向について

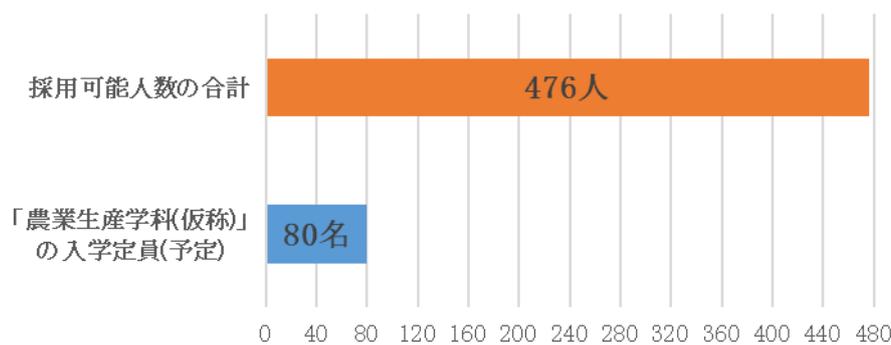
「農業生産学科 (仮称)」評価 <問4結果より>



卒業生の採用意向 <問5結果より>



卒業生の採用可能人数 <問5結果より>



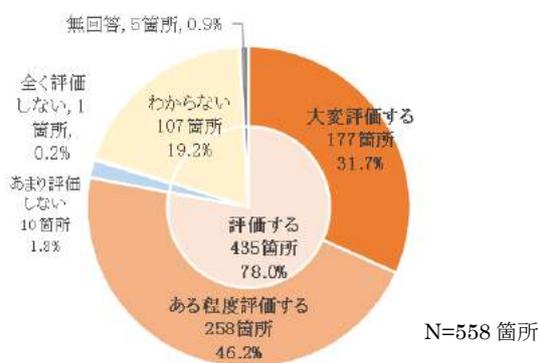
N=181 箇所 ※問5で採用意向を示した回答元

Point 3 「応用生物科学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色について約8割が評価。
また、約3割の152箇所が採用意向を示し、採用可能人数の合計は364人。

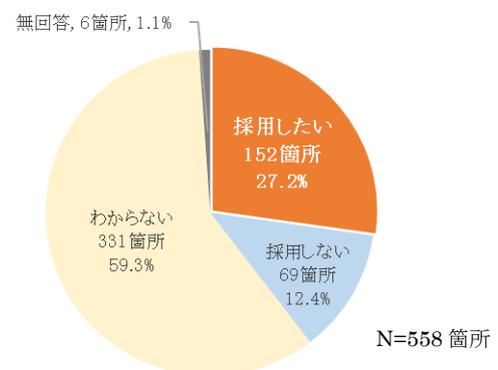
「農学部 応用生物科学科(仮称)」の概要を示し、卒業する人材の評価および採用意向について回答を求めた。その結果、「応用生物科学科(仮称)」を卒業する人材の評価については「大変評価する」177箇所(全体の31.7%)、「ある程度評価する」258箇所(同46.2%)であった。合計すると、全体の約8割の435箇所(同78.0%)が卒業する人材の評価を認める結果となった。「応用生物科学科(仮称)」を卒業する人材の採用意向については、約3割の152箇所(同27.2%)が「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は、入学定員80名を大きく上回る364人であった。

【グラフ】 摂南大学「農学部 応用生物科学科(仮称)」の評価・養成する人材の採用意向について

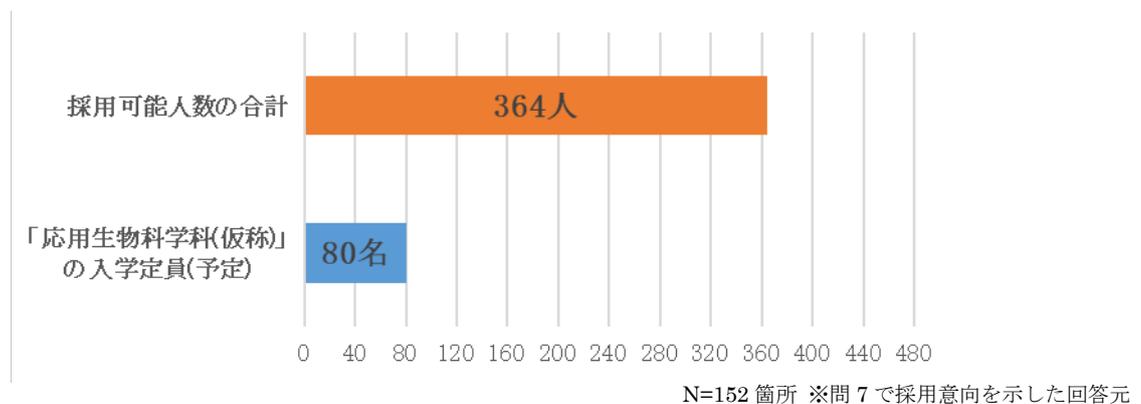
「応用生物科学科(仮称)」評価 <問6結果より>



卒業生の採用意向 <問7結果より>



卒業生の採用可能人数 <問7結果より>



Point 4 「食品栄養学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色について8割近くが評価。
また、2割強の129箇所が採用意向を示し、採用可能人数の合計は344人。

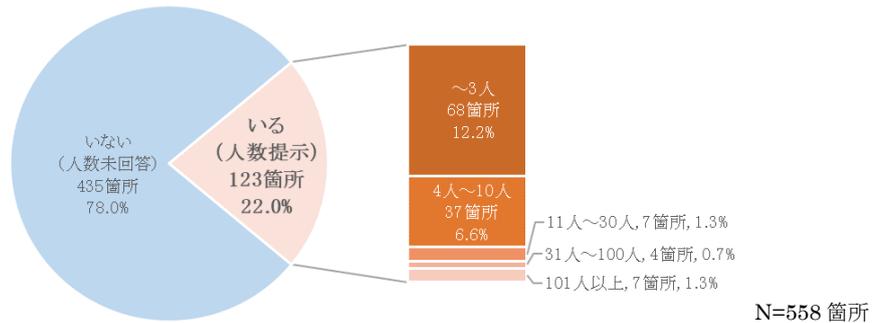
「農学部 食品栄養学科(仮称)」が管理栄養士養成課程であることに関連し、管理栄養士の勤務人数について回答を求めたところ、123箇所(同22.0%)が1名以上の管理栄養士が勤務していると回答した。合計すると123箇所で3170人(1箇所平均25.8人)の勤務が確認された。また、今後5年間での管理栄養士の採用予定については、92箇所(同16.5%)が「検討している」と回答した。「検討している」と回答した企業等の採用検討理由は、「定期採用」が最も多く36箇所(同6.5%)、続いて「欠員補充」29箇所(同5.2%)であった。

その上で、「農学部 食品栄養学科(仮称)」の概要を示し、卒業する人材の評価および採用意向につい

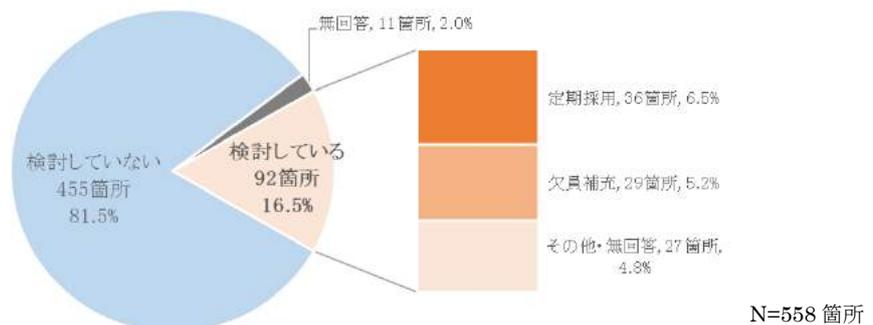
て回答を求めた。その結果、「食品栄養学科（仮称）」を卒業する人材の評価については「大変評価する」189箇所（全体の33.9%）、「ある程度評価する」237箇所（同42.5%）であった。合計すると、全体の8割近い426箇所（同76.3%）が卒業する人材の評価を認める結果となった。「食品栄養学科（仮称）」を卒業する人材の採用意向については、2割強の129箇所（同23.1%）が「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は、入学定員80名を大きく上回る344人であった。

【グラフ】管理栄養士の勤務状況および今後5年の採用検討状況

管理栄養士の勤務状況 <問8結果より>

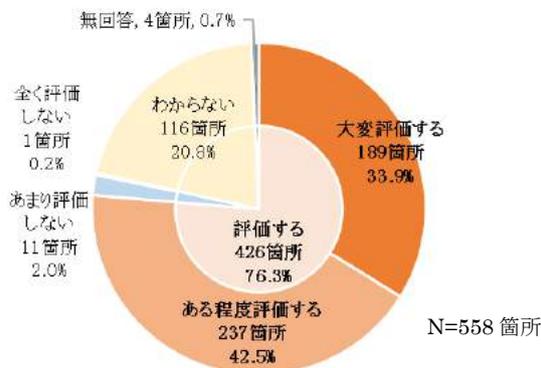


管理栄養士の今後5年の採用検討状況 <問9結果より>

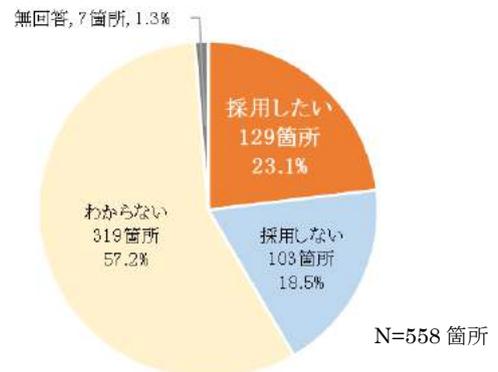


【グラフ】摂南大学「農学部 食品栄養学科（仮称）」の評価・養成する人材の採用意向について

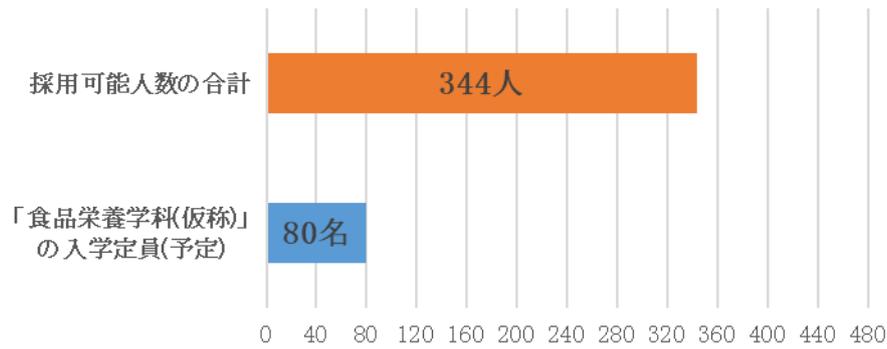
「食品栄養学科（仮称）」評価 <問10結果より>



卒業生の採用意向 <問11結果より>



卒業生の採用可能人数 <問 11 結果より>



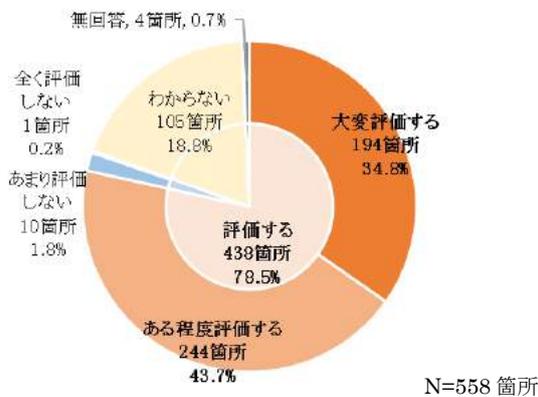
N=129 箇所 ※問 11 で採用意向を示した回答元

Point 5 「食農ビジネス学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色について約8割が評価。また、約3割の 157 箇所が採用意向を示し、採用可能人数の合計は 392 人。

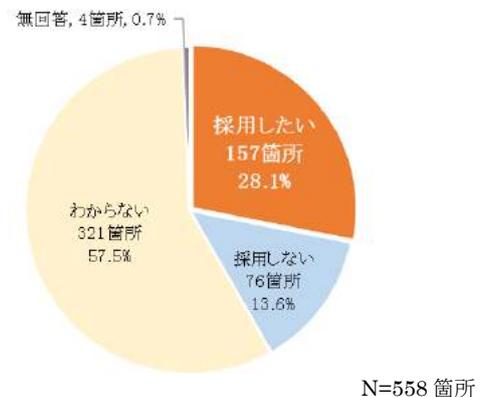
「農学部 食農ビジネス学科(仮称)」の概要を示し、卒業する人材の評価および採用意向について回答を求めた。その結果、「食農ビジネス学科(仮称)」を卒業する人材の評価については「大変評価する」194箇所(全体の34.8%)、「ある程度評価する」244箇所(同43.7%)であった。合計すると、全体の約8割の438箇所(同78.5%)が卒業する人材の評価を認める結果となった。「食農ビジネス学科(仮称)」を卒業する人材の採用意向については、約3割の157箇所(同28.3%)が「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は、入学定員100名を大きく上回る392人であった。

【グラフ】 摂南大学「農学部 食農ビジネス学科(仮称)」の評価・養成する人材の採用意向について

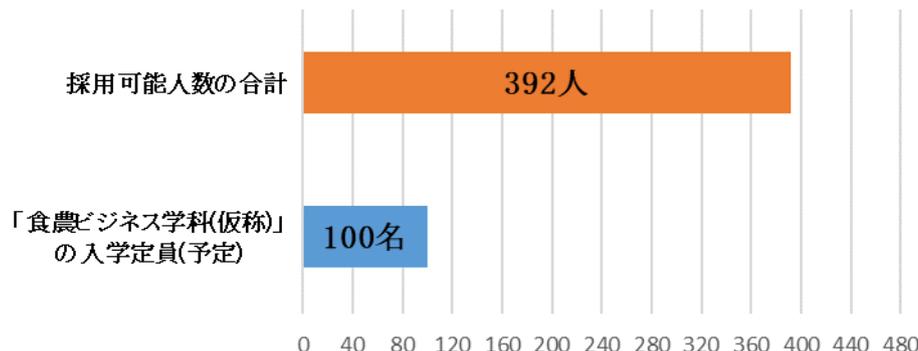
「食農ビジネス学科(仮称)」評価 <問 12 結果より>



卒業生の採用意向 <問 13 結果より>



卒業生の採用可能人数 <問 13 結果より>



N=157 箇所 ※問 13 で採用意向を示した回答元

添付資料① 「農学部 農業生産学科/応用生物科学科/食品栄養学科/食農ビジネス学科(すべて仮称)」の「設置構想についての人材需要アンケート調査」

アンケート設問用紙(1ページ目/全3ページ)



農業生産学科
応用生物科学科
食品栄養学科
食農ビジネス学科

摂南大学 農学部

2020年4月開設にむけ **設置構想中** ※学部・学科名称はすべて仮称

設置構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事・採用ご担当者様)

正しい 誤り 正しい 誤り

記入例を参考にご回答ください。 ● ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

問1 貴事業所の主業種をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

<input type="checkbox"/> 農業	<input type="checkbox"/> 建設業	<input type="checkbox"/> 製造業(食料品)
<input type="checkbox"/> 製造業(飲料・飼料)	<input type="checkbox"/> 製造業(医薬品)	<input type="checkbox"/> 製造業(食料品、飲料・飼料、医薬品以外)
<input type="checkbox"/> 運輸・倉庫業	<input type="checkbox"/> 金融業	<input type="checkbox"/> 卸売業
<input type="checkbox"/> 小売業	<input type="checkbox"/> 宿泊業、飲食サービス業	
<input type="checkbox"/> その他		

問2 貴事業所の所在地(本社・主たる事業所等)をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

<input type="checkbox"/> 北海道	<input type="checkbox"/> 青森県	<input type="checkbox"/> 岩手県	<input type="checkbox"/> 宮城県	<input type="checkbox"/> 秋田県	<input type="checkbox"/> 山形県	<input type="checkbox"/> 福島県
<input type="checkbox"/> 茨城県	<input type="checkbox"/> 栃木県	<input type="checkbox"/> 群馬県	<input type="checkbox"/> 埼玉県	<input type="checkbox"/> 千葉県	<input type="checkbox"/> 東京都	<input type="checkbox"/> 神奈川県
<input type="checkbox"/> 新潟県	<input type="checkbox"/> 富山県	<input type="checkbox"/> 石川県	<input type="checkbox"/> 福井県	<input type="checkbox"/> 山梨県	<input type="checkbox"/> 長野県	
<input type="checkbox"/> 岐阜県	<input type="checkbox"/> 静岡県	<input type="checkbox"/> 愛知県	<input type="checkbox"/> 三重県			
<input type="checkbox"/> 滋賀県	<input type="checkbox"/> 京都府	<input type="checkbox"/> 大阪府	<input type="checkbox"/> 兵庫県	<input type="checkbox"/> 奈良県	<input type="checkbox"/> 和歌山県	
<input type="checkbox"/> 鳥取県	<input type="checkbox"/> 島根県	<input type="checkbox"/> 岡山県	<input type="checkbox"/> 広島県	<input type="checkbox"/> 山口県		
<input type="checkbox"/> 徳島県	<input type="checkbox"/> 香川県	<input type="checkbox"/> 愛媛県	<input type="checkbox"/> 高知県			
<input type="checkbox"/> 福岡県	<input type="checkbox"/> 佐賀県	<input type="checkbox"/> 長崎県	<input type="checkbox"/> 熊本県	<input type="checkbox"/> 大分県	<input type="checkbox"/> 宮崎県	<input type="checkbox"/> 鹿児島県
<input type="checkbox"/> 沖縄県	<input type="checkbox"/> 海外					

問3 貴事業所の従業員、あるいは職員数の規模をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

<input type="checkbox"/> ~99人	<input type="checkbox"/> 100~499人	<input type="checkbox"/> 500~999人
<input type="checkbox"/> 1,000~2,999人	<input type="checkbox"/> 3,000~9,999人	<input type="checkbox"/> 10,000人~



000000003En*

1



アンケート設問用紙(2ページ目/全3ページ)



問4以降は別紙「摂南大学「農学部」の概要」をご覧の上でお答えください。

「農業生産学科(仮称)」について

問4 摂南大学「農学部 農業生産学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

- 大変評価する ある程度評価する あまり評価しない
 全く評価しない わからない

問5 摂南大学「農学部 農業生産学科(仮称)」が養成する人材を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

- 採用したい 採用しない わからない

「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。 人

「応用生物科学科(仮称)」について

問6 摂南大学「農学部 応用生物科学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

- 大変評価する ある程度評価する あまり評価しない
 全く評価しない わからない

問7 摂南大学「農学部 応用生物科学科(仮称)」が養成する人材を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

- 採用したい 採用しない わからない

「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。 人

「食品栄養学科(仮称)【管理栄養士養成課程】」について

問8 貴事業所において勤務される管理栄養士の人数をお答えください。(管理栄養士が勤務される場合のみ人数を記入)

人 内、常勤 人 非常勤 人

問9 貴事業所において今後5年間で、管理栄養士の採用を検討されていますか。(あてはまるもの一つにチェックの上、「検討している」場合は理由を記入)

- 検討している 検討していない

「検討している」とされた場合、理由として最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします。

- 定期採用 欠員補充 その他(差し支えなければ理由をお願いします)

2



000000003Eox



アンケート設問用紙(3ページ目/全3ページ)

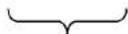


問10 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

- 大変評価する ある程度評価する あまり評価しない
 全く評価しない わからない

問11 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」が養成する人材(管理栄養士)を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

- 採用したい 採用しない わからない



「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。 人

「食農ビジネス学科(仮称)」について

問12 摂南大学「農学部 食農ビジネス学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

- 大変評価する ある程度評価する あまり評価しない
 全く評価しない わからない

問13 摂南大学「農学部 食農ビジネス学科(仮称)」が養成する人材を、貴事業所において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェック)

- 採用したい 採用しない わからない



「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数を記入ください。 人

「農学部」又は各学科について

問13 摂南大学「農学部」または設置予定の各学科について期待される点、要望がございましたら、ご自由に記入ください。特定学科に関するコメントの場合、最初に「●●学科について」と記入ください。

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



000000003Epg



概要資料 (1 ページ/全 3 ページ ※A3 二つ折)

2020年4月、
摂南大学 枚方キャンパスに
農学部
農業生産学科/応用生物科学科
食品栄養学科/食農ビジネス学科
を開設します。

[2019年3月設置認可申請予定]

摂南大学は2020年4月、枚方キャンパス(大阪府枚方市長尾15-1)に農学部の設置を申請しています。農学部においては、「農業生産学科」「応用生物科学科」「食品栄養学科(仮称)」(仮称)、「食農ビジネス学科(仮称)」(仮称)の4学科を設置します。[2019年3月設置認可申請予定]

摂南大学では今回、設置申請中の農学部に関する人材需要アンケートを実施することで、将来、農学部の卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を伺い、設置検討の参考とさせていただきます。回答いただいた方には卒業生から得られた情報は摂南大学 農学部の設置情報に関する既許情報以外の活用はいたしません。

皆様アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

※このアンケート調査は摂南大学から委託された第三者機関(株式会社伊藤総合研究所)が実施しています。

本紙・摂南大学「農学部」の概要をご覧ください。
別紙・人材需要アンケート調査にご回答ください。

摂南大学農学部は設置構想中のため、学部・学科名称、内容等は変更となる場合があります。

概要資料 (2・3ページ/全3ページ ※A3二つ折)

農業就業者の高齢化や耕作放棄地の拡大、食料自給率の低下など、さまざまな課題を抱えている現代社会。一方で企業の農業参入、ロボット技術・ICT(情報通信技術)・AI(人工知能)を活用した新たな農業への取り組みがなされるなどイノベーションの兆しがみられ、食料・農業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした社会や時代のニーズに応えるべく、グローバル視点で食と農に關する知識・技能を持ち、課題解決に取り組める人材育成をめざし、2020年4月「農学部」を設置します。(2019年3月設置部申請予定)

2020年4月 設置構想中 榎南大学 農学部開設

開設場所：榎南大学 吹方キャンパス (〒573-0101 大阪府吹方市長岡村町45-1) 取得学位：学士(農学)

<p>農業生産学科 入学定員80人(仮設置定員320人)</p> <p>農作物の採種・育苗・定植・生育・収穫までの過程や、圃場の土壌や水質を科学的に調査するとともに、スマート農業を含む農作物の新たな生産技術の開発とその高度利用をめざします。</p> <p>養成する人材 農作物の生育の少ない農作環境を克服、あるいは新技術を開発・普及させるために必要な知識・技術の応用を身につけて社会に貢献できる人材を養成します。また、研究の発展となるような学際的・学際的アプローチによる学際的・学際的農業生産技術の開発とその高度利用を促します。</p> <p>学科の特色 作物生産と生産環境について学び、女性が主体的に農業の発展に貢献できる力を養います。また、研究の発展となるような学際的・学際的アプローチによる学際的・学際的農業生産技術の開発とその高度利用を促します。</p>	<p>応用生物科学科 入学定員80人(仮設置定員320人)</p> <p>農作物の生育に用いる、土壌、肥料、灌漑技術、農薬など、生物・生命の現象や、その背後にある原理とメカニズムを、分子・細胞・組織・個体・集団・生態系を含めた視点で学び、身につけた豊富な知識を基に、人々の健康・食糧・環境・産業に貢献する人材を養成します。</p> <p>養成する人材 生物・生命の現象や、その背後にある原理とメカニズムを、分子・細胞・組織・個体・集団・生態系を含めた視点で学び、身につけた豊富な知識を基に、人々の健康・食糧・環境・産業に貢献する人材を養成します。</p> <p>学科の特色 農学と生命科学について多様な専門知識をもった人材を養成</p>	<p>食品栄養学科 入学定員80人(仮設置定員320人)</p> <p>食品の安全・安心と健康の増進を目的とし、食品の生産から加工・流通・消費までの体系を基盤とし、「食・栄養・健康・食文化」の専門的知識・技能・態度を身に付け、地域の健康と安心を基盤とした食の発展に貢献できる管理栄養士・栄養士を養成します。</p> <p>養成する人材 「標準」の学びを基盤として、「食のプロフェッショナル」の生産から加工・流通・消費までの体系を基盤とし、「食・栄養・健康・食文化」の専門的知識・技能・態度を身に付け、地域の健康と安心を基盤とした食の発展に貢献できる管理栄養士・栄養士を養成します。</p> <p>学科の特色 農学の広い観点をもった管理栄養士を養成</p>	<p>食農ビジネス学科 入学定員100人(仮設置定員400人)</p> <p>世界や日本における農業や食品の市場動向を把握し、その発展を促す。グローバルな視点から生産・加工・流通・消費などの社会経済活動における役割を担い、その発展を促します。</p> <p>養成する人材 農業や食料、食品産業に關する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に關する社会的経済的な課題の解決に關して、これらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成します。</p> <p>学科の特色 経済・ビジネス・マーケティングの観点から「食」を学ぶ</p>
<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学校・高等学校教諭一種免許状(農学) ● 高等学校教諭一種免許状(農学) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 食品メーカー ● 農産物加工企業・団体 ● 情報通信業 ● 公務員 ● 大卒院 	<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学校・高等学校教諭一種免許状(農学) ● 高等学校教諭一種免許状(農学) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 食品メーカー ● 農産物加工企業・団体 ● 情報通信業 ● 公務員 ● 大卒院 	<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 栄養士(管理栄養士)免許 ● 栄養士(管理栄養士)免許 ● 食生活指導士(食生活) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 監査機関(学卒など) ● 行政機関(学生、社会の企業、業など) ● 行政機関(保健センターなど) ● 食品メーカー 	<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食農ビジネス学科(仮称) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 食品メーカー ● 農産物加工企業・団体 ● 情報通信業 ● 公務員 ● 大卒院
<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学校・高等学校教諭一種免許状(農学) ● 高等学校教諭一種免許状(農学) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 食品メーカー ● 農産物加工企業・団体 ● 情報通信業 ● 公務員 ● 大卒院 	<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中学校・高等学校教諭一種免許状(農学) ● 高等学校教諭一種免許状(農学) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 食品メーカー ● 農産物加工企業・団体 ● 情報通信業 ● 公務員 ● 大卒院 	<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 栄養士(管理栄養士)免許 ● 栄養士(管理栄養士)免許 ● 食生活指導士(食生活) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 監査機関(学卒など) ● 行政機関(学生、社会の企業、業など) ● 行政機関(保健センターなど) ● 食品メーカー 	<p>取得可能な資格(選択制のものを含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食農ビジネス学科(仮称) <p>卒業後の進路イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食品・飲料メーカー ● 食品メーカー ● 農産物加工企業・団体 ● 情報通信業 ● 公務員 ● 大卒院

榎南大学農学部は設置構想中のため、学部・学科名称、内容等は変更となる場合があります。

1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」概要

摂南大学が2020年度、設置構想中の「農学部 食品栄養学科(仮称)」における人材需要の見通しを測定するために、「設置構想についての人材需要アンケート調査」(無記名式)を計1,361箇所へ送付した。計262件の有効回答(アンケート調査用紙)を回収の上で集計した結果、**171箇所(全体の65.3%)が「農学部 食品栄養学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色について「評価する」とした。さらに59箇所(同22.5%)が養成する人材(管理栄養士)を継続的に採用したいとし、その上で59箇所が示した採用可能な人数の合計は予定する人学定員80名を大きく上回る147人であった。**

調査対象	<p>摂南大学が設置構想中の「農学部 食品栄養学科(仮称)」の卒業生採用が想定される以下の業種の事業所・計1,361箇所をアンケートの対象とした(主たる事業所が大阪府内をはじめとする近畿二府四県、又は主たる事業所が首都圏で大阪府に支店等を置くもの)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病院(530箇所) ● 診療所(201箇所 ※人工透析科、産科、産婦人科を置く診療所など) ● 介護老人保健施設(110箇所) ● 特別養護老人ホーム(111箇所) ● 障がい者施設(29箇所) ● 保育園(134箇所) ● 児童養護施設(40箇所) ● 給食会社(95社) ● 薬局・ドラッグストア(111法人)
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答事業所の基本情報(業種、主たる事業所の所在地、職員・従業員規模) ● 管理栄養士の勤務状況、今後5年間の採用意向 ● 「農学部 食品栄養学科(仮称)」の養成人材・特色への評価、養成人材(管理栄養士)の継続的な採用意向
調査時期	2018年7～8月
調査方法	調査対象とした企業等の人事・採用担当者宛に、人材需要アンケート調査用紙(1部)を郵送。協力可能な場合、回答済のアンケートを所定の返信用封筒に同封の上、返送して頂いた。
回収件数	有効回答数262件(回収率19.3%)

→ 配布した「設置構想についての人材需要アンケート調査」用紙は36ページ【添付資料②】参照。

2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴機関・貴施設・貴社についてあてはまるものをお答えください。
(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. 病院	98	37.4%
2. 診療所	29	11.1%
3. 介護老人保健施設	19	7.3%
4. 特別養護老人ホーム	20	7.6%
5. 障がい者(児)施設	6	2.3%
6. 保育園	25	9.5%
7. 児童養護施設	1	0.4%
8. 給食委託会社	23	8.8%
9. 薬局・ドラッグストア (運営会社含む)	35	13.4%
10. その他	5	1.9%
(無回答)	1	0.4%
合計	262	100.0%

問2 貴機関・貴施設の所在地または貴社の本社所在地をお答えください。
(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. 大阪府 (枚方市内)	42	16.0%
2. 大阪府 (枚方市以外)	119	45.4%
3. 京都府	16	6.1%
4. 兵庫県	42	16.0%
5. 奈良県	11	4.2%
6. 滋賀県	15	5.7%
7. 和歌山県	7	2.7%
8. その他	8	3.1%
(無回答)	2	0.8%
合計	262	100.0%

問3 貴機関・貴施設の職員規模または貴社の従業員規模をお答えください。
(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. ～99人	87	33.2%
2. 100～499人	95	36.3%
3. 500～999人	52	19.8%
4. 1,000～2,999人	14	5.3%
5. 3,000～9,999人	10	3.8%
6. 10,000人～	3	1.1%
(無回答)	1	0.4%
合計	262	100.0%

問4 貴機関・貴施設・貴社において勤務される管理栄養士の人数をお答えください。
(管理栄養士が勤務される場合のみ人数を記入ください)

回答人数	回答数	人数合計
1	53	53
2	26	52
3	21	63
4	23	92
5	13	65
6	15	90
7	8	56
8	6	48
9	3	27
10	3	30
11	4	44
12	2	24
13	1	13
14	1	14
15	2	30
17	1	17
18	1	18
20	1	20
21	1	21
25	1	25
32	1	32
33	2	66
37	1	37
61	1	61
63	1	63
73	1	73
93	1	93
100	2	200
105	1	105
113	1	113
150	1	150
177	1	177
300	1	300
400	1	400
1,000	1	1,000
合計	203	3,672

内、常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	52	52
2	30	60
3	21	63
4	19	76
5	22	110
6	10	60
7	4	28
8	5	40
9	3	27
10	1	10
11	5	55
12	1	12
13	2	26
14	1	14
15	1	15
17	1	17
18	1	18
20	1	20
21	1	21
25	1	25
32	1	32
37	1	37
59	1	59
60	1	60
63	1	63
93	1	93
102	1	102
109	1	109
合計	190	1,304

非常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	34	34
2	10	20
3	3	9
4	3	12
5	1	5
12	1	12
13	1	13
合計	53	105

- 問5** 貴機関・貴施設・貴社において今後5年間で、管理栄養士の採用を検討されていますか。
(あてはまるもの一つにチェックの上、「検討している」場合はその理由をお答えください)

選択項目	回答数	構成比
1. 検討している	123	46.9%
2. 検討していない	129	49.2%
(無回答)	10	3.8%
合計	262	100.0%

「検討している」とされた場合、理由として最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします。

選択項目	回答数	構成比
1. 定期採用	38	30.9%
2. 欠員補充	58	47.2%
3. その他	26	21.1%
(無回答)	1	0.8%
合計	123	100.0%

問6以降は摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」の概要を見た上での回答を求めた。

- 問6** 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。
(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. 大変評価する	78	29.8%
2. ある程度評価する	93	35.5%
3. あまり評価しない	6	2.3%
4. 全く評価しない	0	0.0%
5. わからない	77	29.4%
(無回答)	8	3.1%
合計	262	100.0%

問7 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」が養成する人材(管理栄養士)を、貴機関・貴施設・貴社において継続的に採用したいと思われませんか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	59	22.5%
2. 採用しない	34	13.0%
3. わからない	161	61.5%
(無回答)	8	3.1%
合計	262	100.0%

(問7で、「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。

提示人数	回答数	人数合計
1人	22	22
2人	12	24
3人	8	24
5人	6	30
7人	1	7
10人	4	40
(無回答)	6	-
合計	59	147

問8 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述となります)

※ 44箇所から回答を得た。以下、回答内容を掲載(原文通り)。順不同。【】内は【業種/所在地/従業員規模】を示す。

1.	まずは国家試験に合格できる学生を育成して頂きたい事。次に社会人、医療人として接遇マナーを身につけている事。【病院 / 滋賀県 / 100~499人】
2.	管理栄養士は過剰供給の状況にあると思います(病院では)。学生の卒後の就職について、検討する必要があります。【病院 / 京都府 / 100~499人】
3.	4年もかかるのか?と正直不思議に思います。2年で足りない理由を分かりやすくした方がいいと思います。目指す資格等を見ているだけでは、4年は長いです。【診療所 / 大阪府(枚方市以外) / ~99人】
4.	弊社は大阪市内に事業部(支店)があり、大阪府内、兵庫県内でも多くのお客様に給食を提供しております。ぜひ御校の学生様にも弊社で活躍して頂ければと思っております。今後とも、よろしくお願い致します。【給食委託会社 / 奈良県 / 1,000~2,999人】
5.	これからもっと管理栄養士が活躍できる世の中やシステムになって欲しいと思います。【介護老人保健施設 / 兵庫県 / ~99人】
6.	職員の枠に定員があるため、辞める人が出ない限り採用の予定なし。アンケートの参考にならず申し訳ありません。【病院 / 兵庫県 / 500~999人】
7.	近隣の大学に新しい学部ができるので楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。【病院 / 大阪府(枚方市内) / 1,000~2,999人】
8.	進捗状況をまた教えて欲しい。【診療所 / 大阪府(枚方市内) / ~99人】
9.	薬学部、薬剤師との連携【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市以外) / 100~499人】
10.	在宅の活動で栄養士さんの力が必要だと思うことは多々あります。ぜひふやしてほしいです。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市以外) / ~99人】
11.	医療や介護分野で多に活躍して頂ければと思います。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市以外) / ~99人】

12.	現在、管理栄養士においては充足しておりますので採用予定はございませんが、今後欠員状況によっては募集したいと考えております。その際、近年多様化、深刻化しているアレルギーの知識は十分に身につけていただきたいです。また、当園では食育の一環として自園栽培の野菜を使用しており、「農学」を熟知した人材を求めます。【その他 / 滋賀県 / ～99人】
13.	学生のうちからチーム医療や他学部との他職種連携教育を学習される点に、期待しております。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市内) / 100～499人】
14.	社会人としての自覚をもって就職してきてくださる、優秀な人材を育成していただければと思います。【特別養護老人ホーム / 大阪府(枚方市内) / ～99人】
15.	弊社では、管理栄養士の資格取得者でも、栄養士・調理師の方ともに調理員として業務していただくので、管栄取得者からすると方向性が異なると思われるはずで。調理員としての業務が大丈夫なのであれば、多くの方々に興味を持っていただけると嬉しい限りです。【給食委託会社 / 大阪府(枚方市内) / 1,000～2,999人】
16.	全てが全てではありませんが、臨機応変に動ける人が少ない。優先順位も理解できない人もあり、貴校が養成する人材像や特色において期待します。【保育園 / 滋賀県 / 100～499人】
17.	現在、栄養士・管理栄養士を募集しています。御校に期待しています。【給食委託会社 / 大阪府(枚方市以外) / 100～499人】
18.	様々な食事形態について、知識をつけて欲しい。【特別養護老人ホーム / 大阪府(枚方市以外) / 100～499人】
19.	これからの世界、食育の重要性をグローバルに発信されることを期待します。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市以外) / ～99人】
20.	当法人としまして、障がい者と農作業を行っており、「食」「生産」について、通じるものがあると感じました。【障がい者(児)施設 / 大阪府(枚方市以外) / ～99人】
21.	今後よろしくお願いたします。【特別養護老人ホーム / 奈良県 / 100～499人】
22.	地域にとっての人材を育成してもらいたい。また、高齢者の理解をもって仕事をしてもらいたい。【診療所 / 滋賀県 / 100～499人】
23.	欠員補充でしか採用しない為、今後の展開が予想できません。HPでの採用が全国的にも少ない中、管理栄養士の養成は必要か？ギモンです。【病院 / 大阪府(枚方市以外) / 500～999人】
24.	・管理栄養士を多人数採用出来る仕組みが介護保険の中には無い為、単独で考えると少人数の採用しか出来ない。 ・栄養面に関する事を学問として理解出来ている人材が、日々の介護で生活に関わりながら食事の面をサポートしてくれるというのが一番良いですが…。(実績を積んでケアマネ→主任ケアマネ等も受験!!)介護イコール、ブルーカラー的、ブラック、しんどい(三大介護)としかとらえてない方々が多いですが、皆と同じ日々の生活をおこない、その中で楽しみであり重要な食生活の場があると考えていただきたいと日々痛感しています。人とかわるには一部分からではなく、日々の生活の中から一緒に見る事で気付き、提案出来ると思います。(例)医者や看護師より在宅や施設で御本人に一番近い所で寄りそっている家族や職員の気づきが大きく、多くあり、それをもってケアプランや治療のみなおしをおこなう事もあります。各種の専門の眼をもった職員からは少しの変化も見のがさず、気づきの報告があります。(この点を期待しますが…)【特別養護老人ホーム / 大阪府(枚方市以外) / 100～499人】
25.	いつもお世話になっております。先日は実習生の件で、お話をいただきましたこと、誠にありがとうございます。現在は管理栄養士の増員は考えておりませんが、状況によっては採用を考えることもあるかと思えます。今後ともよろしくお願申し上げます。ロイヤルライフ 天寿苑 植木【特別養護老人ホーム / 大阪府(枚方市以外) / ～99人】
26.	外来診療のみなので、採用はありません。【診療所 / 大阪府(枚方市以外) / ～99人】
27.	食が豊かで、色んなものが手に入る時代、身体を作っていく子どもたちに安全で、安心して食べられる物等、食育を通したくさんのことを伝えていって欲しいなあとと思います。【保育園 / 大阪府(枚方市以外) / ～99人】
28.	医療機関においてチーム医療のための他職種との連携力とコミュニケーション力は、非常に必要な能力です。専門的な知識や技能は当然身につけるものであると考えますので、高いコミュニケーション能力を持った管理栄養士を育成していただけるようお願いいたします。【病院 / 兵庫県 / 100～499人】
29.	貴学ご卒業の人士がただ与えられた食物・栄養物を患者・利用者の口に押し込み、流し込むのではなく、患者、要介護者、幼児、子どもら、消費者の立場に立って、国民の健康の代弁者となって、社会・政治・経済に批判的に立ち向かうことを切に希望します。危険な食物、汚染された食物、得体の知れぬ輸入品を、合法だから、安いから、これしかないからと無批判に食べさせるような「栄養士」「マネージャー」は有害と考えます。「養成する人材」像には、そういう「憂い」があると、もっとすばらしいと思います。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 京都府 / 100～499人】
30.	4年間だけで概要にある人材を育成するのは難しいと思う。入学時から進路を見すえた教育が必要だと思う。【障がい者(児)施設 / 大阪府(枚方市内) / 100～499人】
31.	介護施設において栄養だけでなく、介護も含めて活やくしてくれる人材のニーズが多いと思います。【特別養護老人ホーム / 大阪府(枚方市内) / 100～499人】
32.	これからは食がとても大切な時代だと感じています。学生の皆様が本物の(商業的ではない)食について学び、その学びを社会で活かしていただきたい。期待しています。【保育園 / 大阪府(枚方市以外) / ～99人】

33.	農学部にある学科としての特徴を活かせる人材を育成してもらいたい。地産地消が出来る考えをもった人材が、地域医療の機関としては期待する。【病院 / 兵庫県 / 500～999 人】
34.	安全で安価な野菜などが、普通に流通されることを願っています。某大学の養殖マグロのように、農業分野で画期的な研究を願っています。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市以外) / ～99 人】
35.	弊社は調剤薬局を 30 店舗経営により栄養士は必要ありません。申し訳ございません。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市以外) / 100～499 人】
36.	京阪沿線にも弊社のグループ会社がたくさんあります。定期的に採用できれば、とても有難いことです。【給食委託会社 / その他 / 3,000～9,999 人】
37.	養成校から卒業する管理栄養士はすでに過剰のように感じています。資格をとり生かせる就職先があるのでしょうか。心配です。【病院 / 滋賀県 / 500～999 人】
38.	弊社は企業給食の製造、配達を中心と致しておりますが、社員食堂の運営、幼稚園や中高大学の食堂の運営、病院食堂の運営、各種福祉施設への食材の提供など、多方面からの顧客ニーズがあります。また、創立当初から、仕出し・懐石料理も約 50 年間継続しており、貴校の構想は弊社の今後を担う人材となるものと大きな期待を致すところです。【給食委託会社 / 奈良県 / 100～499 人】
39.	給食管理を基礎とした管理栄養を学べる学科に期待したいです。【業種・所在地・規模未回答】
40.	近年、食物、食品の加工、調理方法などの技術、技能を高めていく教育カリキュラムが減少しているのではないかと考えます。実習、実践は教科書では学ぶことができない貴重な時間ですので、学びの特色として積極的にとりこんでいただきたいです。【病院 / 兵庫県 / 100～499 人】
41.	これからの高齢社会にむけて食文化を学び、社会に還元するよう頑張って下さい。【診療所 / 大阪府(枚方市以外) / ～99 人】
42.	当施設は特養です。各種“加算”をいかに算定できるかがポイントです。算定基準にたいいてい他職種連携を求めますので、その中でも医者との連携が求められます。正直「農学」とは実学ではあまり結びつかないかと思いますが、貴学には薬学部と看護学部がありますので、そちらとの連携に期待できます。 【特別養護老人ホーム / 大阪府(枚方市以外) / 100～499 人】
43.	今後予防治療において、管理栄養士の活躍が期待されています。大学で薬剤師・看護師との連携教育を行っていただける事は、地域包括ケアシステムでそれぞれの職種がより職能を發揮できると考えます。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / 大阪府(枚方市以外) / 100～499 人】
44.	薬学部の採用におきまして、例年お世話になっております。当社では、一部店舗において、現状栄養学のサポート知識を活かして活躍して頂いている医療事務スタッフもおります。こういった活動を通じて、地域ごとの患者様へのより深い健康サポートサービスも提供していきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひいたします。【薬局・ドラッグストア(運営会社含む) / その他 / 3,000～9,999 人】

3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

Point 枚方市・大阪府を中心とした近畿地方における
1 幅広い業種・規模の医療機関・福祉施設・企業等 262 箇所が回答。

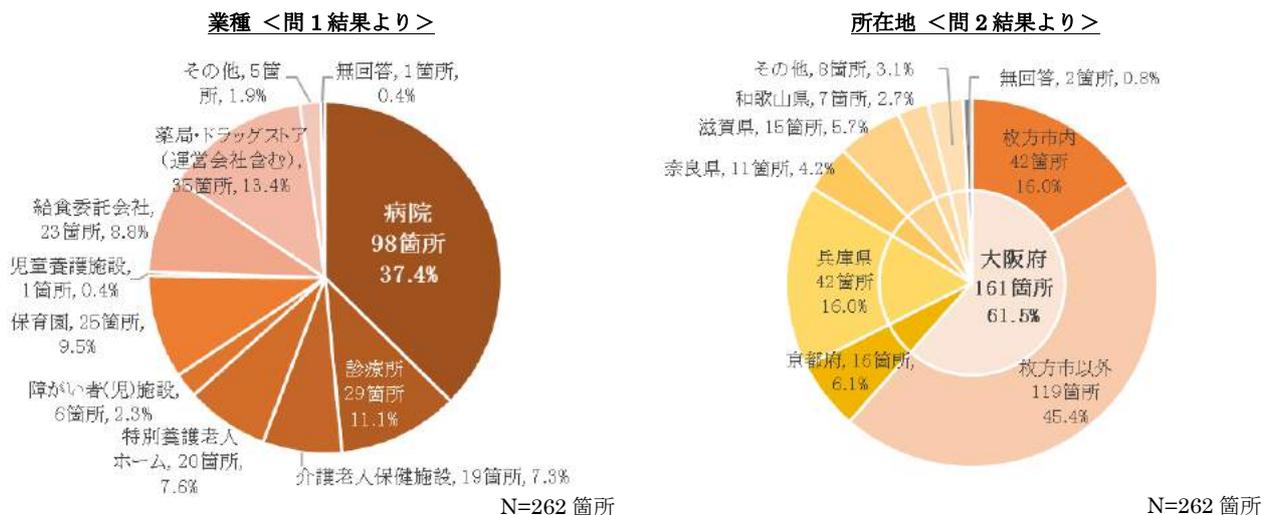
摂南大学が 2020 年度、設置予定の「農学部 (仮称)」に係る「設置構想についての人材需要アンケート調査」において、企業等から返送を得た有効回答 262 件の集計を行った。その結果、業種・施設種別でみた場合、最も回答数が多かったのは「病院」で 98 箇所 (全体の 37.4%) であった。その他、「薬局・ドラッグストア」35 箇所 (同 13.4%)、「診療所」29 箇所 (同 11.1%)、「給食委託会社」23 箇所 (同 8.8%) や、「保育園」25 箇所 (同 9.5%)、「特別養護老人ホーム」20 箇所 (同 7.6%)、「介護老人保健施設」19 箇所 (同 7.3%) などの社会福祉施設から回答を得た。

所在地 (本社・主たる事業所等) については、最も回答が多かったのは「大阪府」で 161 箇所 (同 61.5%) であり、そのうち摂南大学「農学部 (仮称)」の開設予定地である「枚方市内」は 42 箇所 (同 16.0%) であった。以下、上位 3 県までは、「兵庫県」が 42 箇所 (同 16.0%)、「京都府」が 16 箇所 (同 6.1%) であった。

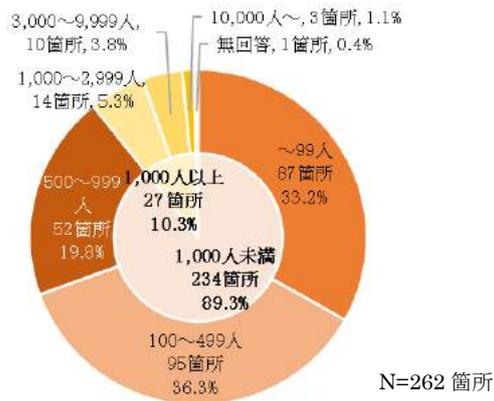
従業員、職員規模については「100～499 人」が 95 箇所 (同 36.3%) で最も多く、「～99 人」87 箇所 (同 33.2%)、「500～999 人」52 箇所 (同 19.8%) とあわせると、1,000 人未満の企業等が計 234 箇所 (同 89.3%) であった。一方で、「1,000～2,999 人」が 14 箇所 (同 5.3%)、「3,000～9,999 人」が 10 箇所 (同 3.8%)、「10,000 人～」が 3 箇所 (同 1.1%) あり、1,000 人以上の企業が計 27 箇所 (同 10.3%) あった。

このように、枚方市ならびに大阪府を中心に、近畿地方の幅広い業種、さまざまな規模の企業等から回答を得ることができた。

【グラフ】回答元について



従業員・職員規模<問3結果より>



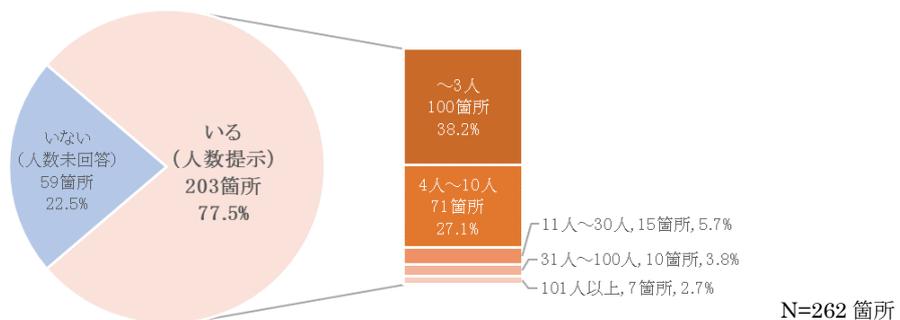
Point 2 約8割の203箇所では管理栄養士が勤務し、勤務人数の合計は3,672人(1箇所平均18.1人)。また半数近い123箇所において、今後5年間で管理栄養士の採用を検討中。

管理栄養士の勤務状況について回答を求めたところ、203箇所(同77.5%)が1名以上の管理栄養士が勤務していると回答した。具体的な人数については、「~3人」が100箇所(同38.2%)と最も多かった一方で、「101人以上」の回答が7箇所(同2.7%)あり、合計すると203箇所では3,672人(1箇所平均18.1人)の勤務が確認された。

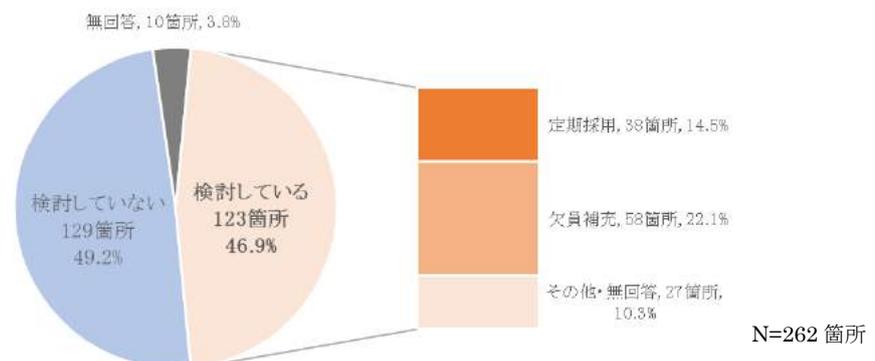
今後5年間の管理栄養士の採用予定については、123箇所(同46.9%)が「検討している」と回答した。「検討している」と回答した企業等の採用検討理由は、「欠員補充」が最も多く58箇所(同22.1%)、続いて「定期採用」38箇所(同14.5%)であった。

【グラフ】管理栄養士の勤務状況および今後5年の採用検討状況

管理栄養士の勤務状況 <問4結果より>



管理栄養士の今後5年の採用検討状況 <問5結果より>

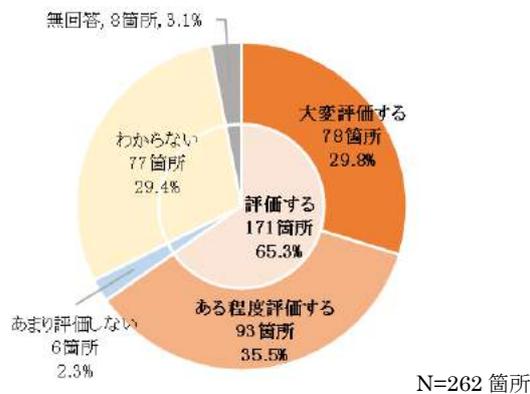


Point 3 「食品栄養学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色について6割強が評価。
また、2割強の59箇所が採用意向を示し、採用可能人数の合計は147人。

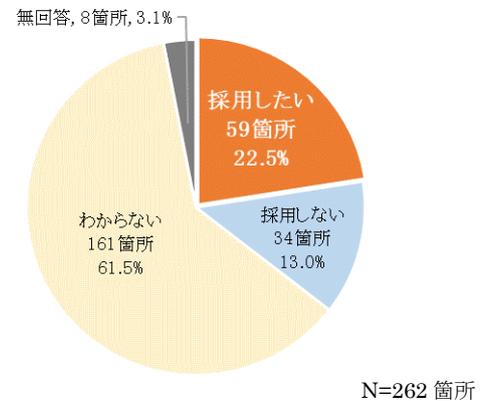
「農学部 食品栄養学科(仮称)」の概要を示し、卒業する人材の評価および採用意向について回答を求めた。その結果、「食品栄養学科(仮称)」を卒業する人材の評価については「大変評価する」78箇所(全体の29.8%)、「ある程度評価する」93箇所(同35.5%)であった。合計すると、全体の6割以上の171箇所(同65.3%)が卒業する人材の評価を認める結果となった。「食品栄養学科(仮称)」を卒業する人材の採用意向については、2割強の59箇所(同22.5%)が「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は、入学定員80名を大きく上回る147人であった。

【グラフ】 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」の評価・養成する人材の採用意向について

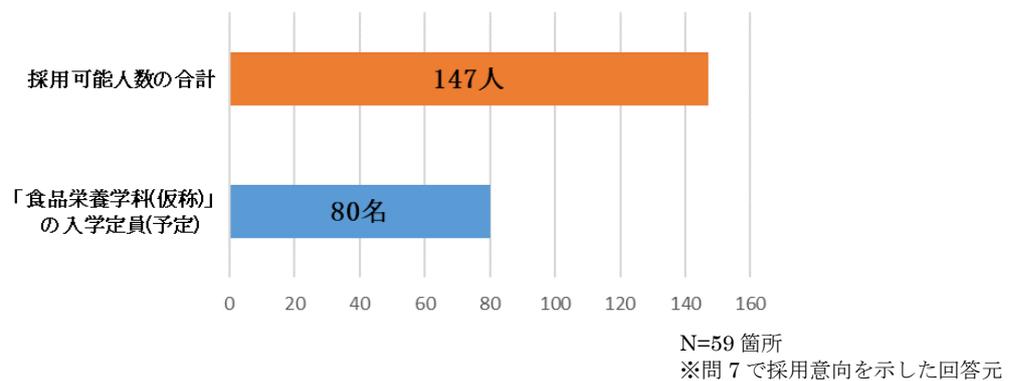
「食品栄養学科(仮称)」評価 <問6結果より>



卒業生の採用意向 <問7結果より>



卒業生の採用可能人数 <問8結果より>



アンケート設問用紙(1ページ目/全2ページ)



問5 貴機関・貴施設・貴社において今後5年間で、管理栄養士の採用を検討されていますか。(あてはまるもの一つにチェックの上、「検討している」場合は理由をお答えください)

- 検討している 検討していない



「検討している」とされた場合、理由として最もあてはまるもの一つにチェックをお願いします。

- 定期採用 欠員補充 その他 ※よろしければ理由をご記入ください。

[]

問6以降は摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」の概要をご覧の上でご回答ください。

問6 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 大変評価する ある程度評価する あまり評価しない
 全く評価しない わからない

問7 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」が養成する人材(管理栄養士)を、貴機関・貴施設・貴社において継続的に採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 採用したい 採用しない わからない



「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。 名

問8 摂南大学「農学部 食品栄養学科(仮称)」について期待される点、ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

[]

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



概要資料 (1 ページ/全 1 ページ)

問6以降に答える前に「摂南大学 農学部 食品栄養学科(仮称・設置構想中)の概要」をお読みください。

摂南大学 農学部 食品栄養学科

仮称・設置構想中

「農学」の学びを基盤とした、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる管理栄養士を養成します。

学部の概要

開設時期：平成32(2020)年4月
 修業年限：4年
 入学定員：80名(収容定員：320名)
 取得学位：学士(農学)
 取得資格：管理栄養士国家試験受験資格、栄養士免許、栄養教諭、食品衛生管理者、食品衛生監視員等

養成する人材

本学園の建学の精神「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」のもと、地域の健康に貢献できる管理栄養士を養成します。具体的な人材像としては、下記のとおりです。

- 「農学」の学びを基盤とした多角的な「食」の観点から栄養、健康、食育に関する実践的な専門知識・技能を持ち、地域社会の人々の健康で心豊かな暮らしを支援できる。
- 食事や栄養の指導を通して、地域社会の人々の健康の維持・増進および医療・地域包括ケアに貢献できる。
- 医療機関および介護高齢者施設において他職種との高い連携力やコミュニケーション力を持ち、チーム医療・介護などに貢献できる。
- 調理方法や献立方法などの指導および特産品の商品化や機能性の調査・分析などを通し地産地消を基本として適切に食事を提供できる。

学びの特色

「食」からより良い暮らしを実現する管理栄養士を養成します。

「食」を農学的な広い観点から捉え、食品ロスの削減等、環境への負担にも配慮した「食育」を推進できる農学的な視野と「食」に対する高い倫理観を持った管理栄養士、栄養教諭を養成します。

初年次から少人数制できめ細かい指導を行います。

初年次から教員1人あたり学生約10人程度の少人数ゼミ・担任制を導入し、学生一人ひとりの学修、進路および生活全般にわたり、きめ細かい学生指導を行います。3年次は管理栄養士養成課程コア科目、臨地実習および実習事後指導が加わるとともに、3年次後期から研究基礎演習(研究室仮配属)を行い、4年次では卒業研究・就職指導などを実施します。

薬学部・看護学部との医療人多職種連携教育を行います。

薬剤師・看護師・管理栄養士の立場での医療人多職種連携教育を展開することで、他の職種の役割や専門性を理解した、チーム医療・地域包括ケアシステム推進の一助となる管理栄養士を養成します。

卒業後の進路

医療機関	病院や診療所等の勤務を想定しています。入院患者や通院中の患者一人ひとりに合わせた栄養管理や栄養指導を担い、チームの一員として医療に貢献します。
学校機関	小中学校や学校給食センター等の勤務を想定しています。栄養管理に加えて、学校における食育の計画、地域人材の活用、個別指導などの役割も担います。
学生・勤労者 福利厚生施設	社員食堂や社員寮、大学の食堂等の勤務を想定しています。勤労者や学生の健康のための給食管理や栄養管理のほか、対象者が必要とする正しい栄養情報の提供を行います。
行政機関	地方自治体、保健所や市町村保健センター等の勤務を想定しています。都道府県や市町村の健康政策を企画・立案し、地域住民の健康づくりのための調査やイベントを実施するなど、健康教育、栄養相談、食環境整備などの公衆栄養を担います。
福祉施設	児童福祉施設、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、障がい者(児)施設等の勤務を想定しています。施設入所あるいは地域で生活する子どもたち・高齢者・障がい者(児)の栄養管理を行い、安心安全な食事の提供と栄養管理を行います。
食品・健康食品関連企業 薬局・ドラッグストア等	食品関係、健康食品関連企業の品質管理、開発などの部門への就職を想定しています。また、近年の健康志向の高まりから、ドラッグストアでの栄養相談、健康食品の説明等で管理栄養士の役割が期待されています。

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

給食施設における管理栄養士の配置状況

出典：平成29年度 厚生労働省 衛生行政報告例

(平成29年度末現在)

(第3表) 給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数・特定給食施設—その他の給食施設・施設の種別	総数	管理栄養士のみの施設①		管理栄養士・栄養士どちらもある施設②		①+②合計 (管理栄養士を配置)	栄養士のみの施設③		①+②+③合計 (管理栄養士か栄養士を配置)	管理栄養士・栄養士どちらもない施設④	
		施設数	施設数 ①の割合	施設数	②の割合		施設数	③の割合		施設数	④の割合
総数	91,002	19,659	21.6%	17,761	19.5%	41.1%	22,998	25.3%	66.4%	30,584	33.6%
学校	17,765	5,830	32.8%	1,341	7.5%	40.4%	4,273	24.1%	64.4%	6,321	35.6%
病院	8,445	2,525	29.9%	5,736	67.9%	97.8%	88	1.0%	98.9%	96	1.1%
介護老人保健施設	3,788	1,275	33.7%	2,313	61.1%	94.7%	162	4.3%	99.0%	38	1.0%
老人福祉施設	13,518	3,914	29.0%	4,459	33.0%	61.9%	2,771	20.5%	82.4%	2,374	17.6%
児童福祉施設	26,632	2,785	10.5%	2,169	8.1%	18.6%	10,647	40.0%	58.6%	11,031	41.4%
社会福祉施設	4,189	977	23.3%	649	15.5%	38.8%	1,538	36.7%	75.5%	1,025	24.5%
事業所	8,886	1,203	13.5%	448	5.0%	18.6%	1,421	16.0%	34.6%	5,814	65.4%
寄宿舍	1,885	201	10.7%	54	2.9%	13.5%	365	19.4%	32.9%	1,265	67.1%
矯正施設	155	49	31.6%	11	7.1%	38.7%	9	5.8%	44.5%	86	55.5%
自衛隊	242	157	64.9%	18	7.4%	72.3%	44	18.2%	90.5%	23	9.5%
一般給食センター	394	43	10.9%	140	35.5%	46.4%	122	31.0%	77.4%	89	22.6%
その他	5,103	700	13.7%	423	8.3%	22.0%	1,558	30.5%	52.5%	2,422	47.5%
特定給食施設	50,542	12,803	25.3%	12,290	24.3%	49.6%	12,042	23.8%	73.5%	13,407	26.5%
学校	15,772	5,540	35.1%	1,312	8.3%	43.4%	3,964	25.1%	68.6%	4,956	31.4%
病院	5,670	1,445	25.5%	4,211	74.3%	99.8%	11	0.2%	99.9%	3	0.1%
介護老人保健施設	2,865	909	31.7%	1,875	65.4%	97.2%	75	2.6%	99.8%	6	0.2%
老人福祉施設	4,832	1,669	34.5%	2,647	54.8%	89.3%	444	9.2%	98.5%	72	1.5%
児童福祉施設	13,206	1,474	11.2%	1,307	9.9%	21.1%	5,542	42.0%	63.0%	4,883	37.0%
社会福祉施設	764	223	29.2%	225	29.5%	58.6%	274	35.9%	94.5%	42	5.5%
事業所	5,492	1,093	19.9%	396	7.2%	27.1%	1,113	20.3%	47.4%	2,890	52.6%
寄宿舍	556	106	19.1%	32	5.8%	24.8%	188	33.8%	58.6%	230	41.4%
矯正施設	115	46	40.0%	9	7.8%	47.8%	8	7.0%	54.8%	52	45.2%
自衛隊	190	141	74.2%	18	9.5%	83.7%	26	13.7%	97.4%	5	2.6%
一般給食センター	376	40	10.6%	137	36.4%	47.1%	118	31.4%	78.5%	81	21.5%
その他	704	117	16.6%	121	17.2%	33.8%	279	39.6%	73.4%	187	26.6%
その他の給食施設	40,460	6,856	16.9%	5,471	13.5%	30.5%	10,956	27.1%	57.5%	17,177	42.5%
学校	1,993	290	14.6%	29	1.5%	16.0%	309	15.5%	31.5%	1,365	68.5%
病院	2,775	1,080	38.9%	1,525	55.0%	93.9%	77	2.8%	96.6%	93	3.4%
介護老人保健施設	923	366	39.7%	438	47.5%	87.1%	87	9.4%	96.5%	32	3.5%
老人福祉施設	8,686	2,245	25.8%	1,812	20.9%	46.7%	2,327	26.8%	73.5%	2,302	26.5%
児童福祉施設	13,426	1,311	9.8%	862	6.4%	16.2%	5,105	38.0%	54.2%	6,148	45.8%
社会福祉施設	3,425	754	22.0%	424	12.4%	34.4%	1,264	36.9%	71.3%	983	28.7%
事業所	3,394	110	3.2%	52	1.5%	4.8%	308	9.1%	13.8%	2,924	86.2%
寄宿舍	1,329	95	7.1%	22	1.7%	8.8%	177	13.3%	22.1%	1,035	77.9%
矯正施設	40	3	7.5%	2	5.0%	12.5%	1	2.5%	15.0%	34	85.0%
自衛隊	52	16	30.8%	-	-	30.8%	18	34.6%	65.4%	18	34.6%
一般給食センター	18	3	16.7%	3	16.7%	33.3%	4	22.2%	55.6%	8	44.4%
その他	4,399	583	13.3%	302	6.9%	20.1%	1,279	29.1%	49.2%	2,235	50.8%
指定施設(特定給食施設の再掲)	2,816	1,028	36.5%	1,616	57.4%	93.9%	90	3.2%	97.1%	82	2.9%
学校	96	47	49.0%	13	13.5%	62.5%	14	14.6%	77.1%	22	22.9%
病院	1,640	356	21.7%	1,284	78.3%	100.0%	-	-	100.0%	0	0.0%
介護老人保健施設	3	-	-	2	66.7%	66.7%	1	33.3%	100.0%	0	0.0%
老人福祉施設	4	-	-	3	75.0%	75.0%	1	25.0%	100.0%	0	0.0%
児童福祉施設	1	1	100.0%	-	-	100.0%	-	-	100.0%	0	0.0%
社会福祉施設	8	3	37.5%	5	62.5%	100.0%	-	-	100.0%	0	0.0%
事業所	795	488	61.4%	209	26.3%	87.7%	52	6.5%	94.2%	46	5.8%
寄宿舍	18	9	50.0%	8	44.4%	94.4%	1	5.6%	100.0%	0	0.0%
矯正施設	52	37	71.2%	6	11.5%	82.7%	1	1.9%	84.6%	8	15.4%
自衛隊	77	64	83.1%	12	15.6%	98.7%	1	1.3%	100.0%	0	0.0%
一般給食センター	103	15	14.6%	69	67.0%	81.6%	16	15.5%	97.1%	3	2.9%
その他	19	8	42.1%	5	26.3%	68.4%	3	15.8%	84.2%	3	15.8%
1回300食以上又は1日750食以上(特定給食施設の再掲)	12,767	4,903	38.4%	1,669	13.1%	51.5%	3,336	26.1%	77.6%	2,859	22.4%
学校	10,492	4,341	41.4%	1,151	11.0%	52.3%	2,720	25.9%	78.3%	2,280	21.7%
病院	262	51	19.5%	211	80.5%	100.0%	-	-	100.0%	0	0.0%
介護老人保健施設	29	8	27.6%	19	65.5%	93.1%	2	6.9%	100.0%	0	0.0%
老人福祉施設	45	15	33.3%	28	62.2%	95.6%	2	4.4%	100.0%	0	0.0%
児童福祉施設	241	44	18.3%	52	21.6%	39.8%	98	40.7%	80.5%	47	19.5%
社会福祉施設	15	3	20.0%	10	66.7%	86.7%	2	13.3%	100.0%	0	0.0%
事業所	1,292	347	26.9%	114	8.8%	35.7%	378	29.3%	64.9%	453	35.1%
寄宿舍	70	23	32.9%	7	10.0%	42.9%	29	41.4%	84.3%	11	15.7%
矯正施設	22	7	31.8%	3	13.6%	45.5%	3	13.6%	59.1%	9	40.9%
自衛隊	48	41	85.4%	2	4.2%	89.6%	4	8.3%	97.9%	1	2.1%
一般給食センター	213	18	8.5%	61	28.6%	37.1%	87	40.8%	77.9%	47	22.1%
その他	38	5	13.2%	11	28.9%	42.1%	11	28.9%	71.1%	11	28.9%
1回100食以上又は1日250食以上(特定給食施設の再掲)	34,959	6,872	19.7%	9,005	25.8%	45.4%	8,616	24.6%	70.1%	10,466	29.9%
学校	5,184	1,152	22.2%	148	2.9%	25.1%	1,230	23.7%	48.8%	2,654	51.2%
病院	3,768	1,038	27.5%	2,716	72.1%	99.6%	11	0.3%	99.9%	3	0.1%
介護老人保健施設	2,833	901	31.8%	1,854	65.4%	97.2%	72	2.5%	99.8%	6	0.2%
老人福祉施設	4,783	1,654	34.6%	2,616	54.7%	89.3%	441	9.2%	98.5%	72	1.5%
児童福祉施設	12,964	1,429	11.0%	1,255	9.7%	20.7%	5,444	42.0%	62.7%	4,836	37.3%
社会福祉施設	741	217	29.3%	210	28.3%	57.6%	272	36.7%	94.3%	42	5.7%
事業所	3,405	258	7.6%	73	2.1%	9.7%	683	20.1%	29.8%	2,391	70.2%
寄宿舍	468	74	15.8%	17	3.6%	19.4%	158	33.8%	53.2%	219	46.8%
矯正施設	41	2	4.9%	-	-	4.9%	4	9.8%	14.6%	35	85.4%
自衛隊	65	36	55.4%	4	6.2%	61.5%	21	32.3%	93.8%	4	6.2%
一般給食センター	60	7	11.7%	7	11.7%	23.3%	15	25.0%	48.3%	31	51.7%
その他	647	104	16.1%	105	16.2%	32.3%	265	41.0%	73.3%	173	26.7%

特定給食施設における都道府県別の管理栄養士の配置状況

出典：平成29年度厚生労働省 衛生行政報告例
(平成29年度末現在)

(第4表-1) 給食施設数・管理栄養士数・栄養士数・調理師数(特定給食施設)、都道府県-指定都市-中核市(再掲)別	総数		管理栄養士のみの施設①		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設②		管理栄養士が配置されている施設数	栄養士のみの施設③		管理栄養士または栄養士が配置されている施設数	管理栄養士・栄養士どちらもいない施設④	
	施設数	管理栄養士数	施設数	施設数の割合①	施設数	施設数の割合②	①+②の合計	施設数	施設数の割合③	①+②+③の合計	施設数	施設数の割合④
全国	50,542	47,758	12,803	25.3%	12,290	24.3%	49.6%	12,042	23.8%	73.5%	13,407	26.5%
北海道	1,907	2,158	656	34.4%	536	28.1%	62.5%	409	21.4%	84.0%	306	16.0%
青森	362	299	54	14.9%	124	34.3%	49.2%	137	37.8%	87.0%	47	13.0%
岩手	412	419	105	25.5%	122	29.6%	55.1%	161	39.1%	94.2%	24	5.8%
宮城	751	924	275	36.6%	200	26.6%	63.2%	204	27.2%	90.4%	72	9.6%
秋田	448	355	97	21.7%	121	27.0%	48.7%	164	36.6%	85.3%	66	14.7%
山形	467	441	103	22.1%	129	27.6%	49.7%	120	25.7%	75.4%	115	24.6%
福島	761	729	167	21.9%	208	27.3%	49.3%	244	32.1%	81.3%	142	18.7%
茨城	991	834	193	19.5%	277	28.0%	47.4%	312	31.5%	78.9%	209	21.1%
栃木	1,009	728	180	17.8%	248	24.6%	42.4%	386	38.3%	80.7%	195	19.3%
群馬	1,010	931	240	23.8%	247	24.5%	48.2%	307	30.4%	78.6%	216	21.4%
埼玉	2,495	2,153	464	18.6%	675	27.1%	45.7%	755	30.3%	75.9%	601	24.1%
千葉	2,194	1,940	695	31.7%	501	22.8%	54.5%	662	30.2%	84.7%	336	15.3%
東京	5,551	4,689	1,509	27.2%	1,158	20.9%	48.0%	1,451	26.1%	74.2%	1,433	25.8%
神奈川	3,059	3,002	878	28.7%	754	24.6%	53.4%	653	21.3%	74.7%	774	25.3%
新潟	1,199	890	318	26.5%	200	16.7%	43.2%	172	14.3%	57.5%	509	42.5%
富山	657	483	102	15.5%	176	26.8%	42.3%	148	22.5%	64.8%	231	35.2%
石川	656	536	110	16.8%	163	24.8%	41.6%	210	32.0%	73.6%	173	26.4%
福井	501	402	126	25.1%	92	18.4%	43.5%	88	17.6%	61.1%	195	38.9%
山梨	369	248	61	16.5%	95	25.7%	42.3%	123	33.3%	75.6%	90	24.4%
長野	766	729	188	24.5%	163	21.3%	45.8%	154	20.1%	65.9%	261	34.1%
岐阜	805	722	194	24.1%	175	21.7%	45.8%	139	17.3%	63.1%	297	36.9%
静岡	1,643	1,567	392	23.9%	425	25.9%	49.7%	440	26.8%	76.5%	386	23.5%
愛知	2,810	2,470	732	26.0%	508	18.1%	44.1%	318	11.3%	55.4%	1,252	44.6%
三重	820	640	153	18.7%	157	19.1%	37.8%	128	15.6%	53.4%	382	46.6%
滋賀	542	511	96	17.7%	112	20.7%	38.4%	112	20.7%	59.0%	222	41.0%
京都	934	1,009	227	24.3%	280	30.0%	54.3%	206	22.1%	76.3%	221	23.7%
大阪	3,779	3,348	834	22.1%	819	21.7%	43.7%	776	20.5%	64.3%	1,350	35.7%
兵庫	2,214	2,018	513	23.2%	518	23.4%	46.6%	398	18.0%	64.5%	785	35.5%
奈良	501	529	110	22.0%	133	26.5%	48.5%	122	24.4%	72.9%	136	27.1%
和歌山	440	332	79	18.0%	107	24.3%	42.3%	112	25.5%	67.7%	142	32.3%
鳥取	262	256	47	17.9%	94	35.9%	53.8%	67	25.6%	79.4%	54	20.6%
島根	327	363	72	22.0%	100	30.6%	52.6%	116	35.5%	88.1%	39	11.9%
岡山	658	912	263	40.0%	181	27.5%	67.5%	144	21.9%	89.4%	70	10.6%
広島	983	1,152	263	26.8%	288	29.3%	56.1%	162	16.5%	72.5%	270	27.5%
山口	629	733	241	38.3%	133	21.1%	59.5%	145	23.1%	82.5%	110	17.5%
徳島	337	434	155	46.0%	79	23.4%	69.4%	44	13.1%	82.5%	59	17.5%
香川	496	531	179	36.1%	107	21.6%	57.7%	84	16.9%	74.6%	126	25.4%
愛媛	376	463	110	29.3%	100	26.6%	55.9%	85	22.6%	78.5%	81	21.5%
高知	361	384	65	18.0%	128	35.5%	53.5%	63	17.5%	70.9%	105	29.1%
福岡	2,228	2,396	567	25.4%	594	26.7%	52.1%	562	25.2%	77.3%	505	22.7%
佐賀	389	393	100	25.7%	103	26.5%	52.2%	129	33.2%	85.3%	57	14.7%
長崎	652	689	186	28.5%	167	25.6%	54.1%	172	26.4%	80.5%	127	19.5%
熊本	837	901	213	25.4%	226	27.0%	52.4%	193	23.1%	75.5%	205	24.5%
大分	425	500	92	21.6%	152	35.8%	57.4%	102	24.0%	81.4%	79	18.6%
宮崎	430	440	140	32.6%	101	23.5%	56.0%	100	23.3%	79.3%	89	20.7%
鹿児島	606	685	166	27.4%	173	28.5%	55.9%	170	28.1%	84.0%	97	16.0%
沖縄	493	490	93	18.9%	141	28.6%	47.5%	93	18.9%	66.3%	166	33.7%
指定都市(再掲)												
札幌市	682	871	297	43.5%	173	25.4%	68.9%	104	15.2%	84.2%	108	15.8%
仙台市	316	504	167	52.8%	73	23.1%	75.9%	58	18.4%	94.3%	18	5.7%
さいたま市	453	363	106	23.4%	121	26.7%	50.1%	160	35.3%	85.4%	66	14.6%
千葉市	339	339	125	36.9%	74	21.8%	58.7%	120	35.4%	94.1%	20	5.9%
横浜市	1,225	1,236	365	29.8%	316	25.8%	55.6%	219	17.9%	73.5%	325	26.5%
川崎市	464	511	118	25.4%	132	28.4%	53.9%	103	22.2%	76.1%	111	23.9%
相模原市	232	262	68	29.3%	59	25.4%	54.7%	55	23.7%	78.4%	50	21.6%
新潟市	442	336	110	24.9%	73	16.5%	41.4%	38	8.6%	50.0%	221	50.0%
静岡市	254	274	49	19.3%	77	30.3%	49.6%	66	26.0%	75.6%	62	24.4%
浜松市	378	442	118	31.2%	96	25.4%	56.6%	87	23.0%	79.6%	77	20.4%
名古屋市	1,043	861	234	22.4%	179	17.2%	39.6%	143	13.7%	53.3%	487	46.7%
京都市	507	592	121	23.9%	160	31.6%	55.4%	114	22.5%	77.9%	112	22.1%
大阪市	1,229	1,001	283	23.0%	211	17.2%	40.2%	183	14.9%	55.1%	552	44.9%
枚方市	166	150	23	13.9%	43	25.9%	39.8%	48	28.9%	68.7%	52	31.3%